

利根町男女共同参画推進プラン策定に向けた
住民アンケート調査結果

—報告書—

平成31年3月

利根町

1. 調査概要

(1) 調査の目的

平成27年3月に策定した「利根町男女共同参画推進プラン（2015～2019）」の見直しに当たり、町民の皆様の男女共同参画に関する意識や意向を把握し、今後の男女共同参画施策展開の参考とするために実施しました。

(2) 調査の概要

項目	内容
対象者	利根町在住の18歳以上の男女1,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成30年8月29日～9月21日
回答者数	396
回収率	39.6%

(3) 調査項目

- ①男女共同参画に関する意識について
- ②家庭生活について
- ③地域社会について
- ④ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
- ⑤仕事について
- ⑥日常生活の悩み等について
- ⑦介護について
- ⑧配偶者や恋人からの暴力について
- ⑨今後の男女共同参画の取り組みについて

(4) 報告書の見方

- ・調査結果の比率は、回答者数（回答限定設問は該当者数）を基数として算出し、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。
したがって、複数回答の設問では、選択肢の比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・クロス集計表では、「性別無回答」を表示していないため、回答者数と内訳の合計が異なる場合があります。
- ・母数の少ないデータは統計的誤差の大きい場合があります、数値の取り扱いに注意する必要があります。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表で省略している場合があります。

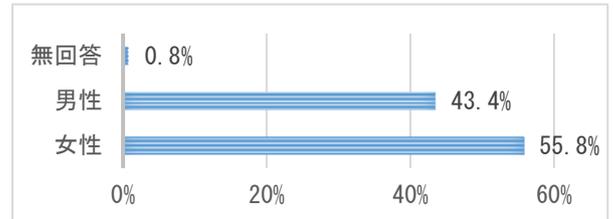
2. 調査結果

あなたご自身について伺います

F1 あなたの性別は。(〇は1つ)

性別は、「女性」が55.8%、「男性」が43.4%となっています。

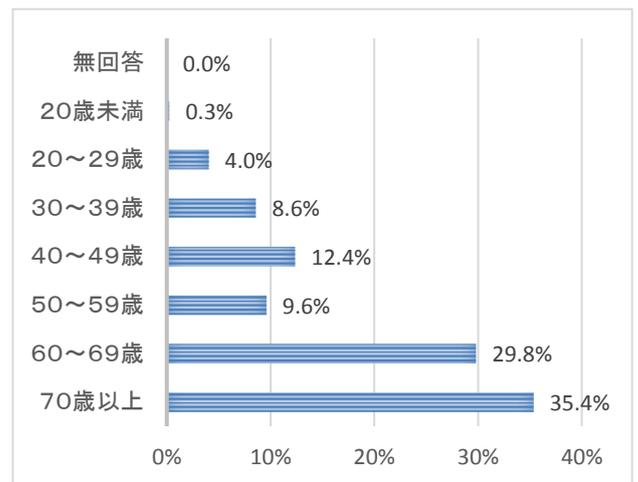
F1	あなたの性別は。	回答者数	構成比
0	無回答	3	0.8%
1	男性	172	43.4%
2	女性	221	55.8%
	計	396	100.0%



F2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

年齢は、「70歳以上」が35.4%と最も多く、次いで「60～69歳」が29.8%となっています。

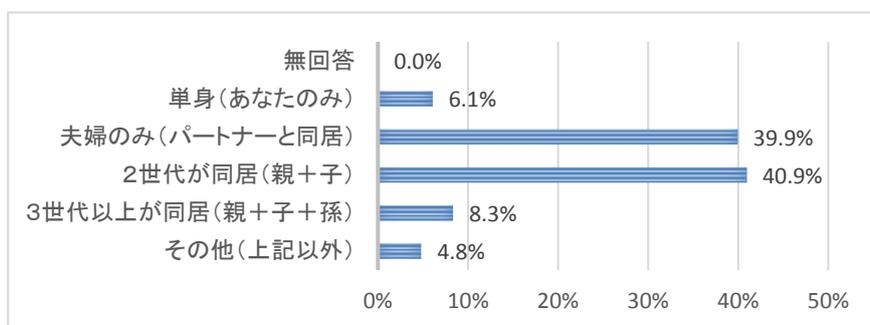
F2	あなたの年齢は。	回答者数	構成比
0	無回答	0	0.0%
1	20歳未満	1	0.3%
2	20～29歳	16	4.0%
3	30～39歳	34	8.6%
4	40～49歳	49	12.4%
5	50～59歳	38	9.6%
6	60～69歳	118	29.8%
7	70歳以上	140	35.4%
	計	396	100.0%



F3 あなたの家族構成は。(〇は1つ)

家族構成は、「2世代が同居(親+子)」が40.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ(パートナーと同居)」が39.9%となっています。

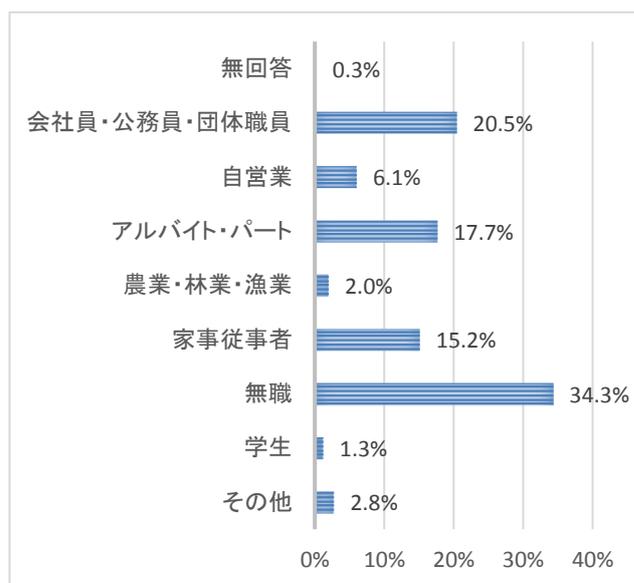
F3	あなたの家族構成は。	回答者数	構成比
0	無回答	0	0.0%
1	単身(あなたのみ)	24	6.1%
2	夫婦のみ(パートナーと同居)	158	39.9%
3	2世代が同居(親+子)	162	40.9%
4	3世代以上が同居(親+子+孫)	33	8.3%
5	その他(上記以外)	19	4.8%
	計	396	100.0%



F4 あなたの職業は。(主たる職業1つだけに〇)

職業は、「無職」が34.3%と最も多く、次いで「会社員・公務員・団体職員」が20.5%となっています。

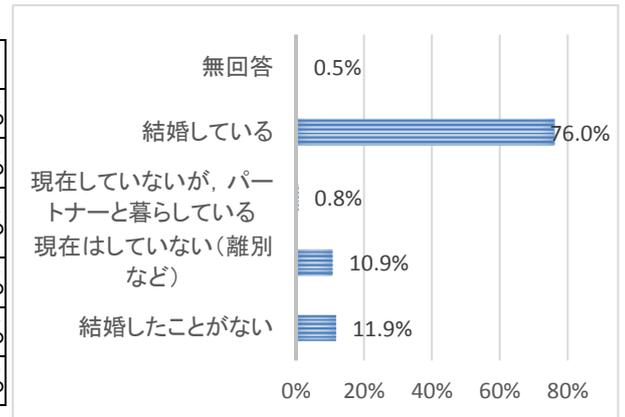
F4	あなたの職業は。	回答者数	構成比
0	無回答	1	0.3%
1	会社員・公務員・団体職員	81	20.5%
2	自営業	24	6.1%
3	アルバイト・パート	70	17.7%
4	農業・林業・漁業	8	2.0%
5	家事従事者	60	15.2%
6	無職	136	34.3%
7	学生	5	1.3%
8	その他	11	2.8%
	計	396	100.0%



F5 あなたは、現在結婚していますか。(〇は1つ)

結婚しているかでは、「結婚している」が76.0%と最も多くなっています。また、「結婚したことがない」が11.9%となっています。

F5	あなたは、現在結婚していますか。	回答者数	構成比
0	無回答	2	0.5%
1	結婚している	301	76.0%
2	現在していないが、パートナーと暮らしている	3	0.8%
3	現在はしていない(離別など)	43	10.9%
4	結婚したことがない	47	11.9%
	計	396	100.0%

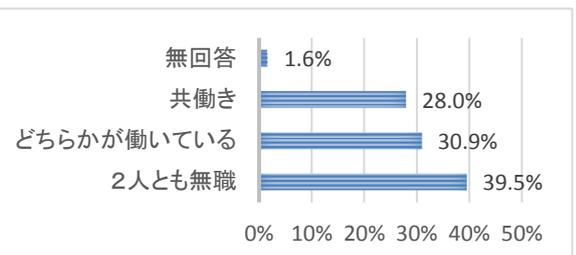


【F5で、「1 結婚している」又は「2 結婚していないが、パートナーと暮らしている」と回答した方に伺います。】

F6 あなたと配偶者又はパートナーの仕事の状況は次のうちどちらですか。(〇は1つ)

仕事の状況は、「2人とも無職」が39.5%と最も多く、次いで「どちらかが働いている」が30.9%となっています。

F6	あなたと配偶者又はパートナーの仕事の状況は次のうちどちらですか。	回答者数	構成比
0	無回答	5	1.6%
1	共働き	85	28.0%
2	どちらかが働いている	94	30.9%
3	2人とも無職	120	39.5%
	計	304	100.0%

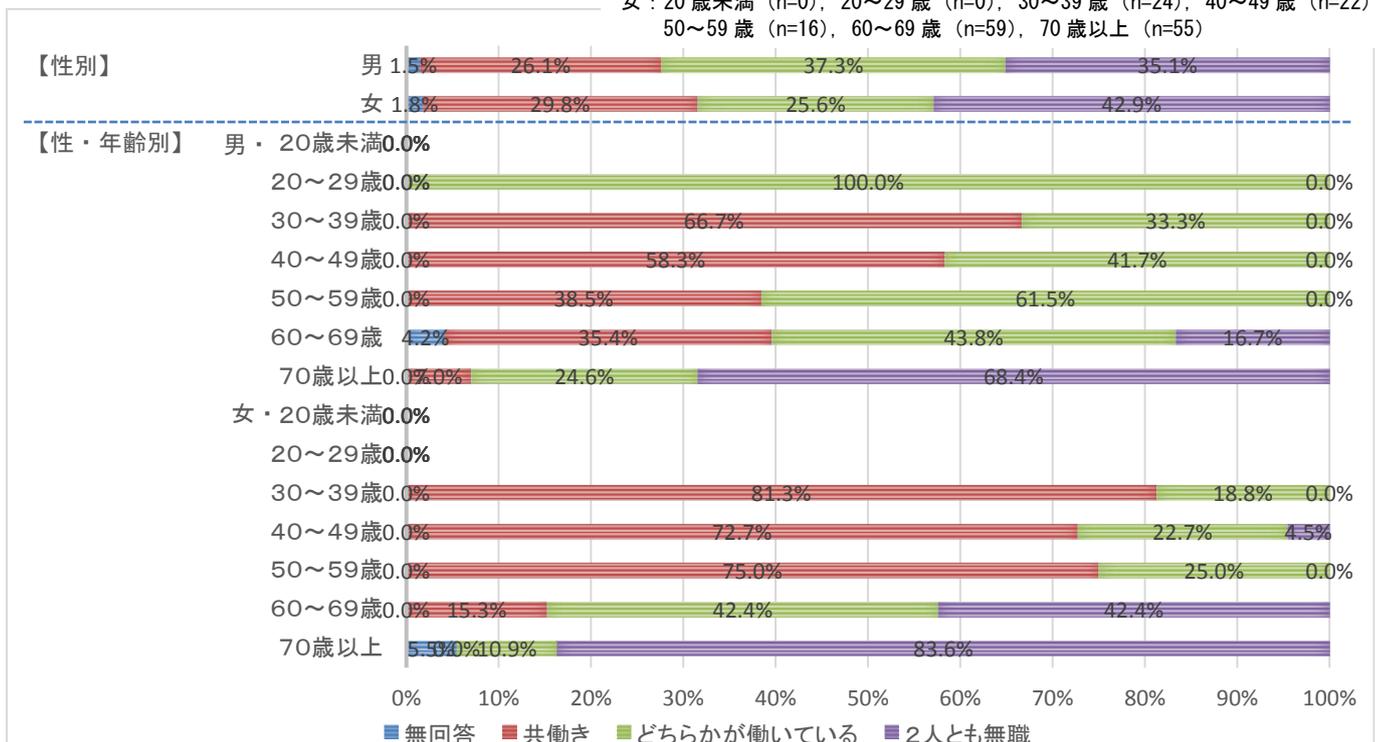


【性別、性・年齢別】

男 (n=134), 女 (n=168)

男: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=1), 30~39歳 (n=3), 40~49歳 (n=12), 50~59歳 (n=13), 60~69歳 (n=48), 70歳以上 (n=57)

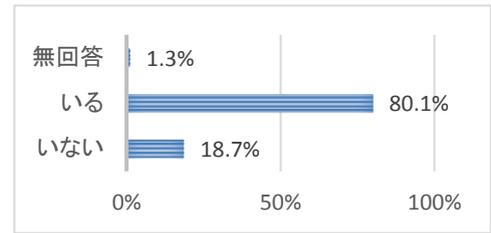
女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=0), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=22), 50~59歳 (n=16), 60~69歳 (n=59), 70歳以上 (n=55)



F7 あなたにはお子さんはいますか。(〇は1つ)

子どもの有無は、「いる」が80.1%、「いない」が18.7%となっています。

F7	あなたにはお子さんはいますか。	回答者数	構成比
0	無回答	5	1.3%
1	いる	317	80.1%
2	いない	74	18.7%
	計	396	100.0%

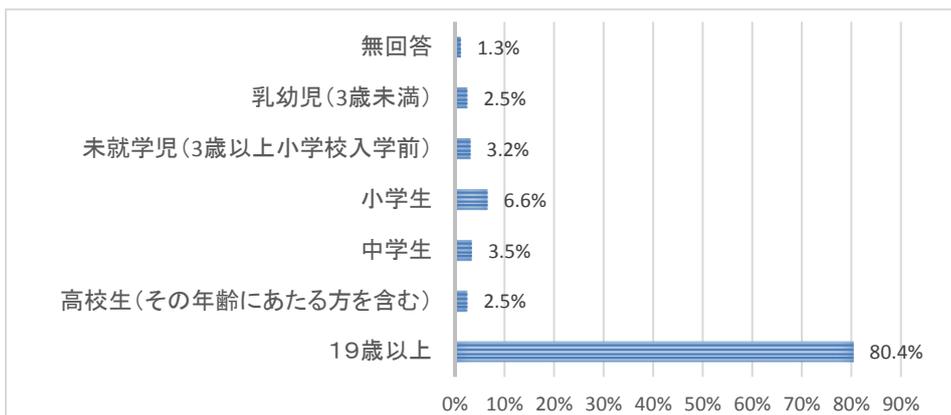


【 F7で、「1 いる」と回答した方に伺います。】

F8 一番下のお子さんは次のどれに該当しますか。(〇は1つ)

一番下のお子さんの年齢は、「19歳以上」が80.4%と最も多く、次いで「小学生」が6.6%となっています。

F8	一番下のお子さんは次のどれに該当しますか。	回答者数	構成比
0	無回答	4	1.3%
1	乳幼児(3歳未満)	8	2.5%
2	未就学児(3歳以上小学校入学前)	10	3.2%
3	小学生	21	6.6%
4	中学生	11	3.5%
5	高校生(その年齢にあたる方を含む)	8	2.5%
6	19歳以上	255	80.4%
	計	317	100.0%



男 (n=133), 女 (n=182)

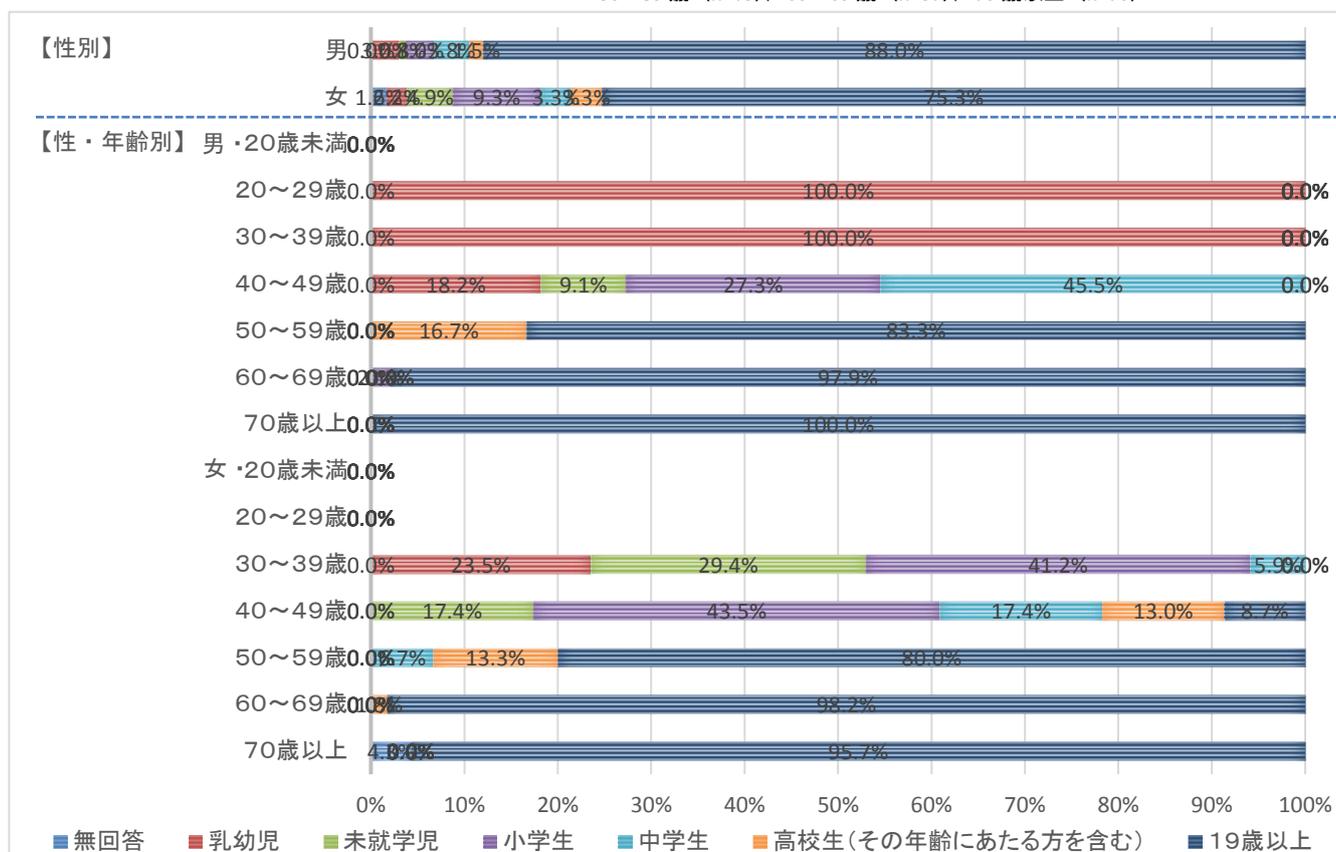
男 : 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=1), 30~39歳 (n=1), 40~49歳 (n=11)

50~59歳 (n=12), 60~69歳 (n=48), 70歳以上 (n=60)

女 : 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=0), 30~39歳 (n=17), 40~49歳 (n=23)

50~59歳 (n=15), 60~69歳 (n=57), 70歳以上 (n=70)

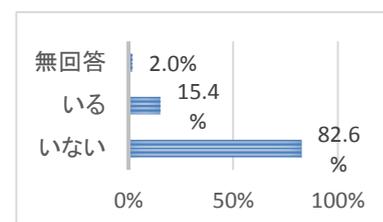
【性別, 性・年齢別】



F9 あなたのご家庭に、介護や看護を必要とする高齢者・病人・障がい者（児）はいますか。（〇は1つ）

介護や看護を必要とする高齢者・病人・障がい者（児）の有無は、「いる」が15.4%、「いない」が82.6%となっています。

F9	あなたのご家庭に、介護や看護を必要とする高齢者・病人・障がい者（児）はいますか。	回答者数	構成比
0	無回答	8	2.0%
1	いる	61	15.4%
2	いない	327	82.6%
	計	396	100.0%



1. 男女共同参画に関する意識について

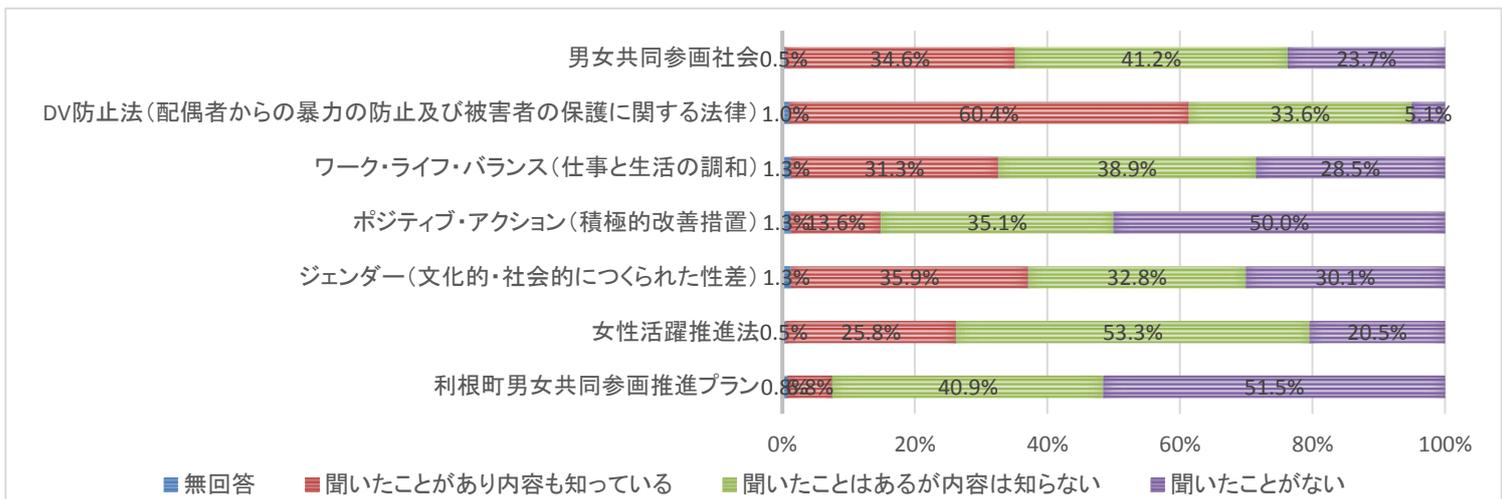
問1 あなたは、次の言葉を聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

聞いたことがある言葉は、「聞いたことがない」の項目では「利根町男女共同参画推進プラン」と「ポジティブ・アクション」が多く、「聞いたことがあり内容も知っている」の項目では、「DV防止法」が多くなっています。

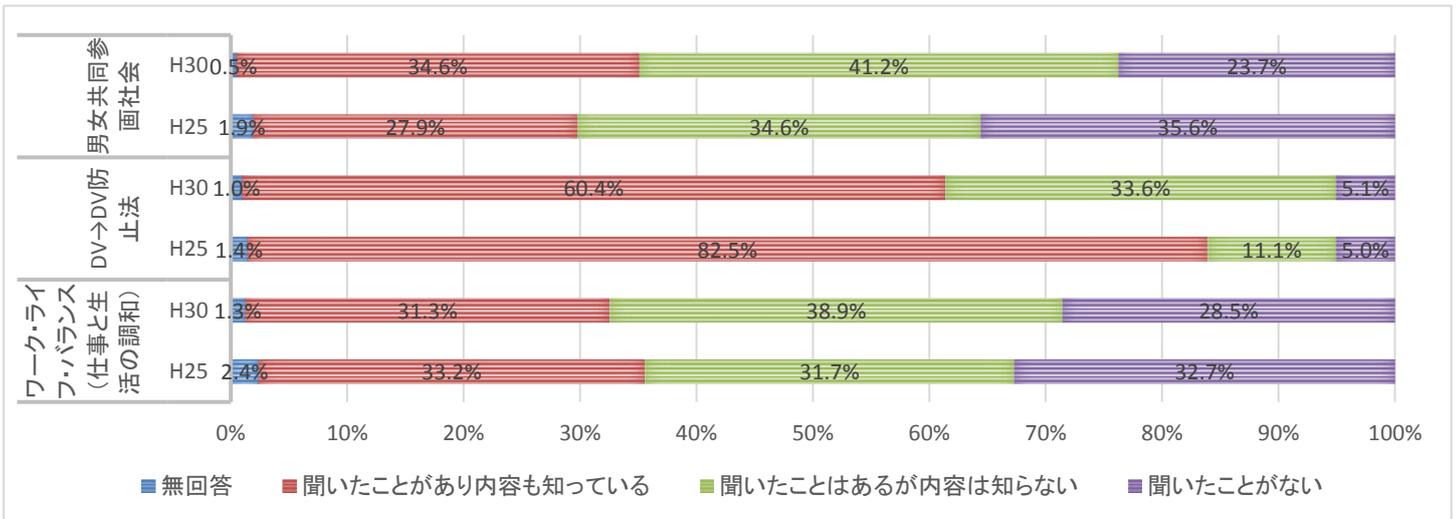
また、「男女共同参画社会」の設問では、前回調査からの比較をすると、「聞いたことがあり内容も知っている」と回答した人の割合が27.9%から34.6%と6.7%増加しています。さらに、年齢別で比較すると、20代では男女ともに「聞いたことがあり内容も知っている」の割合が50%以上と他の年代に比べて高くなっています。

<回答者数>	無回答	聞いたことがあり内容も知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがない	計
男女共同参画社会	2	137	163	94	396
DV防止法	4	239	133	20	396
ワーク・ライフ・バランス	5	124	154	113	396
ポジティブ・アクション	5	54	139	198	396
ジェンダー	5	142	130	119	396
女性活躍推進法	2	102	211	81	396
利根町男女共同参画推進プラン	3	27	162	204	396

<構成比>	無回答	聞いたことがあり内容も知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがない	計
男女共同参画社会	0.5%	34.6%	41.2%	23.7%	100.0%
DV防止法	1.0%	60.4%	33.6%	5.1%	100.0%
ワーク・ライフ・バランス	1.3%	31.3%	38.9%	28.5%	100.0%
ポジティブ・アクション	1.3%	13.6%	35.1%	50.0%	100.0%
ジェンダー	1.3%	35.9%	32.8%	30.1%	100.0%
女性活躍推進法	0.5%	25.8%	53.3%	20.5%	100.0%
利根町男女共同参画推進プラン	0.8%	6.8%	40.9%	51.5%	100.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



※DVの設問については、H25 調査では、「DV」としたところ、H30 調査では「DV防止法」と変更しており、正確な比較にはなりません。参考までに記載しています。

【性別、性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

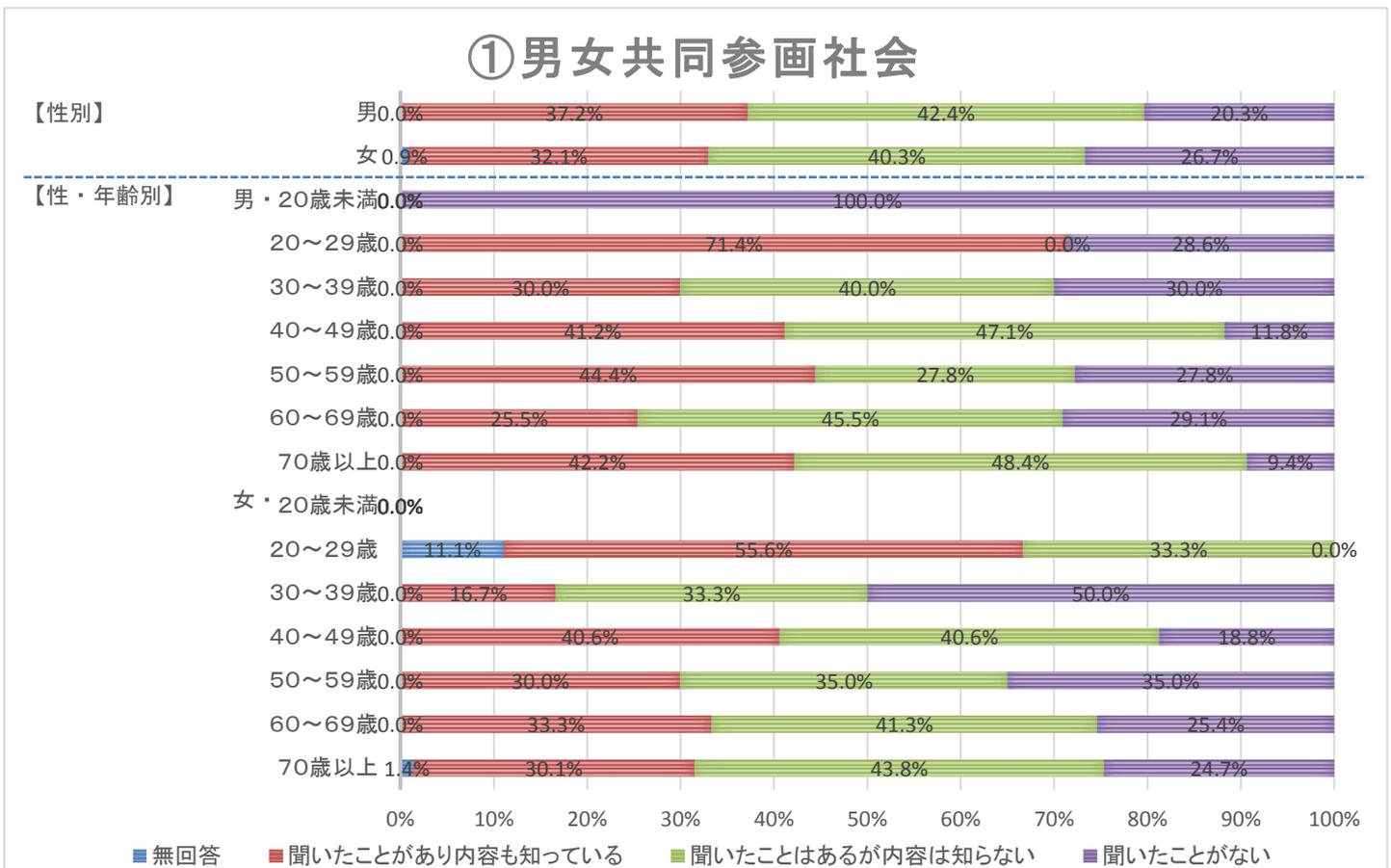
男：20歳未満 (n=1), 20～29歳 (n=7), 30～39歳 (n=10), 40～49歳 (n=17)

50～59歳 (n=18), 60～69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

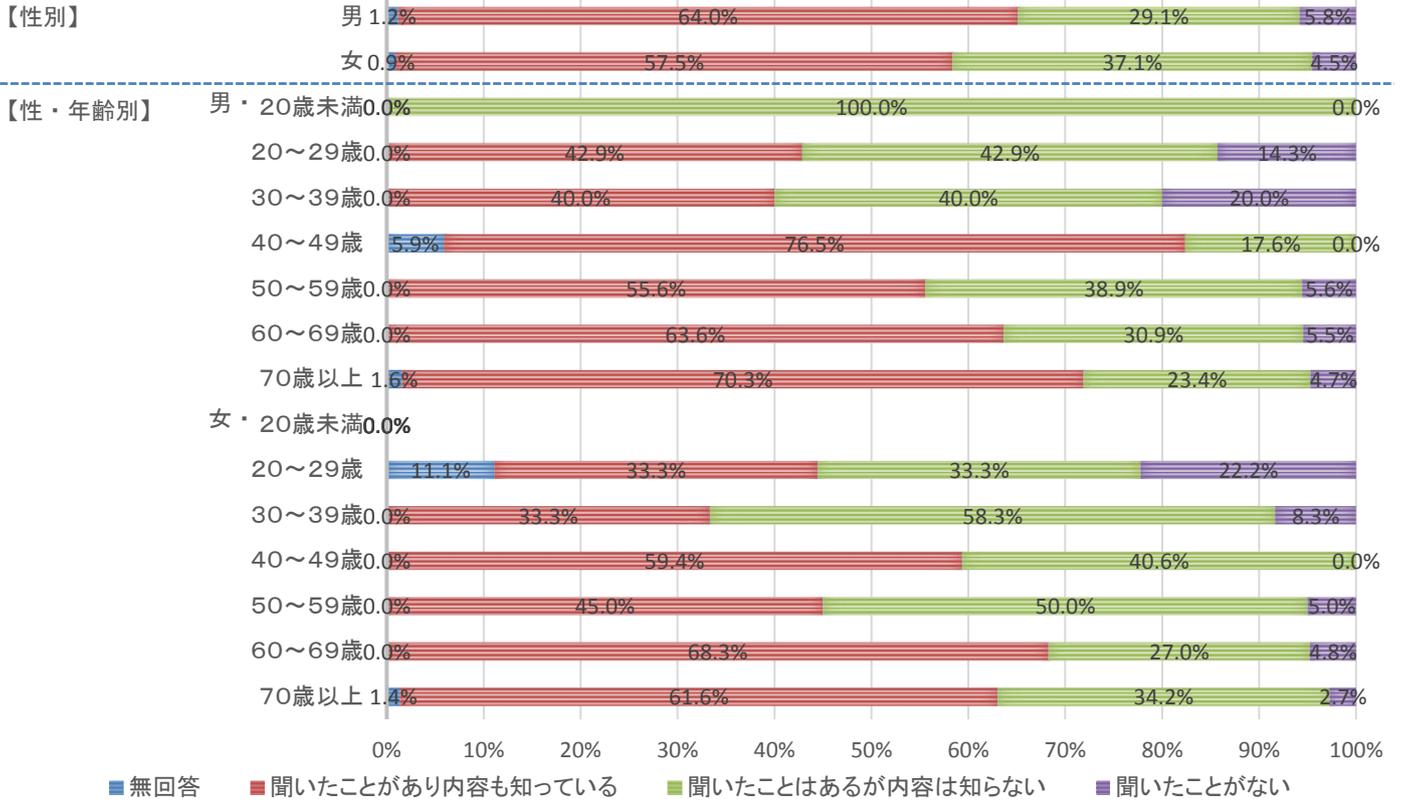
女：20歳未満 (n=0), 20～29歳 (n=9), 30～39歳 (n=24), 40～49歳 (n=32)

50～59歳 (n=20), 60～69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

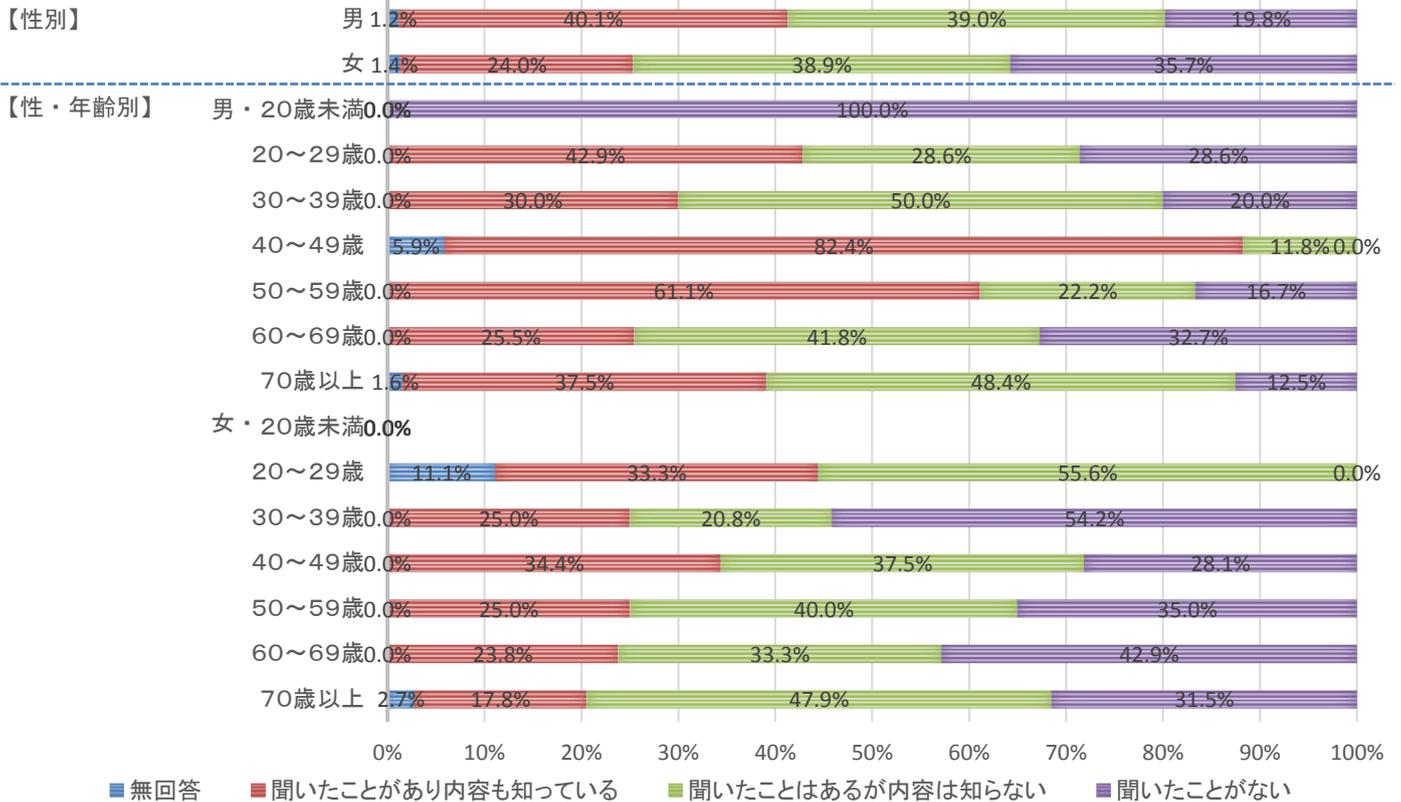
①男女共同参画社会



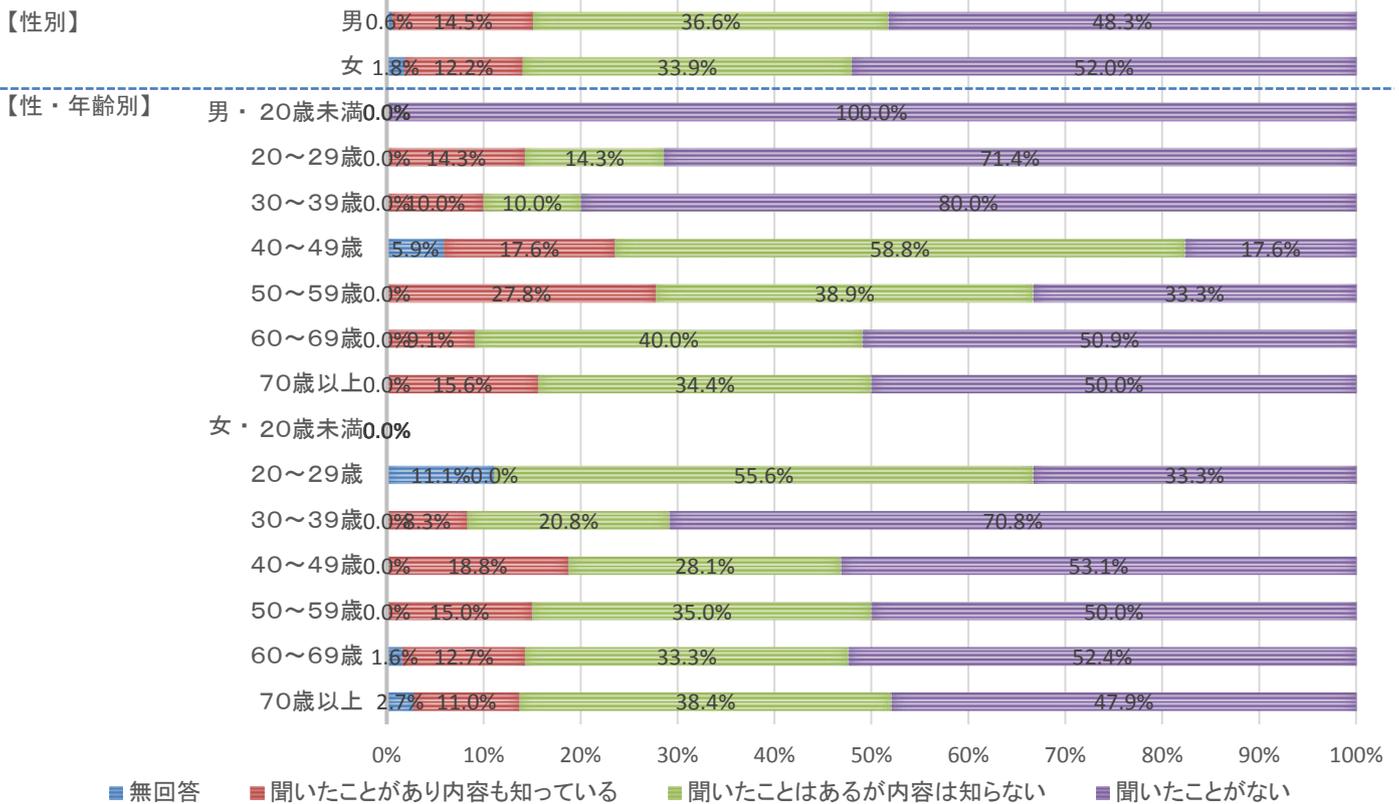
②DV防止法



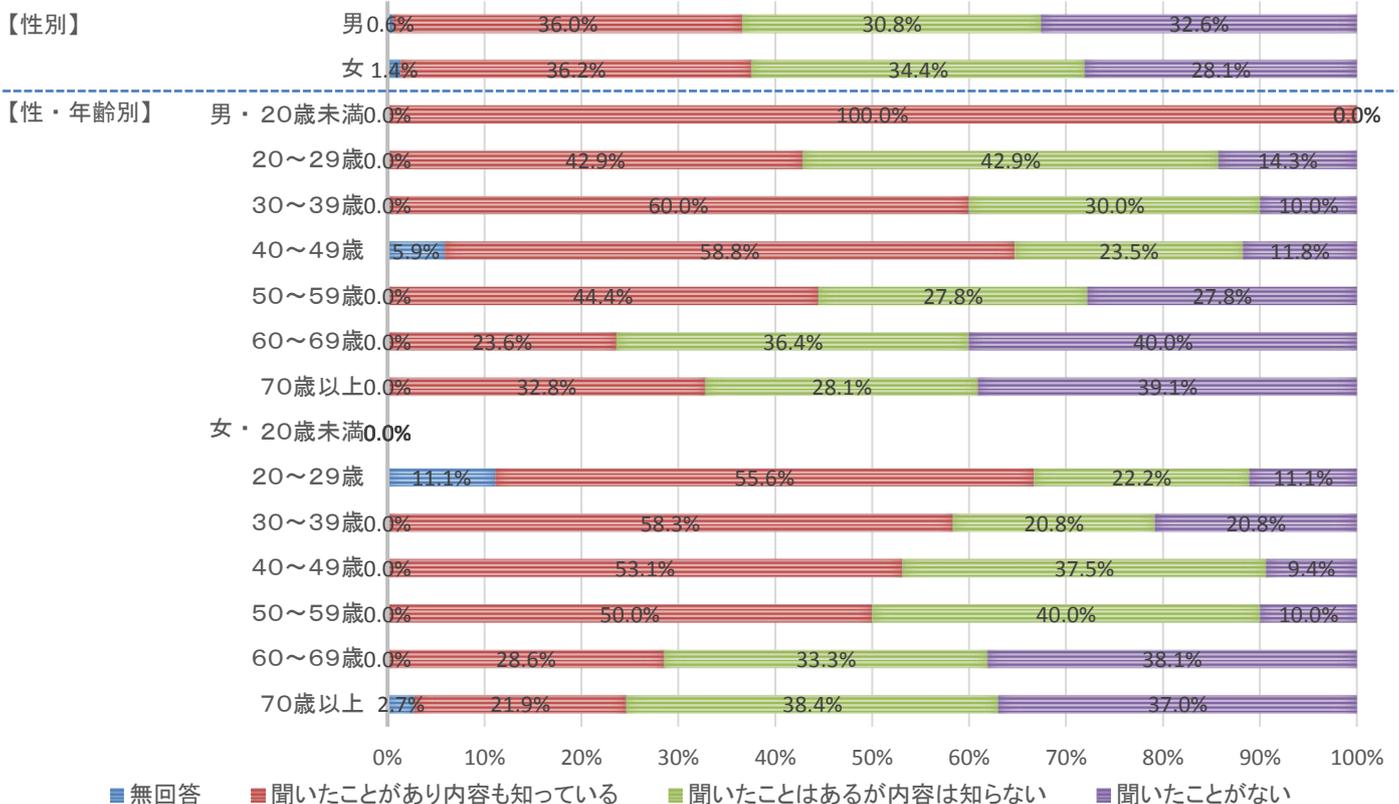
③ワーク・ライフ・バランス



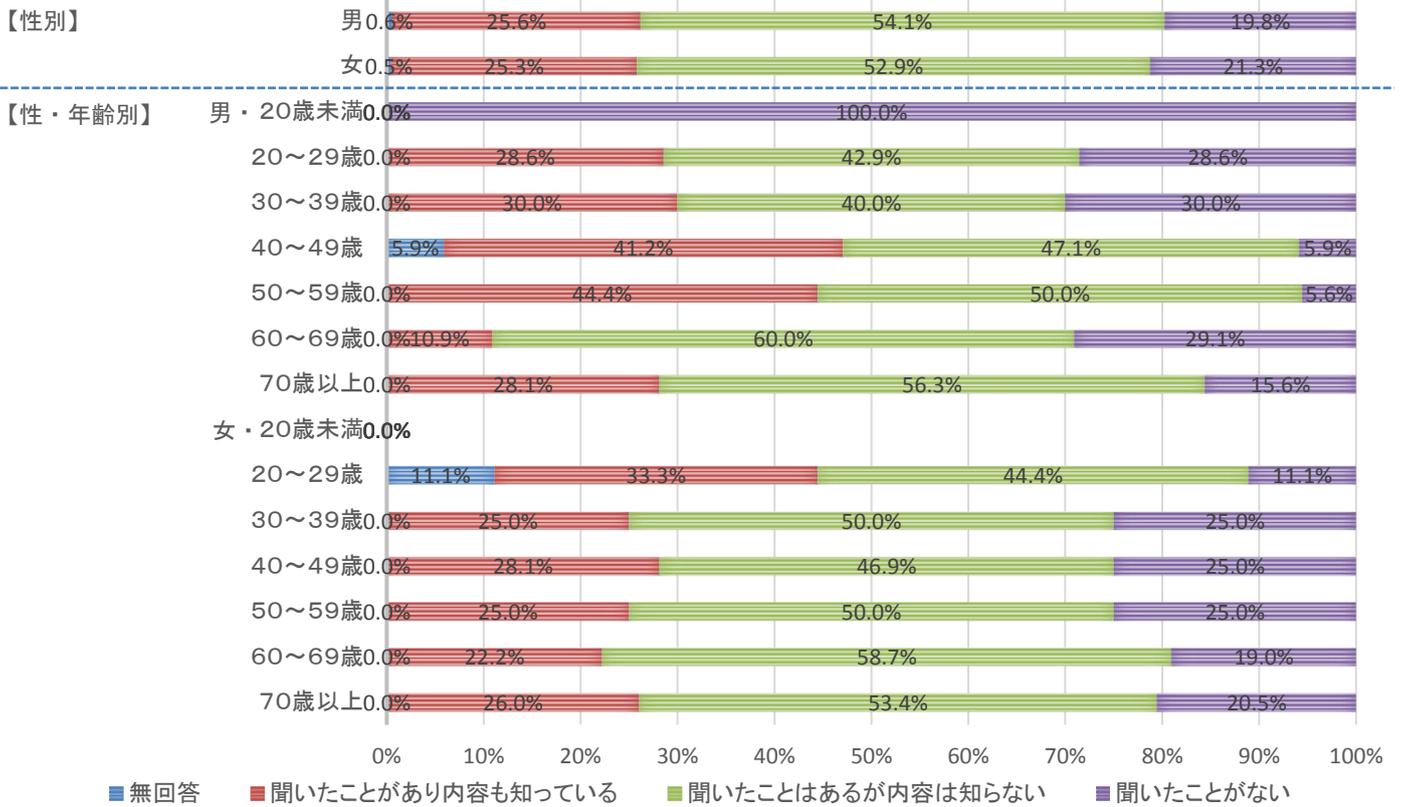
④ ポジティブ・アクション



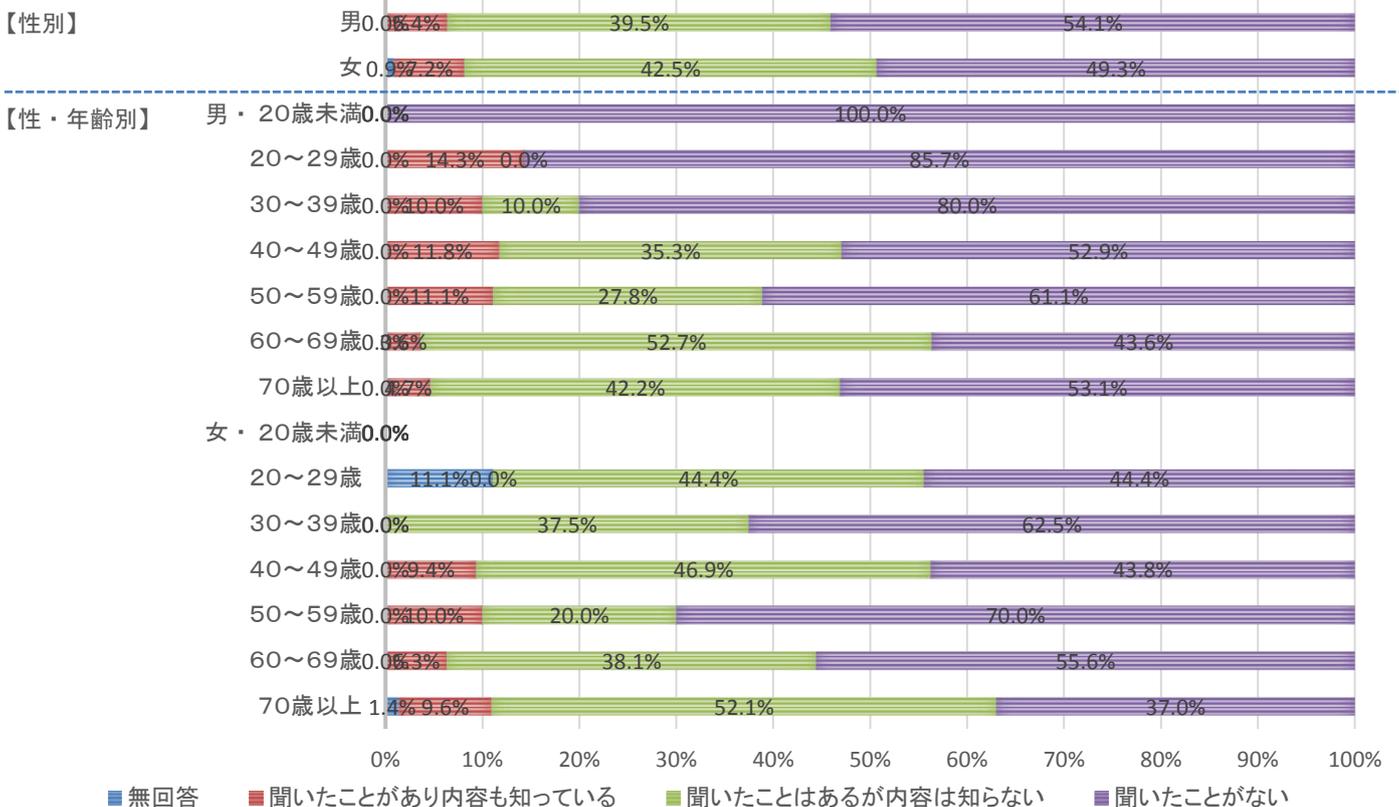
⑤ ジェンダー



⑥女性活躍推進法



⑦利根町男女共同参画推進プラン



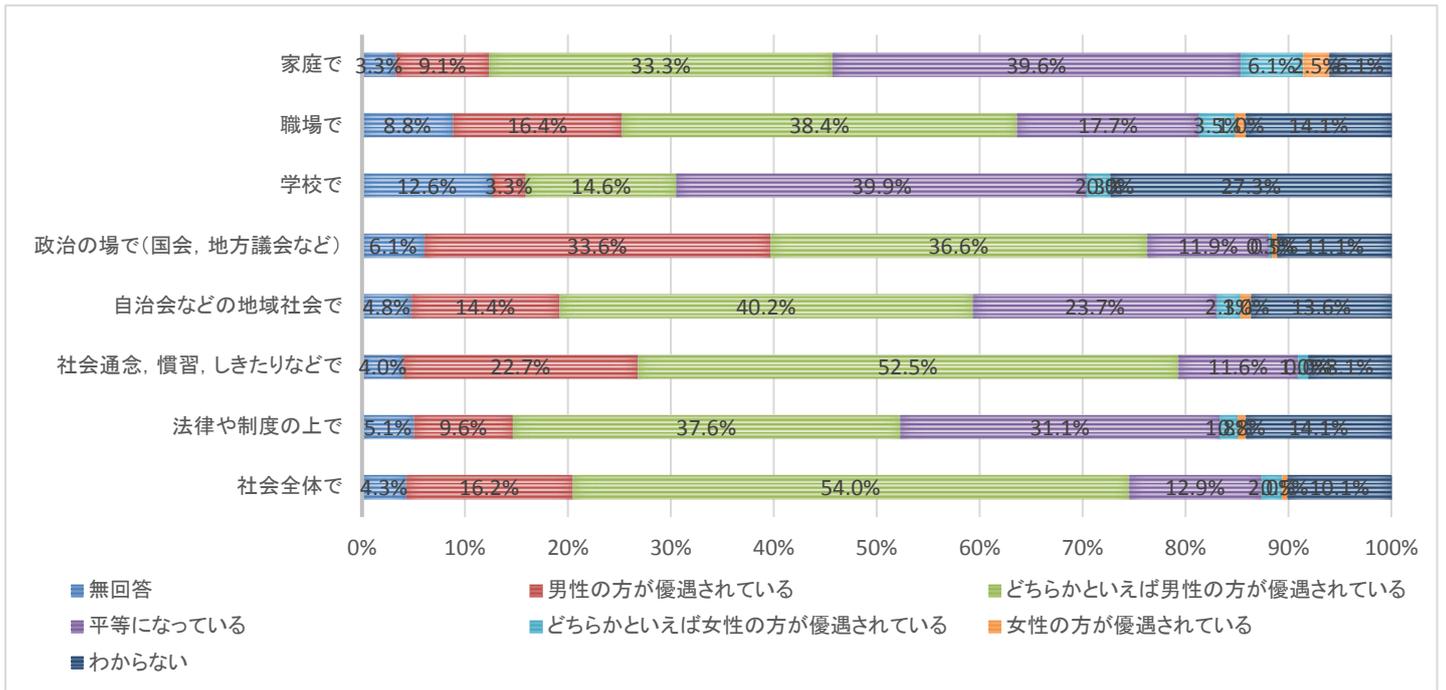
問2 あなたは、次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

男女の地位については、全般的に「男性の方が優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が多く、その中でも「社会通念、慣習、しきたりなどで」が合わせて75.2%と最も多く、次いで「政治の場で」及び「社会全体で」がともに70.2%となっています。

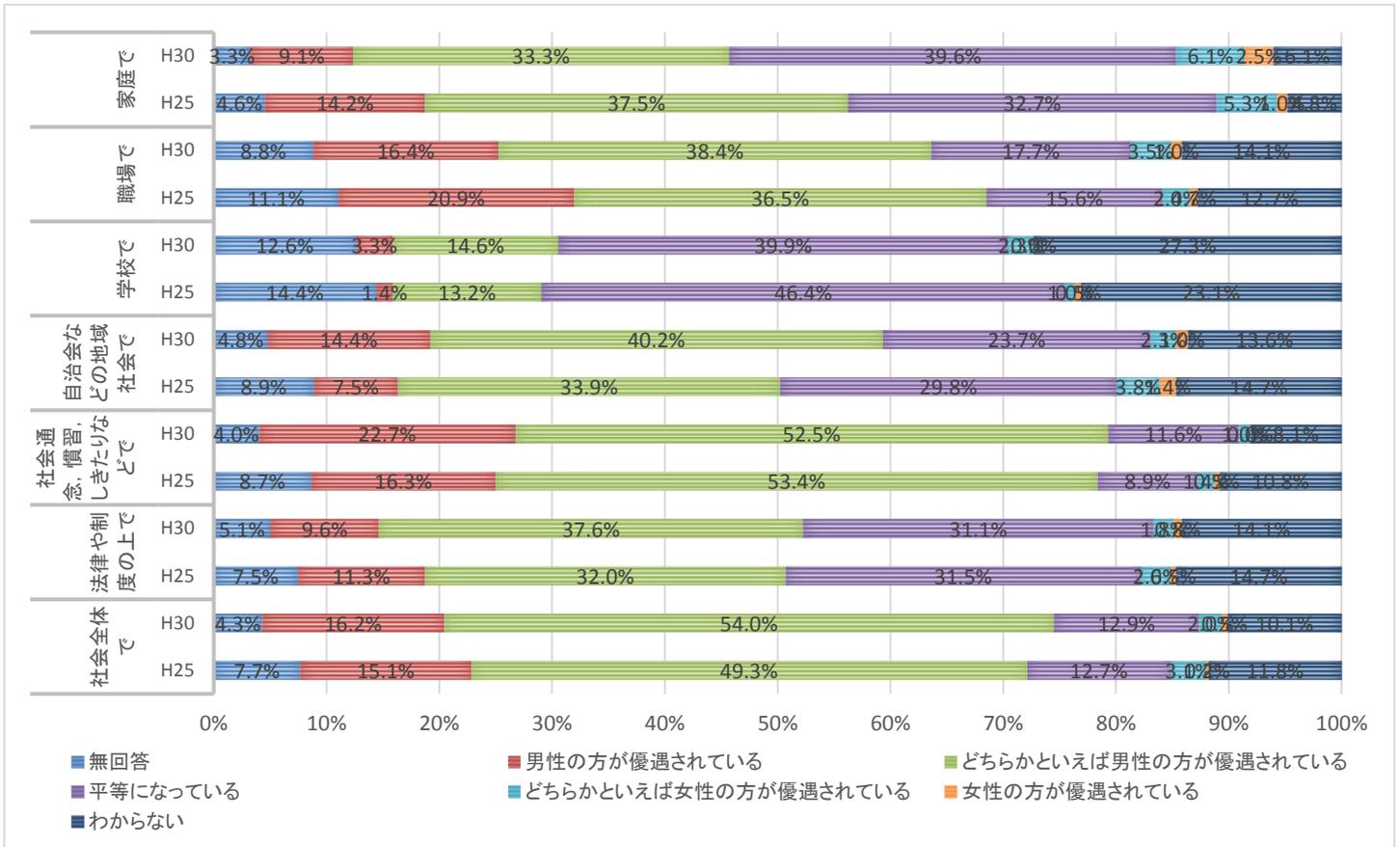
また、「平等になっている」の項目では、「学校で」が39.9%、「家庭で」が39.6%となっています。

<回答者数>	無回答	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	計
家庭で	13	36	132	157	24	10	24	396
職場で	35	65	152	70	14	4	56	396
学校で	50	13	58	158	9	0	108	396
政治の場で	24	133	145	47	1	2	44	396
地域社会で	19	57	159	94	9	4	54	396
社会通念、慣習、しきたりなどで	16	90	208	46	4	0	32	396
法律や制度の上で	20	38	149	123	7	3	56	396
社会全体で	17	64	214	51	8	2	40	396

<構成比>	無回答	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	計
家庭で	3.3%	9.1%	33.3%	39.6%	6.1%	2.5%	6.1%	100%
職場で	8.8%	16.4%	38.4%	17.7%	3.5%	1.0%	14.1%	100%
学校で	12.6%	3.3%	14.6%	39.9%	2.3%	0.0%	27.3%	100%
政治の場で	6.1%	33.6%	36.6%	11.9%	0.3%	0.5%	11.1%	100%
地域社会で	4.8%	14.4%	40.2%	23.7%	2.3%	1.0%	13.6%	100%
社会通念、慣習、しきたりなどで	4.0%	22.7%	52.5%	11.6%	1.0%	0.0%	8.1%	100%
法律や制度の上で	5.1%	9.6%	37.6%	31.1%	1.8%	0.8%	14.1%	100%
社会全体で	4.3%	16.2%	54.0%	12.9%	2.0%	0.5%	10.1%	100%



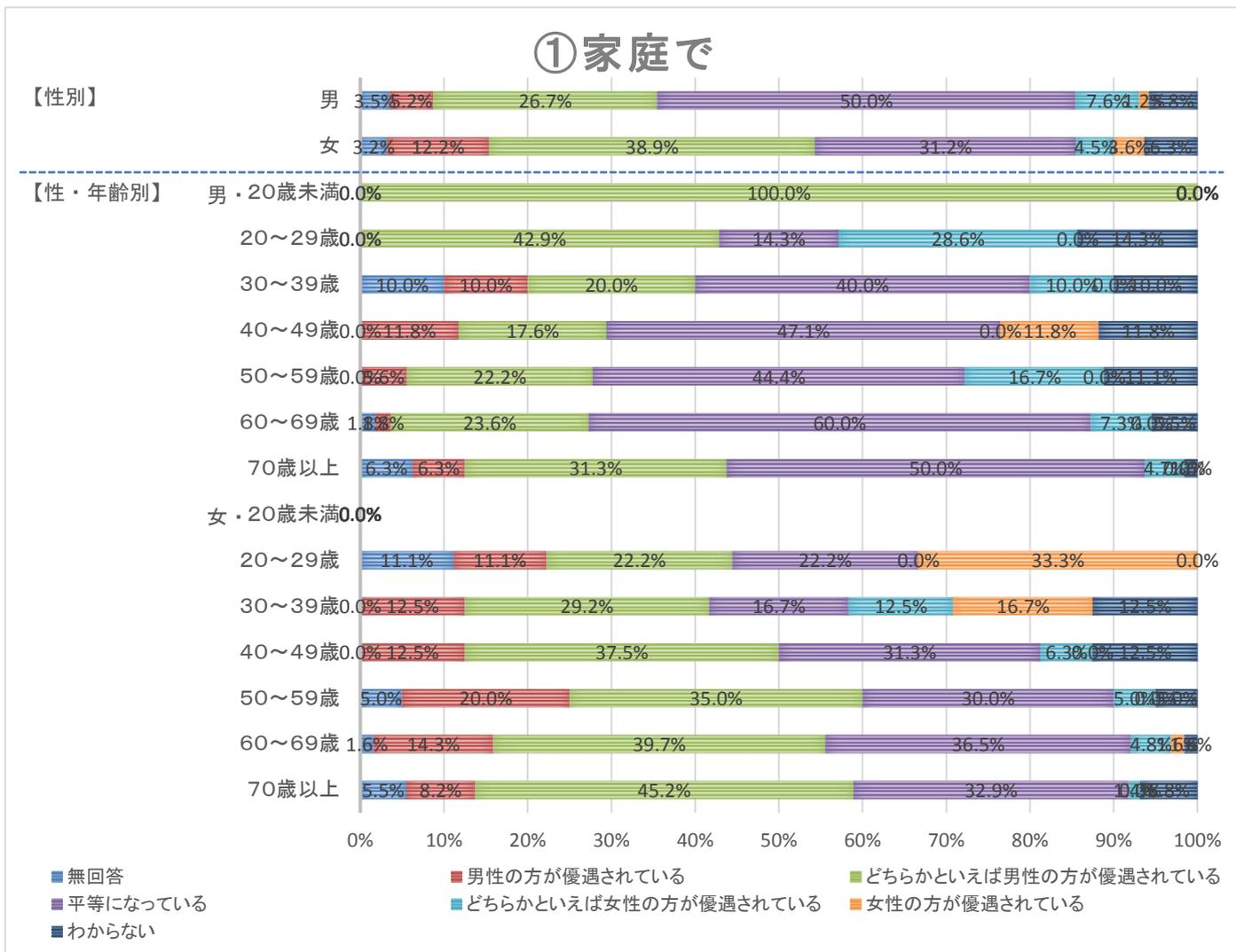
【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



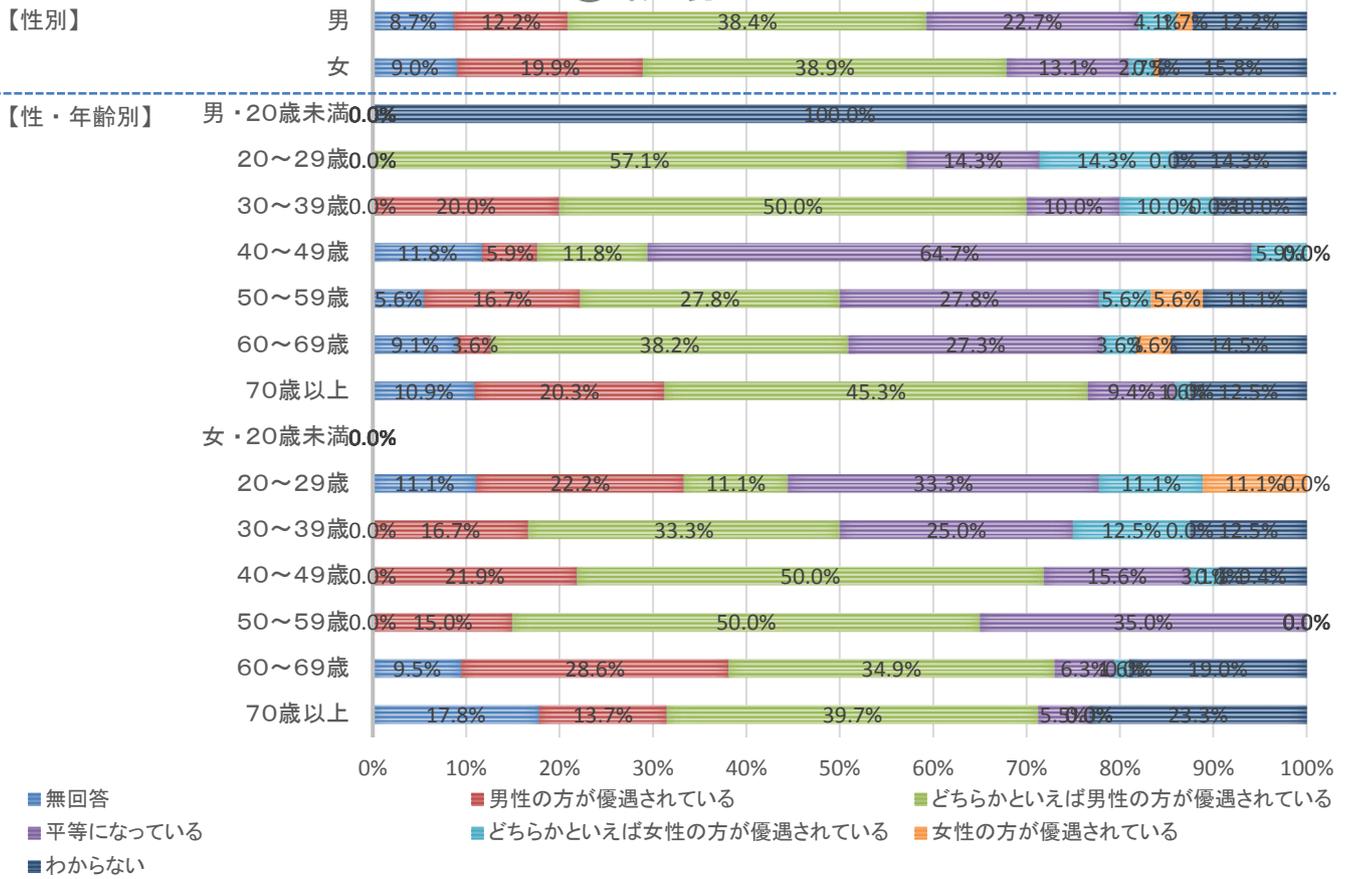
【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)
 男 : 20 歳未満 (n=1), 20~29 歳 (n=7), 30~39 歳 (n=10), 40~49 歳 (n=17)
 50~59 歳 (n=18), 60~69 歳 (n=55), 70 歳以上 (n=64)
 女 : 20 歳未満 (n=0), 20~29 歳 (n=9), 30~39 歳 (n=24), 40~49 歳 (n=32)
 50~59 歳 (n=20), 60~69 歳 (n=63), 70 歳以上 (n=73)

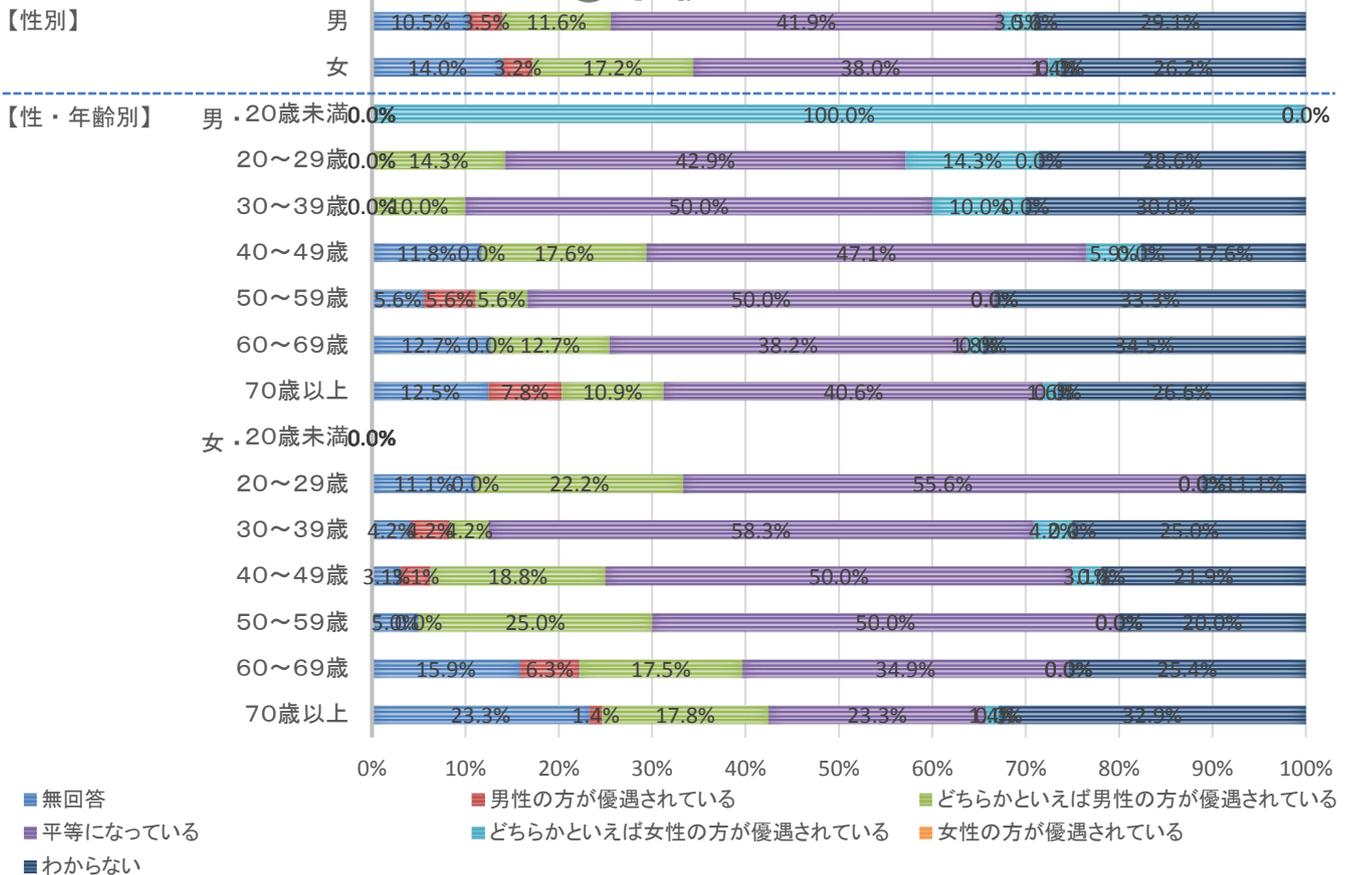
① 家庭で



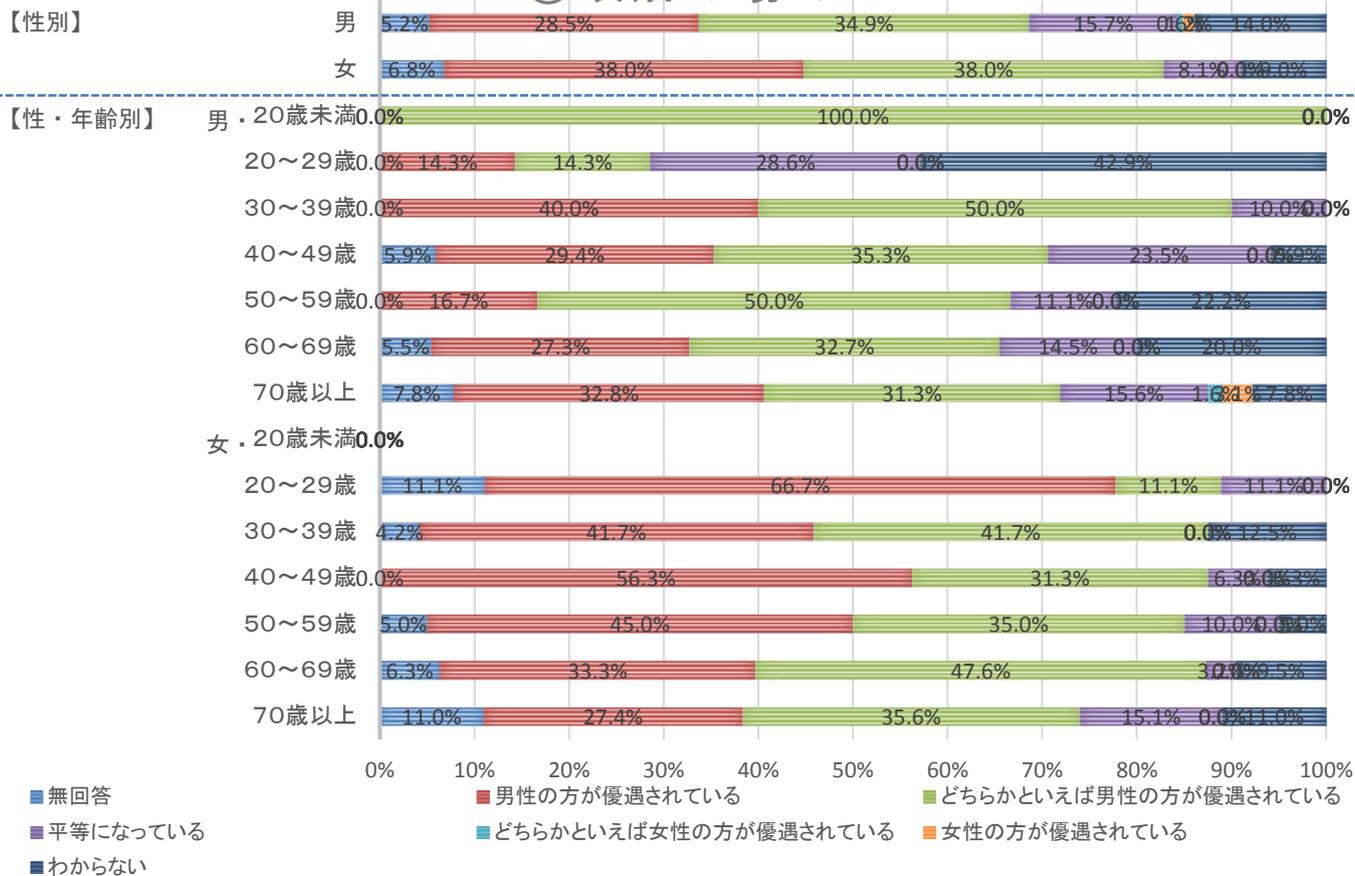
②職場で



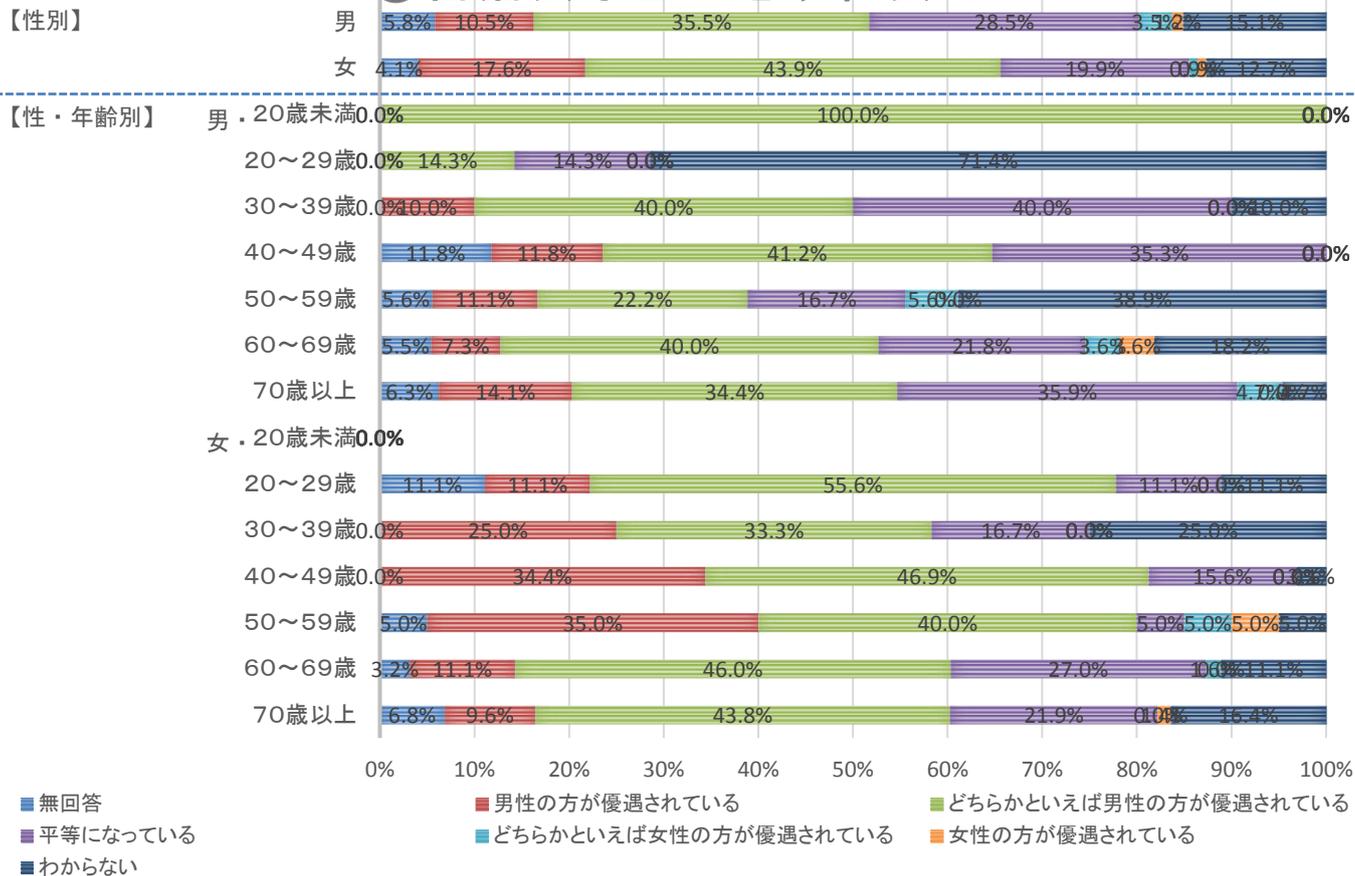
③学校で



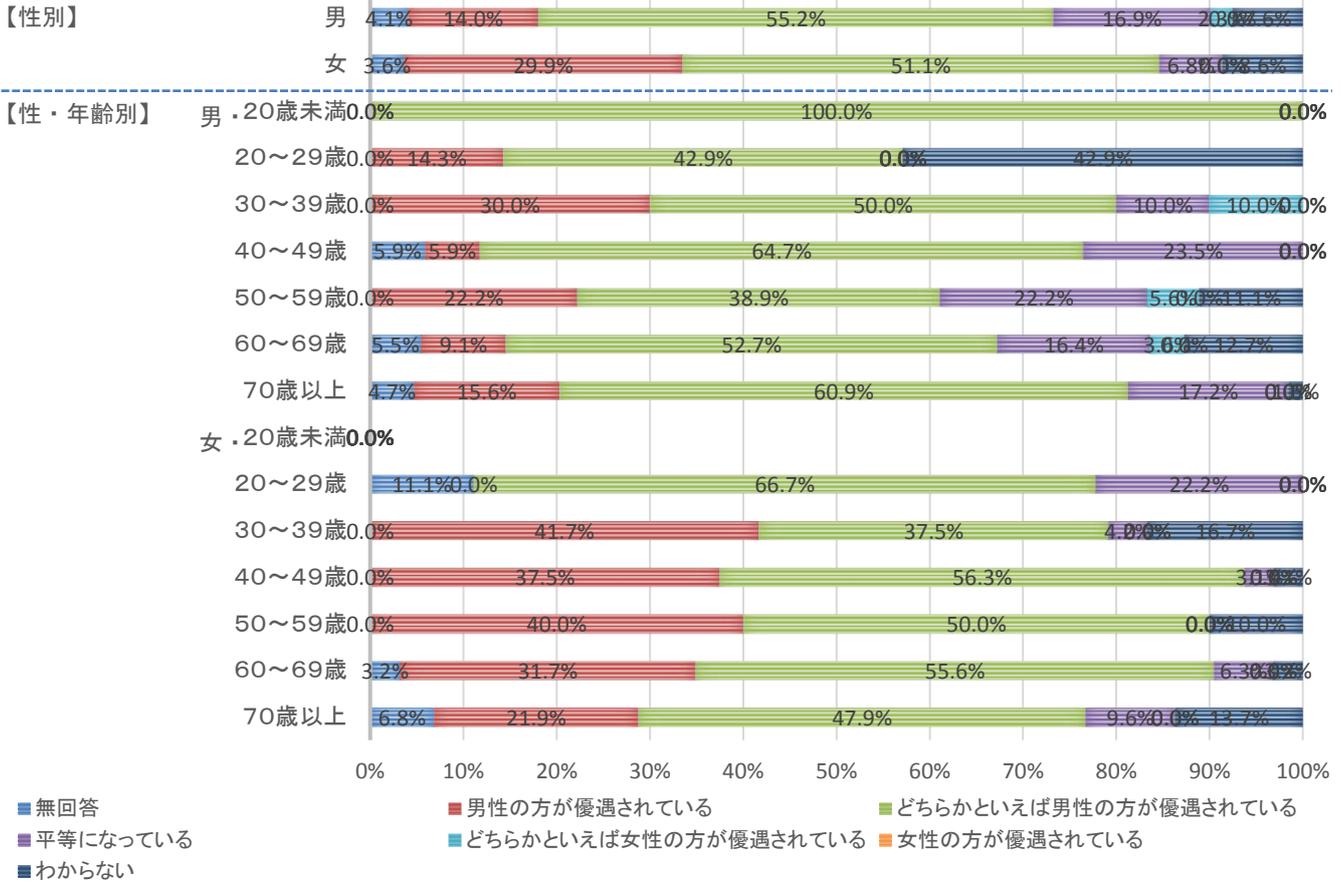
④政治の場で



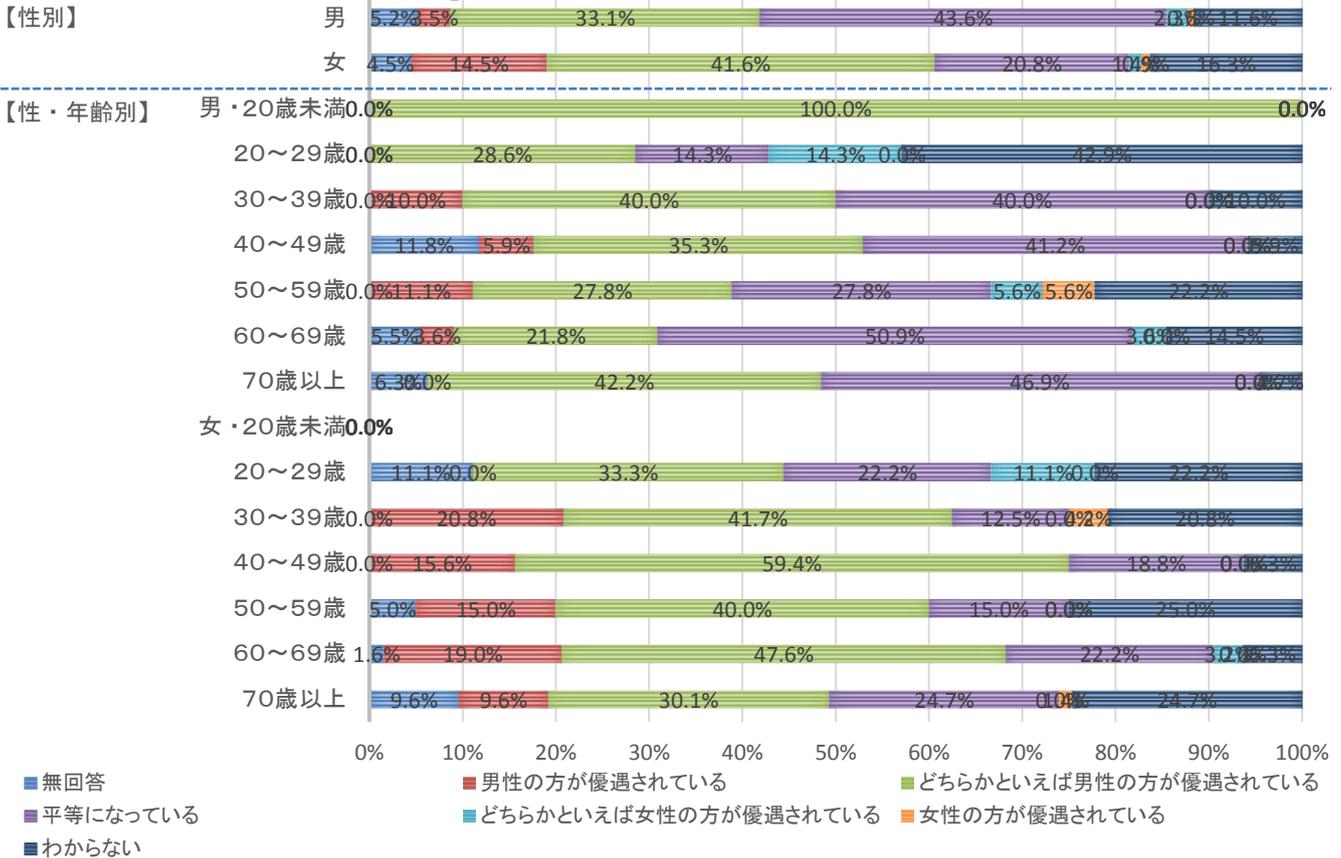
⑤自治会などの地域社会で



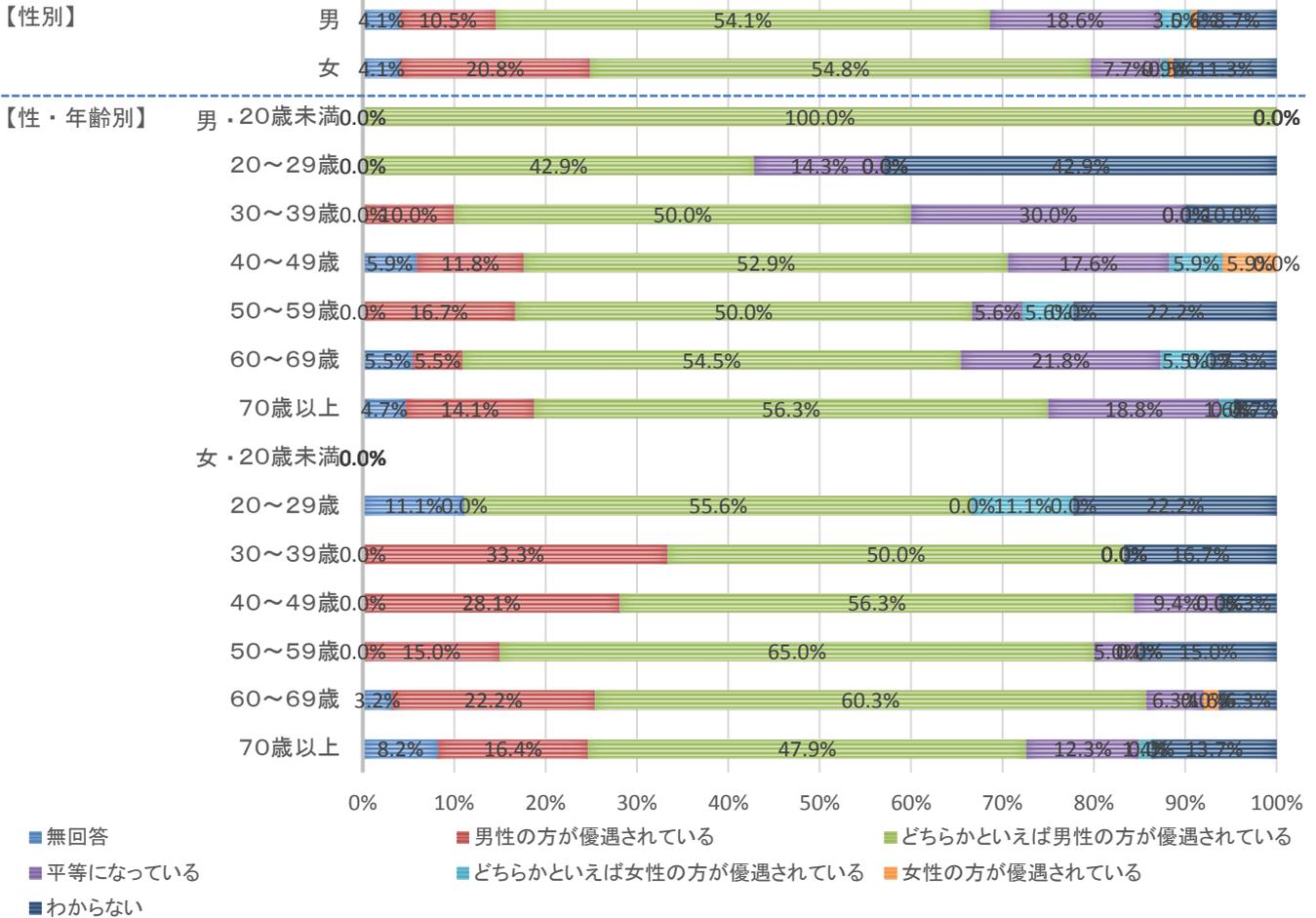
⑥ 社会通念, 慣習, しきたりなどで



⑦ 法律や制度の上で



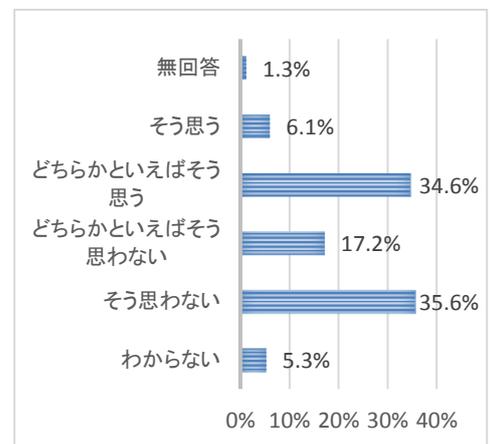
⑧ 社会全体で



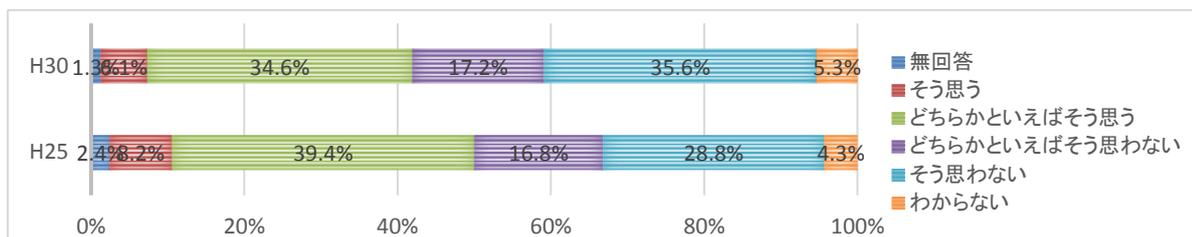
問3 「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方については、「そう思わない」が35.6%と最も多かったですが、「どちらかといえばそう思う」も34.6%と同程度となっています。前回調査と比較すると、「そう思わない」が6.8%増加しています。また、性・年齢別で見ると、50歳以上の男性及び30代女性、70歳以上女性において、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」が約半数を占めています。

問3	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について、あなたはどのように思いますか。	回答者数	構成比
0	無回答	5	1.3%
1	そう思う	24	6.1%
2	どちらかといえばそう思う	137	34.6%
3	どちらかといえばそう思わない	68	17.2%
4	そう思わない	141	35.6%
5	わからない	21	5.3%
	計	396	100.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)

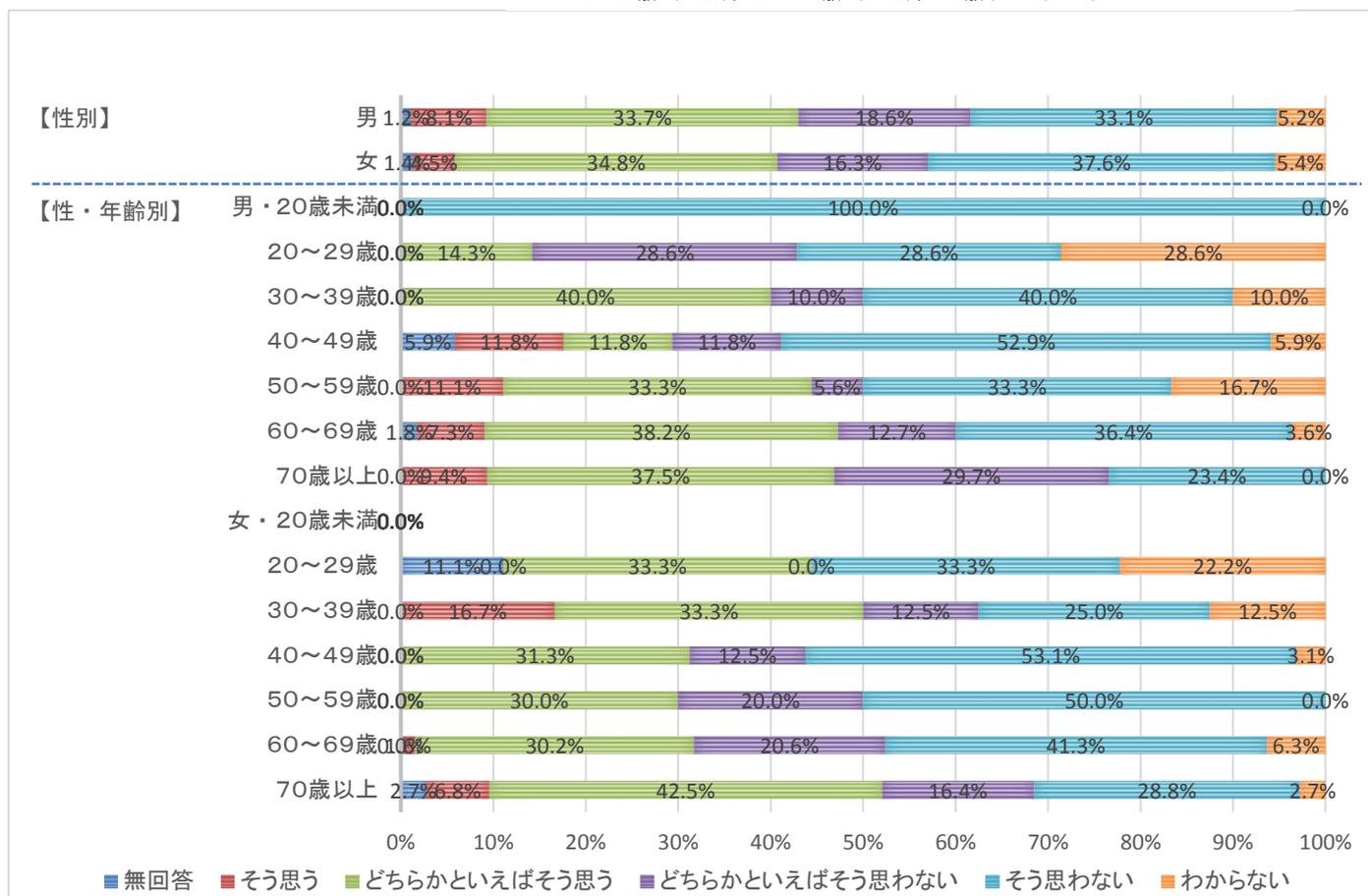


【性別, 性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



問4 あなたは、次にあげる意見について、どのように考えますか。(〇はそれぞれ1つ)

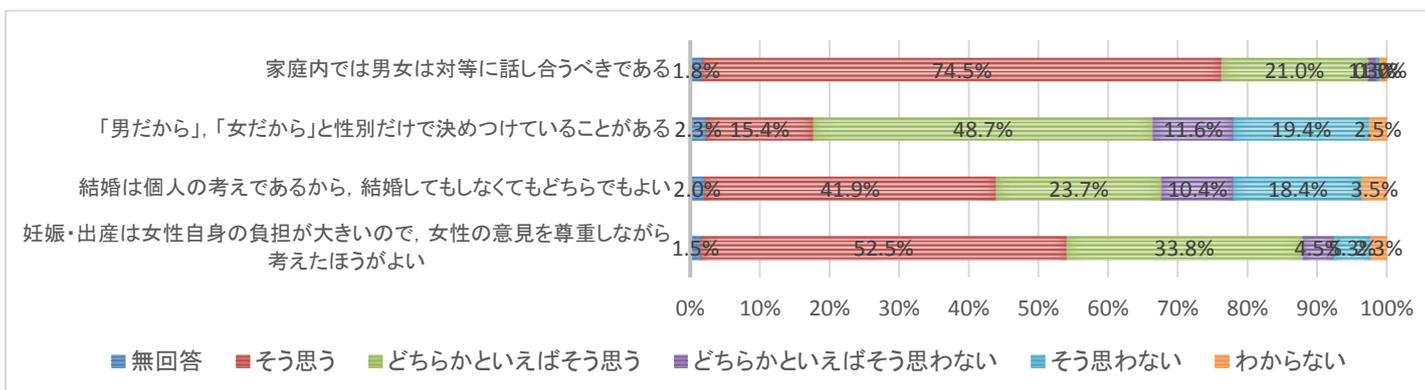
家庭内では男女は対等に話し合うべきであるについては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が合わせて95.5%となっています。

前回との比較では、「男だから」、「女だから」と性別だけで決めつけていることがある」の設問について、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」がH25の26.2%からH30は31%と4.8%増加しています。また、「結婚は個人の考えであるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」の設問について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が57.2%から65.6%と8.4%増加しています。

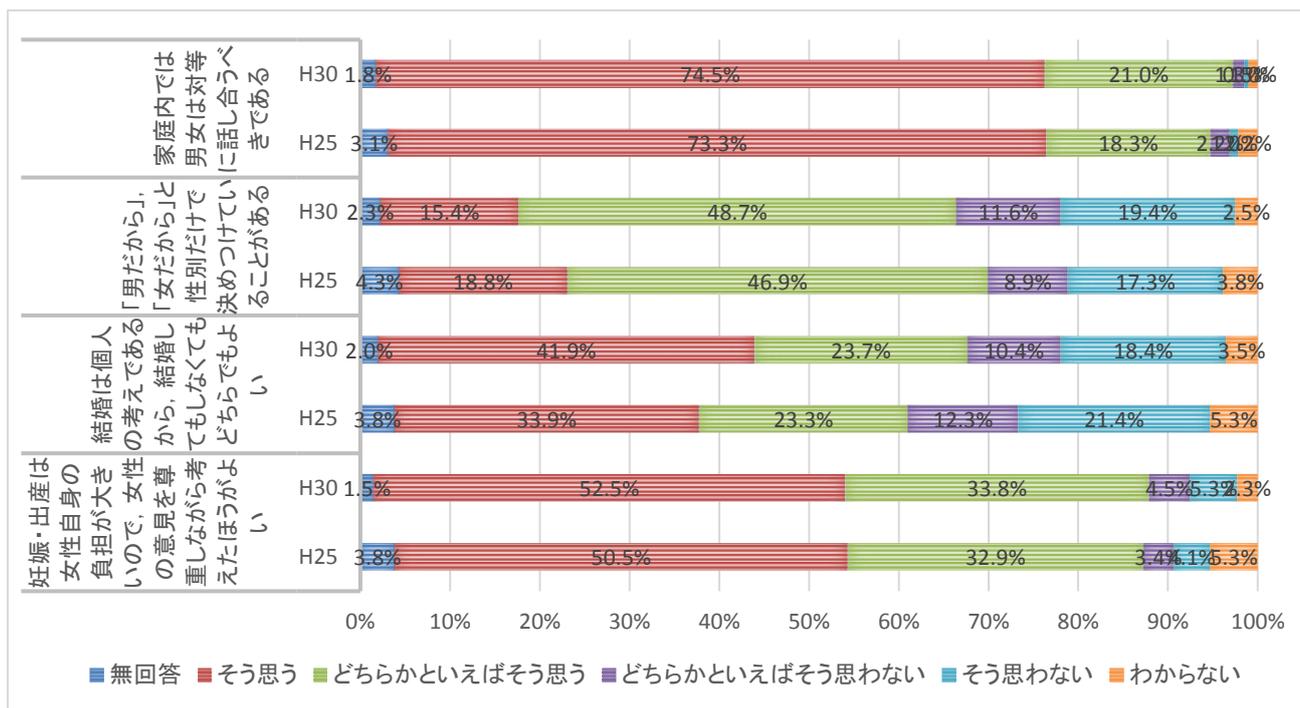
性・年齢別で比較すると、「結婚は個人の考えであるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」の設問では、50歳以上の男性において、「そう思わない」と回答した人が多くなっています。「妊娠・出産は女性自身の負担が大きいので、女性の意見を尊重しながら考えたほうがよい」については、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の項目を合わせると、男性が5.2%に対し、女性が12.6%と女性の方がそう思わないと回答した人が多くなっています。

<回答者数>	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	計
家庭内では男女は対等に話し合うべきである	7	295	83	5	2	4	396
「男だから」、「女だから」と性別だけで決めつけていることがある	9	61	193	46	77	10	396
結婚は個人の考えであるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	8	166	94	41	73	14	396
妊娠・出産は女性自身の負担が大きいので、女性の意見を尊重しながら考えたほうがよい	6	208	134	18	21	9	396

<構成比>	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	計
家庭内では男女は対等に話し合うべきである	1.8%	74.5%	21.0%	1.3%	0.5%	1.0%	100%
「男だから」、「女だから」と性別だけで決めつけていることがある	2.3%	15.4%	48.7%	11.6%	19.4%	2.5%	100%
結婚は個人の考えであるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	2.0%	41.9%	23.7%	10.4%	18.4%	3.5%	100%
妊娠・出産は女性自身の負担が大きいので、女性の意見を尊重しながら考えたほうがよい	1.5%	52.5%	33.8%	4.5%	5.3%	2.3%	100%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



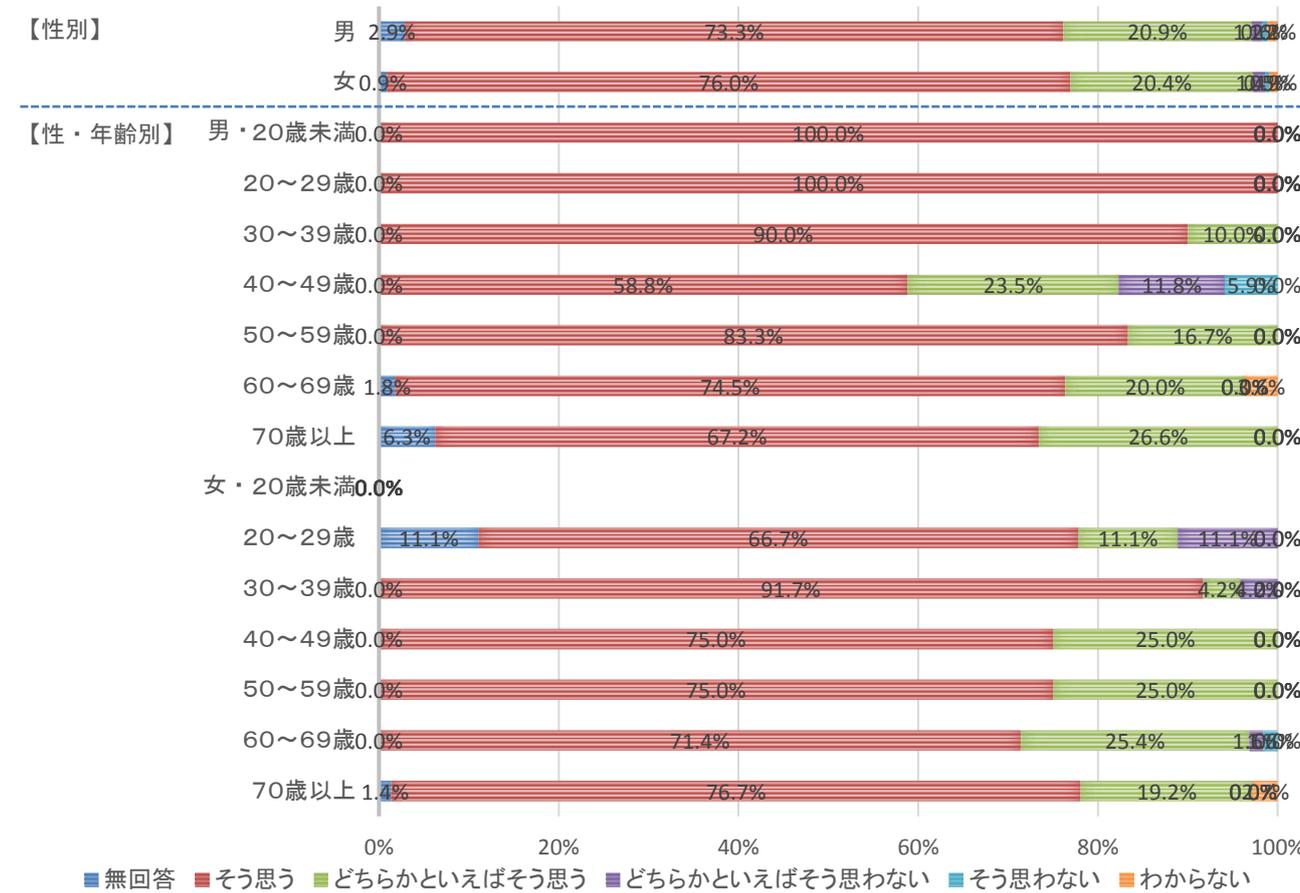
【性別、性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

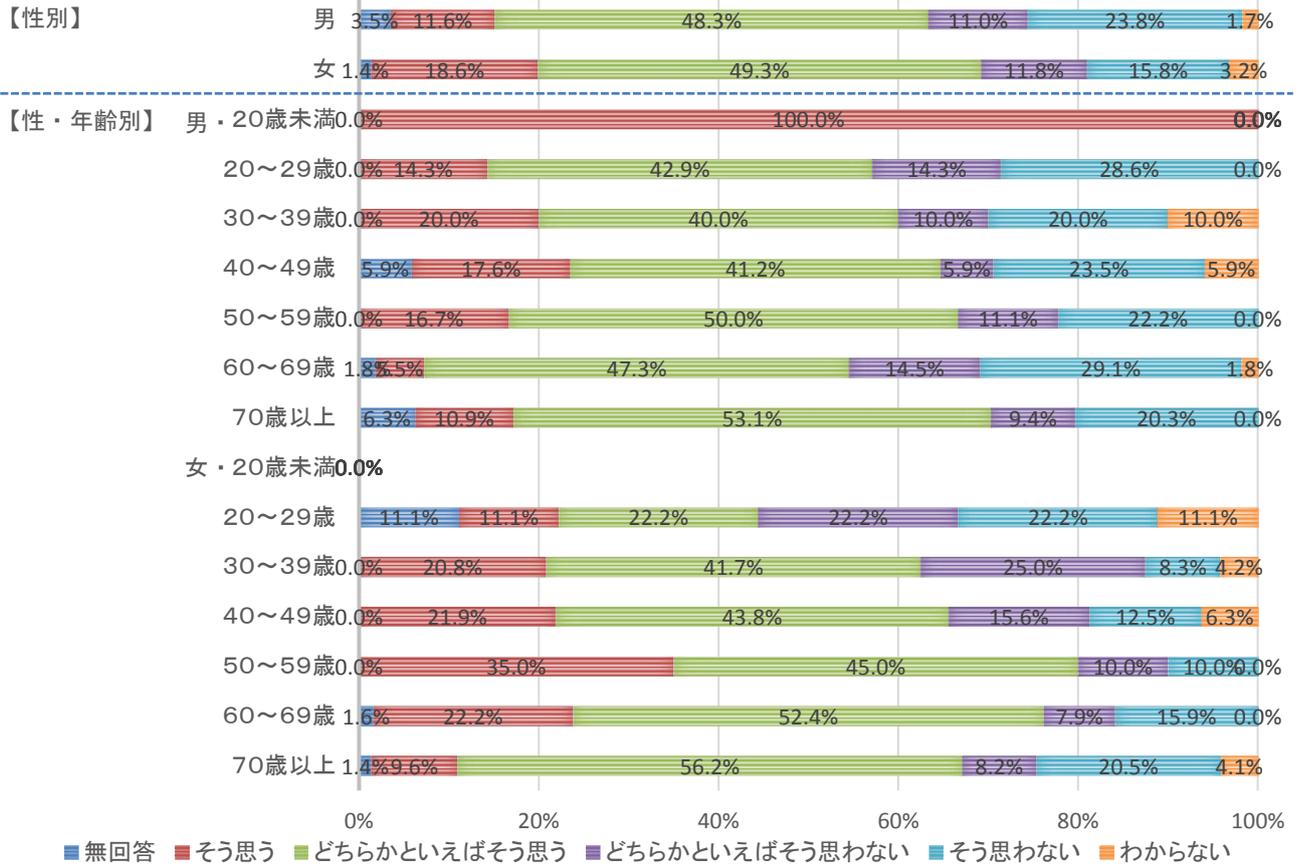
男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17), 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32), 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

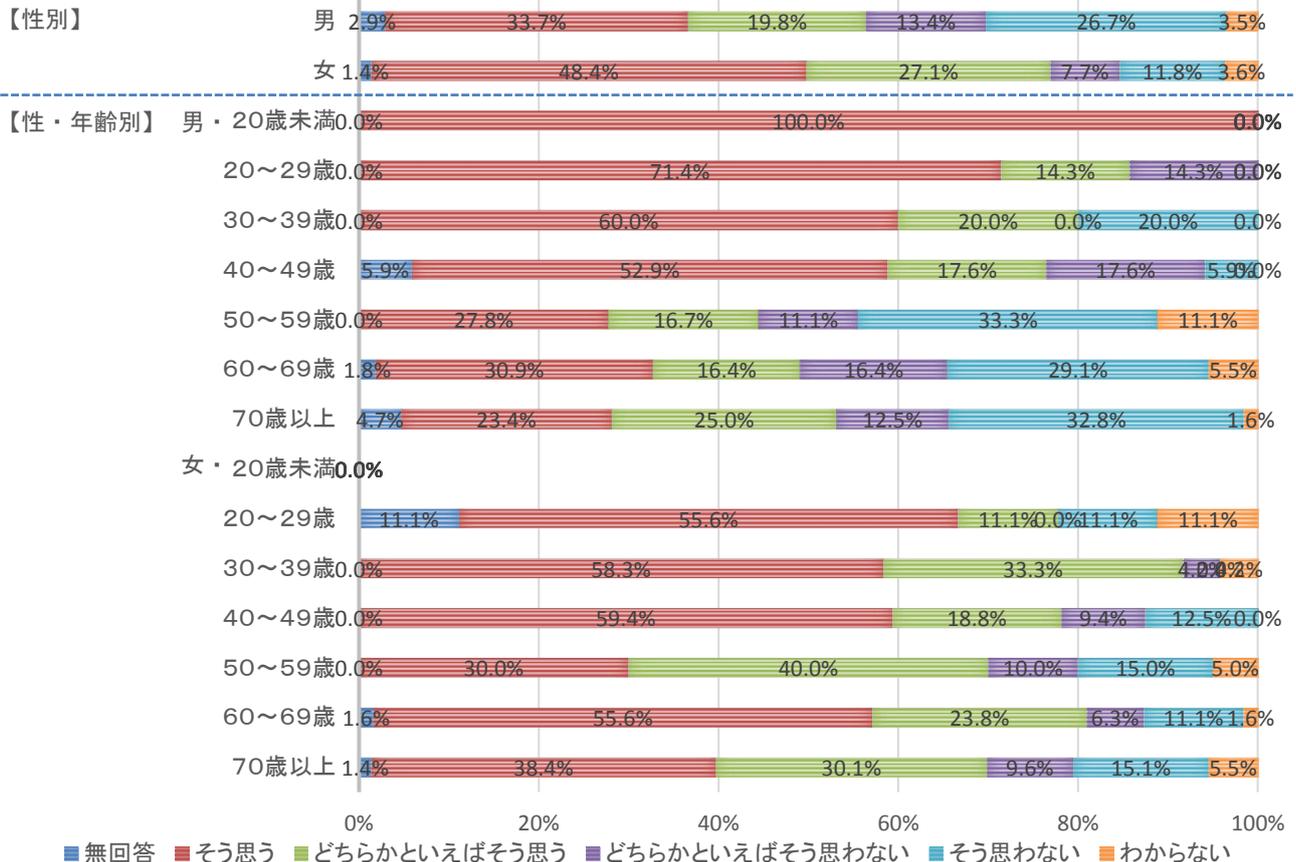
① 家庭内では男女は対等に話し合うべきである



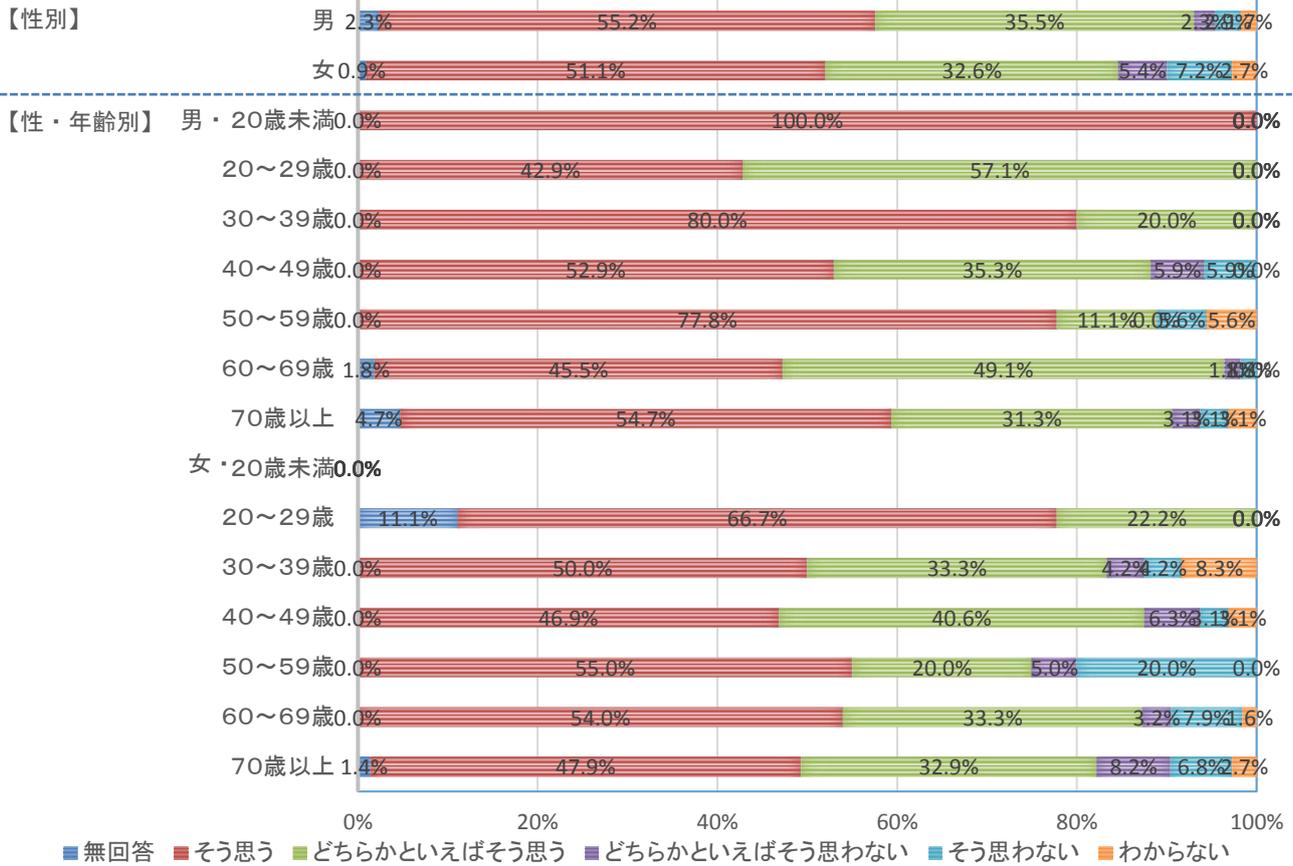
②「男だから」、「女だから」と性別だけで決めつけていることがある



③結婚は個人の考えであるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



④妊娠・出産は女性自身の負担が大きいので、女性の意見を尊重しながら考えたほうがよい

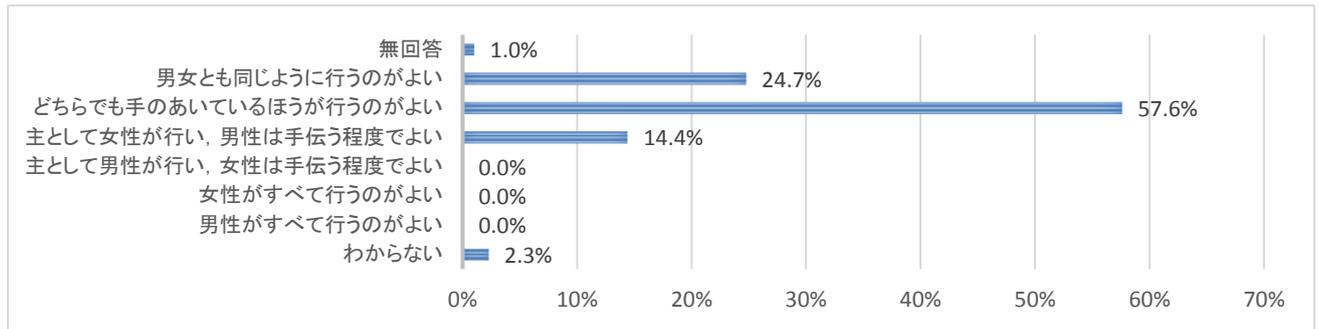


2. 家庭生活について

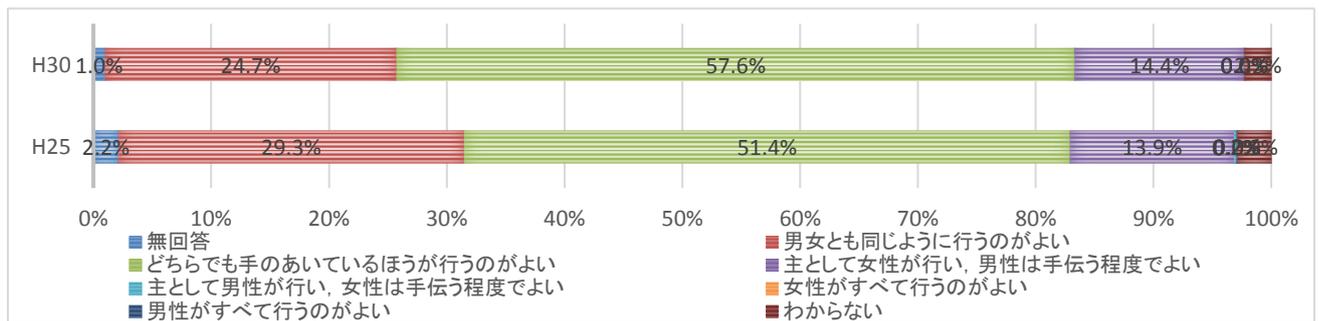
問5 あなたは、家事・子育て・介護についてどのように行うのが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

家事・子育て・介護については、「どちらでも手のあいているほうが行いうのがよい」が57.6%と最も多く、次いで「男女とも同じように行うのがよい」が24.7%となっています。性・年齢別で比較すると、70歳以上においては、男女ともに、「主として女性が行い、男性は手伝う程度でよい」と回答した人が他の年代に比べ多くなっています。

問5	あなたは、家事・子育て・介護についてどのように行うのが望ましいと思いますか。	回答者数	構成比
0	無回答	4	1.0%
1	男女とも同じように行うのがよい	98	24.7%
2	どちらでも手のあいているほうが行いうのがよい	228	57.6%
3	主として女性が行い、男性は手伝う程度でよい	57	14.4%
4	主として男性が行い、女性は手伝う程度でよい	0	0.0%
5	女性がすべて行いうのがよい	0	0.0%
6	男性がすべて行いうのがよい	0	0.0%
7	わからない	9	2.3%
計		396	100.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)

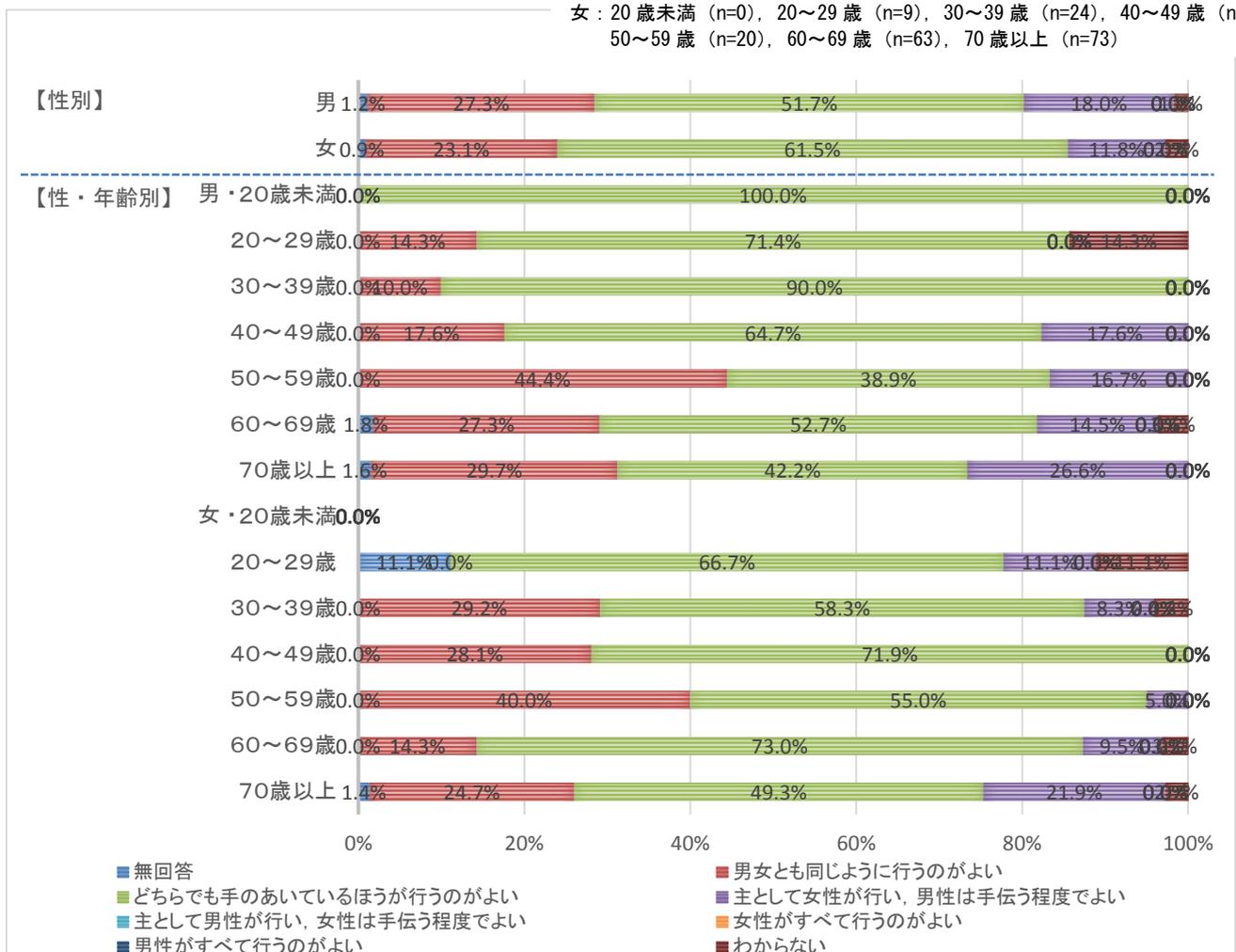


【性別、性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17), 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32), 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



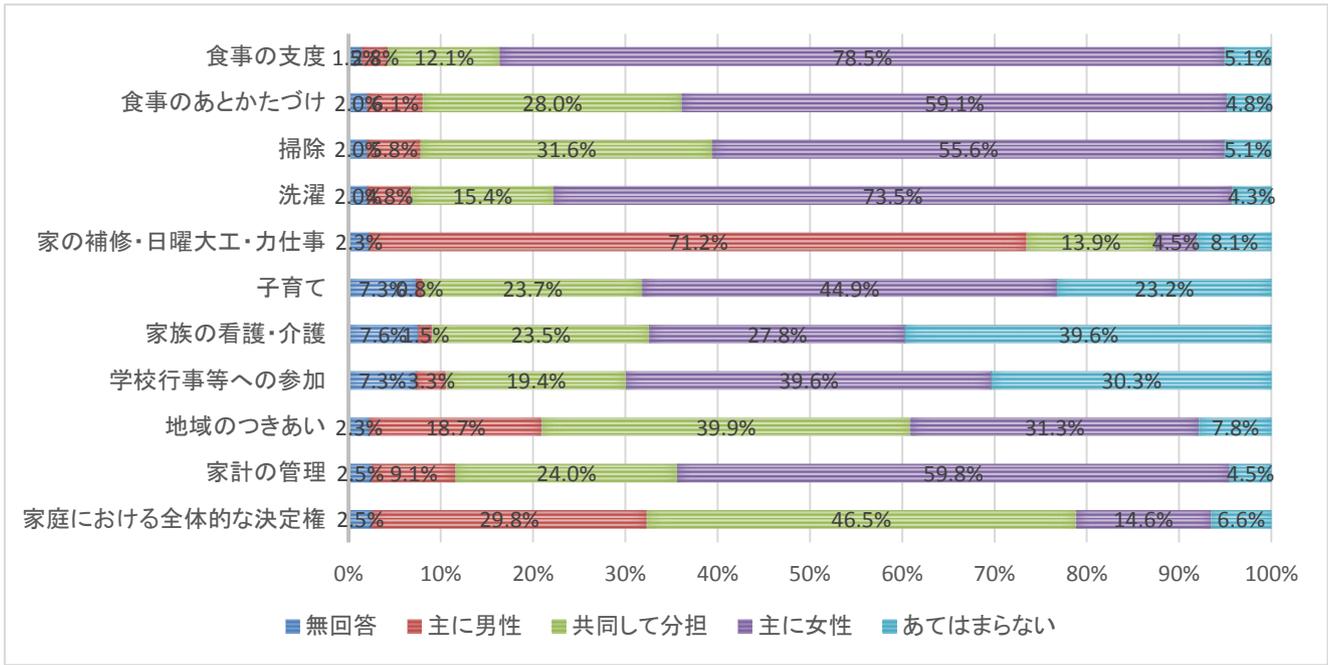
問6 あなたの家庭では、次にあげる項目において、主に誰が分担していますか。(〇はそれぞれ1つ)

家庭生活における分担は、「主に男性」の項目が最も多かったのは、「家の補修・日曜大工・力仕事」の設問で71.2%となっています。また、「共同して分担」の項目が最も多かったのは、「地域のつきあい」で39.9%、「家庭における全体的な決定権」で46.5%となっています。そのほかの設問については、「主に女性」の項目がほぼ半数以上を占め、最も多くなっています。

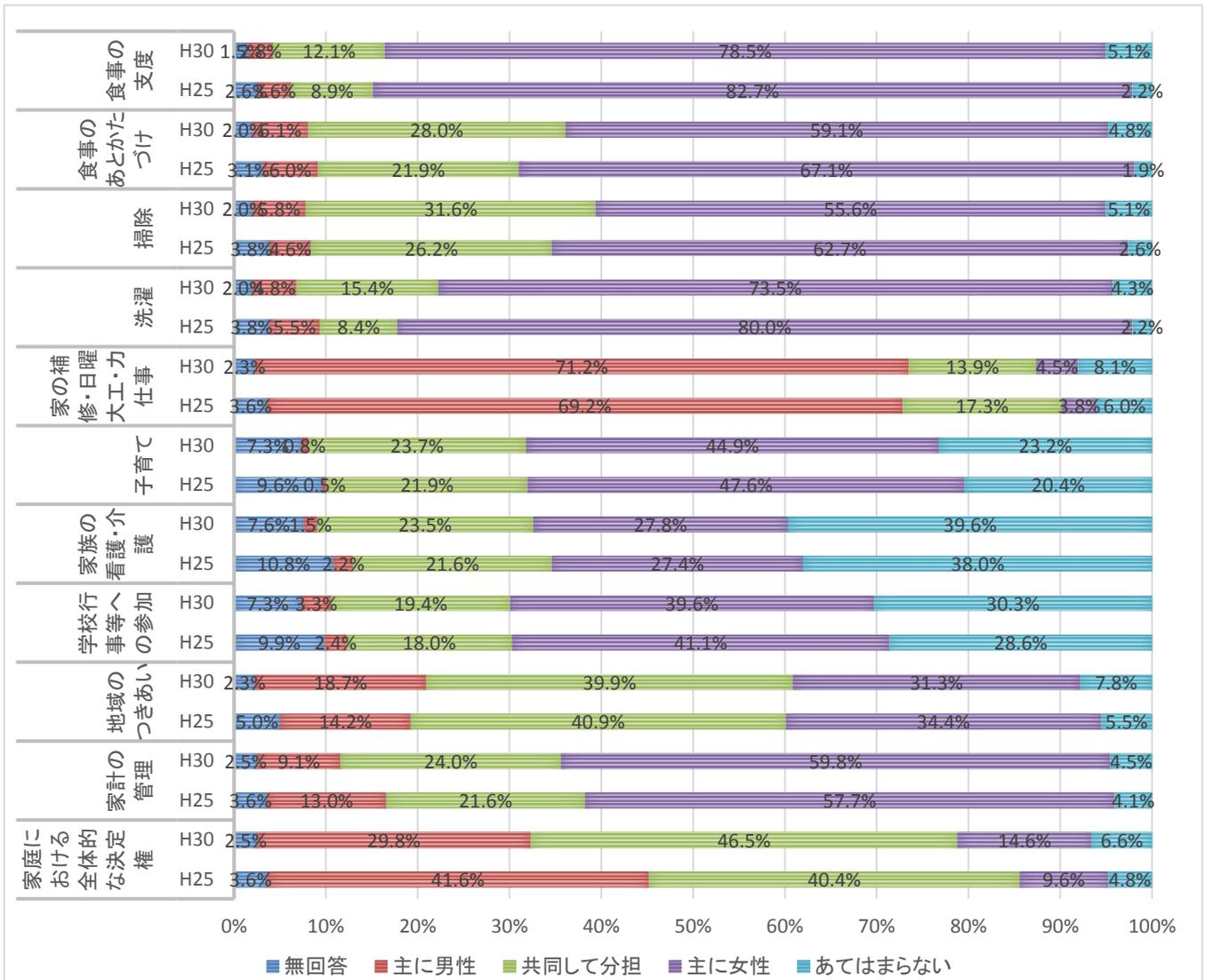
性・年齢別の比較では、女性より男性の方が「共同して分担」と回答した人が多くなっています。

<回答者数>	無回答	主に男性	共同して 分担	主に女性	あてはま らない	計
食事の支度	6	11	48	311	20	396
食事のあとかたづけ	8	24	111	234	19	396
掃除	8	23	125	220	20	396
洗濯	8	19	61	291	17	396
家の補修・日曜大工・力仕事	9	282	55	18	32	396
子育て	29	3	94	178	92	396
家族の看護・介護	30	6	93	110	157	396
学校行事等への参加	29	13	77	157	120	396
地域のつきあい	9	74	158	124	31	396
家計の管理	10	36	95	237	18	396
家庭における全体的な決定権	10	118	184	58	26	396

<構成比>	無回答	主に男性	共同して 分担	主に女性	あてはま らない	計
食事の支度	1.5%	2.8%	12.1%	78.5%	5.1%	100%
食事のあとかたづけ	2.0%	6.1%	28.0%	59.1%	4.8%	100%
掃除	2.0%	5.8%	31.6%	55.6%	5.1%	100%
洗濯	2.0%	4.8%	15.4%	73.5%	4.3%	100%
家の補修・日曜大工・力仕事	2.3%	71.2%	13.9%	4.5%	8.1%	100%
子育て	7.3%	0.8%	23.7%	44.9%	23.2%	100%
家族の看護・介護	7.6%	1.5%	23.5%	27.8%	39.6%	100%
学校行事等への参加	7.3%	3.3%	19.4%	39.6%	30.3%	100%
地域のつきあい	2.3%	18.7%	39.9%	31.3%	7.8%	100%
家計の管理	2.5%	9.1%	24.0%	59.8%	4.5%	100%
家庭における全体的な決定権	2.5%	29.8%	46.5%	14.6%	6.6%	100%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

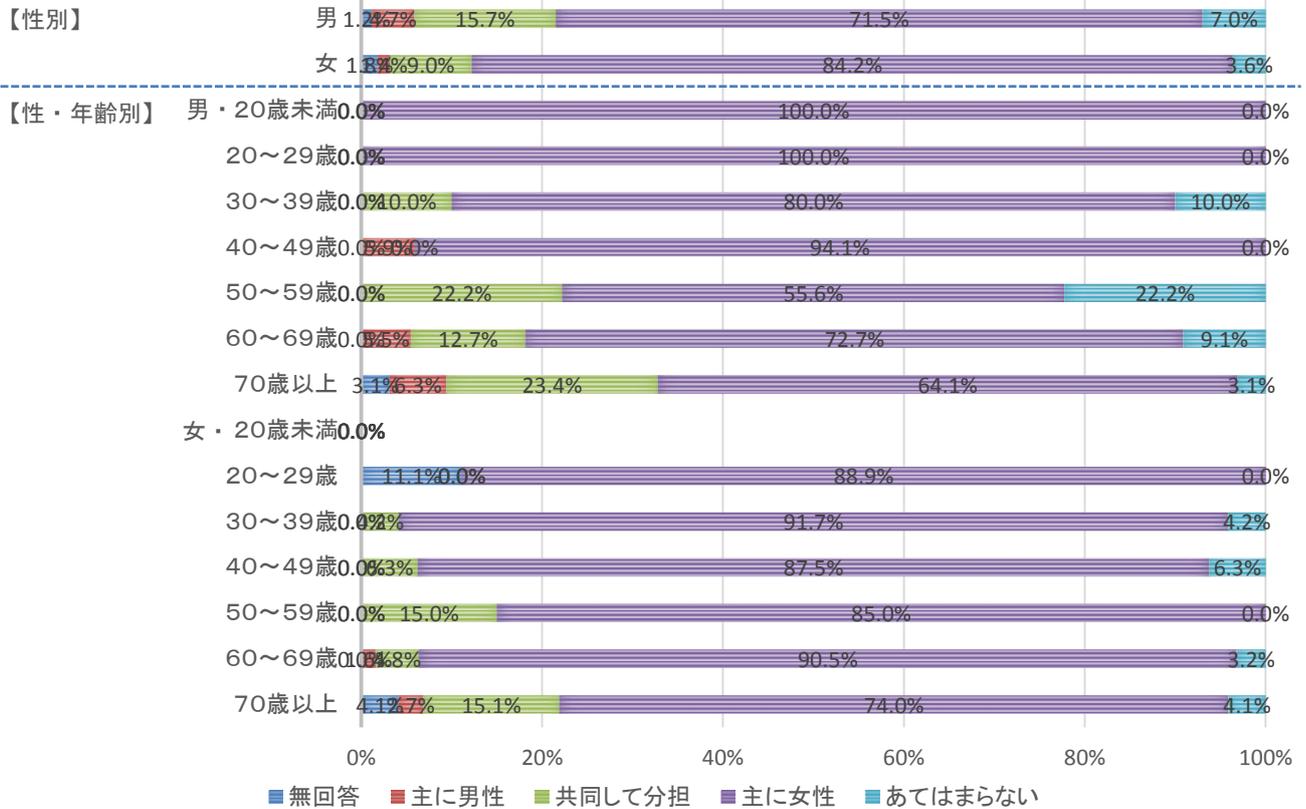
男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)

50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

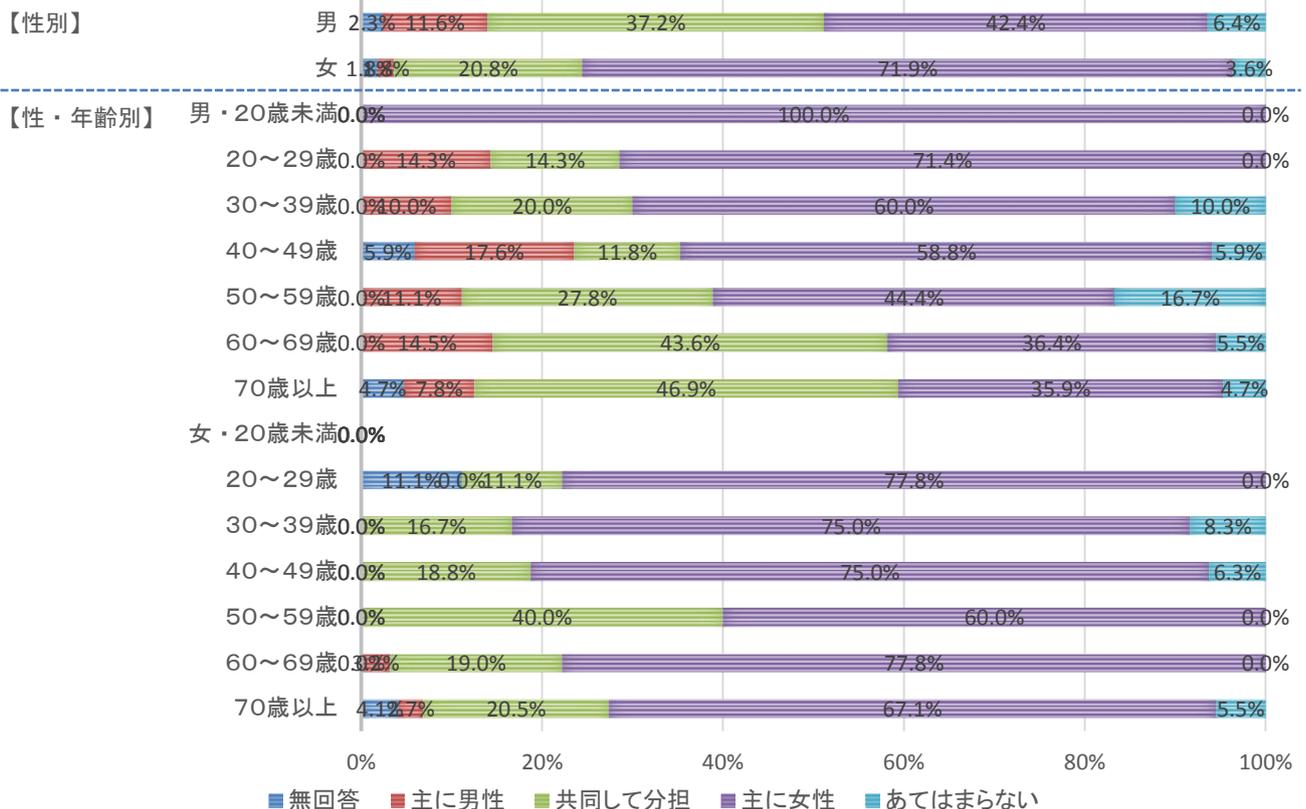
女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)

50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

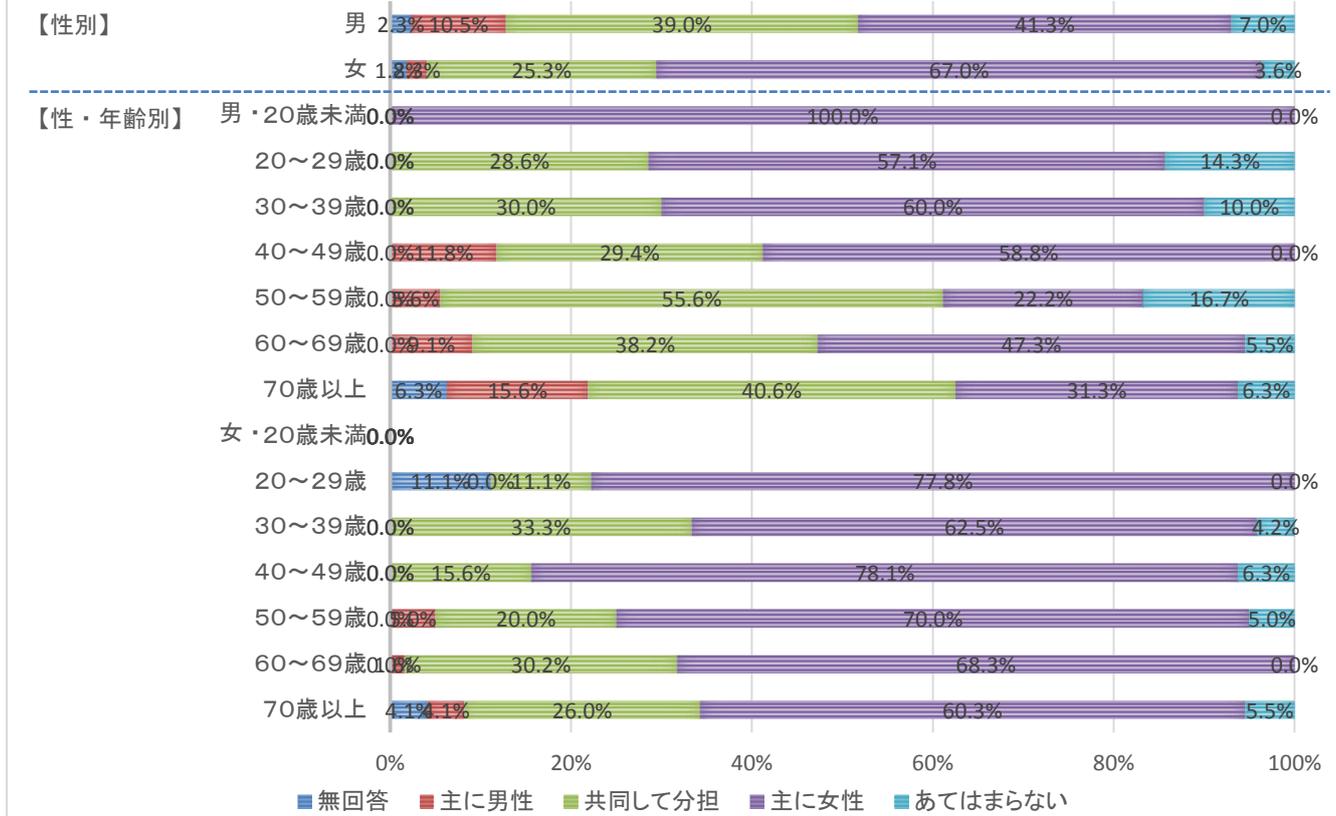
① 食事の支度



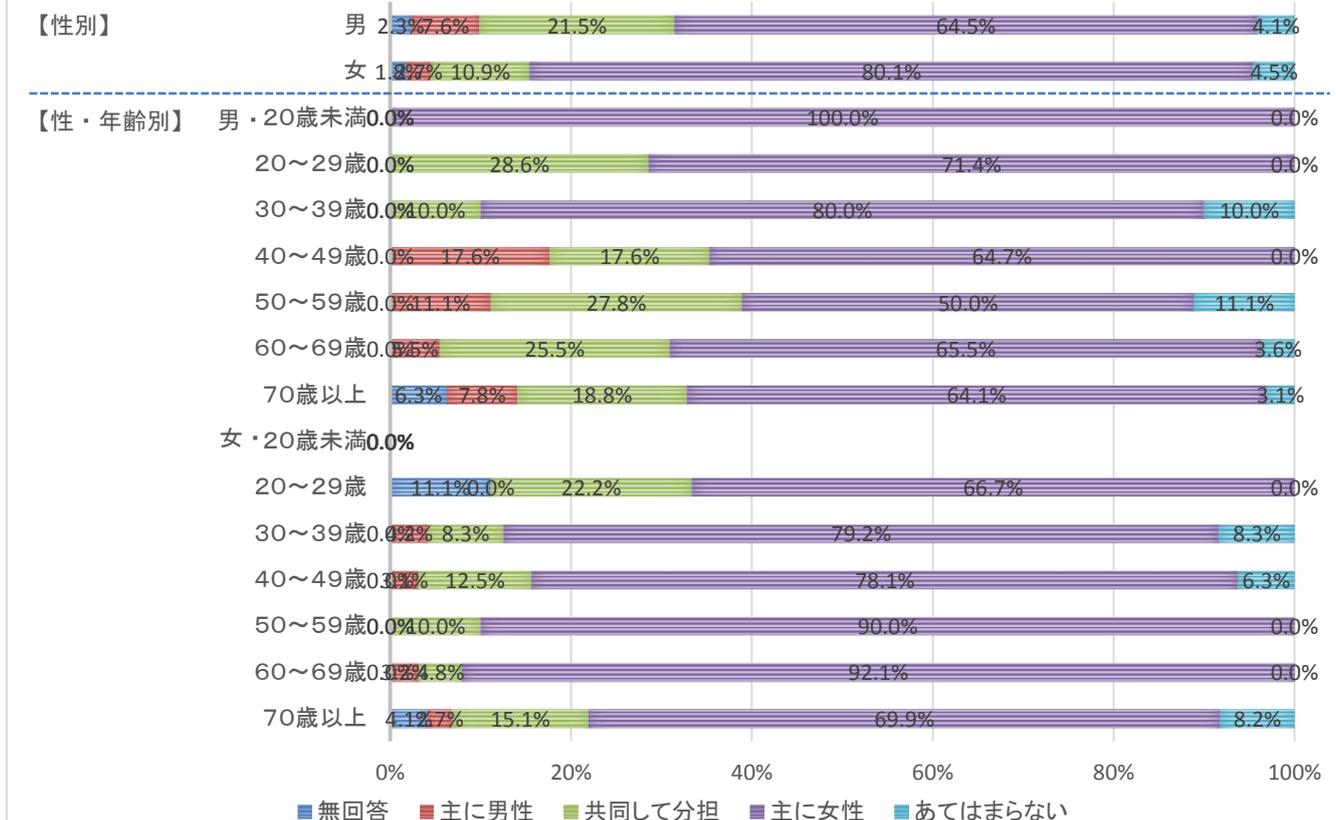
② 食事のあとかたづけ



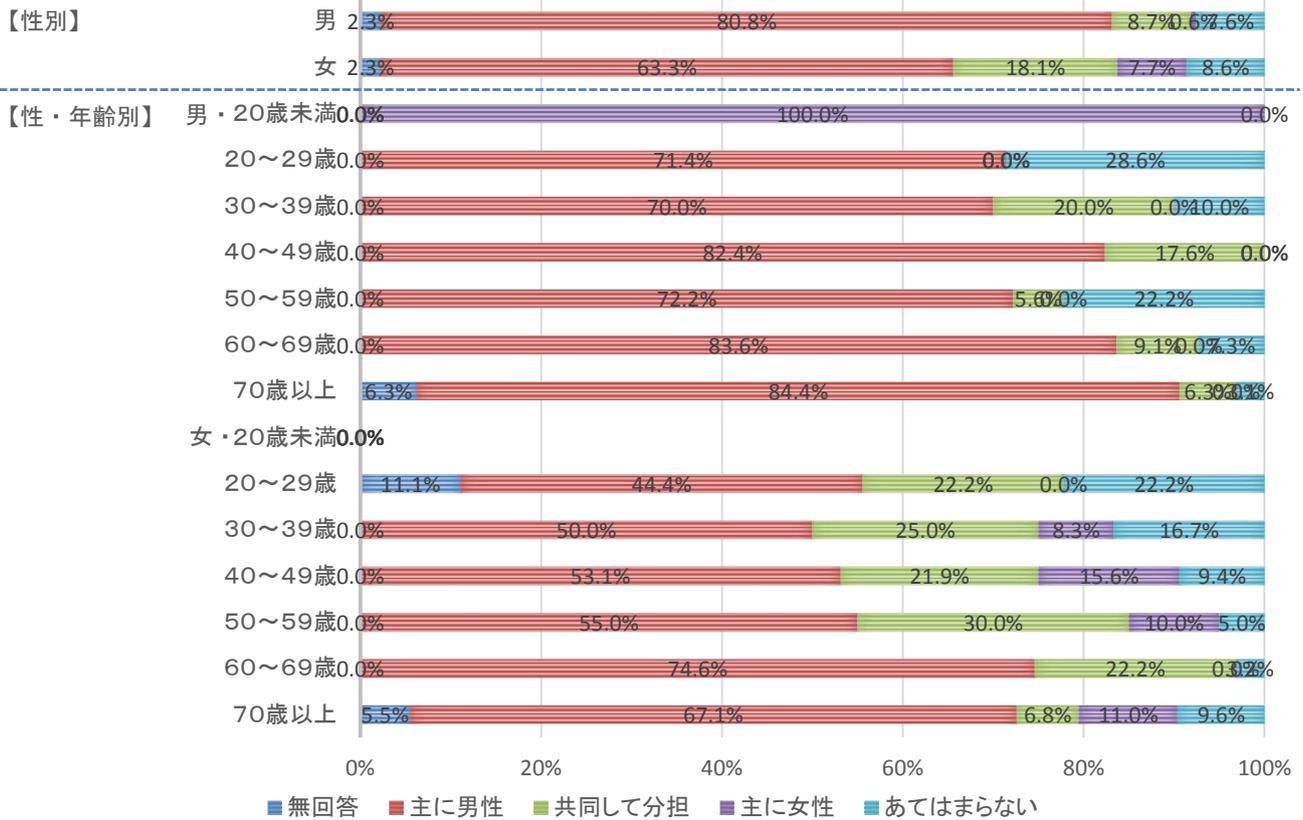
③ 掃除



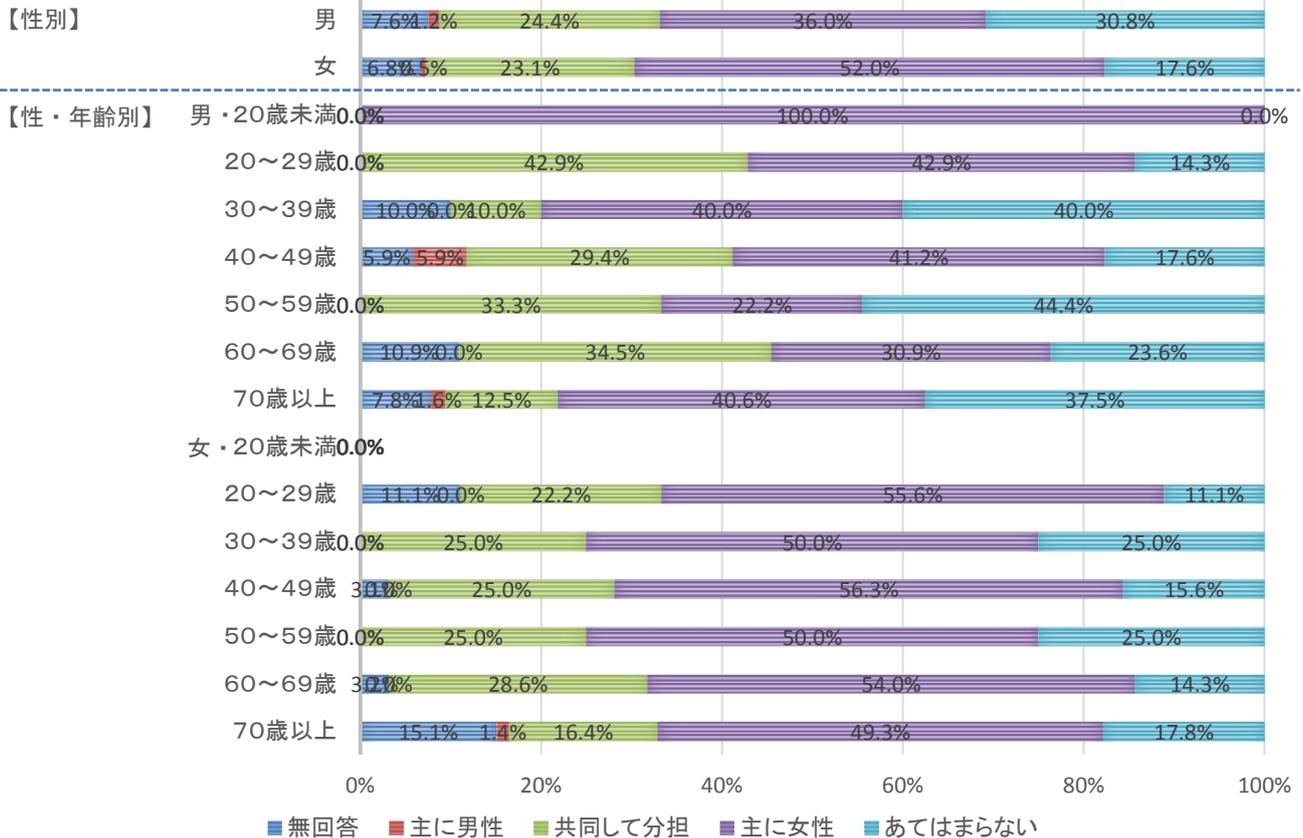
④ 洗濯



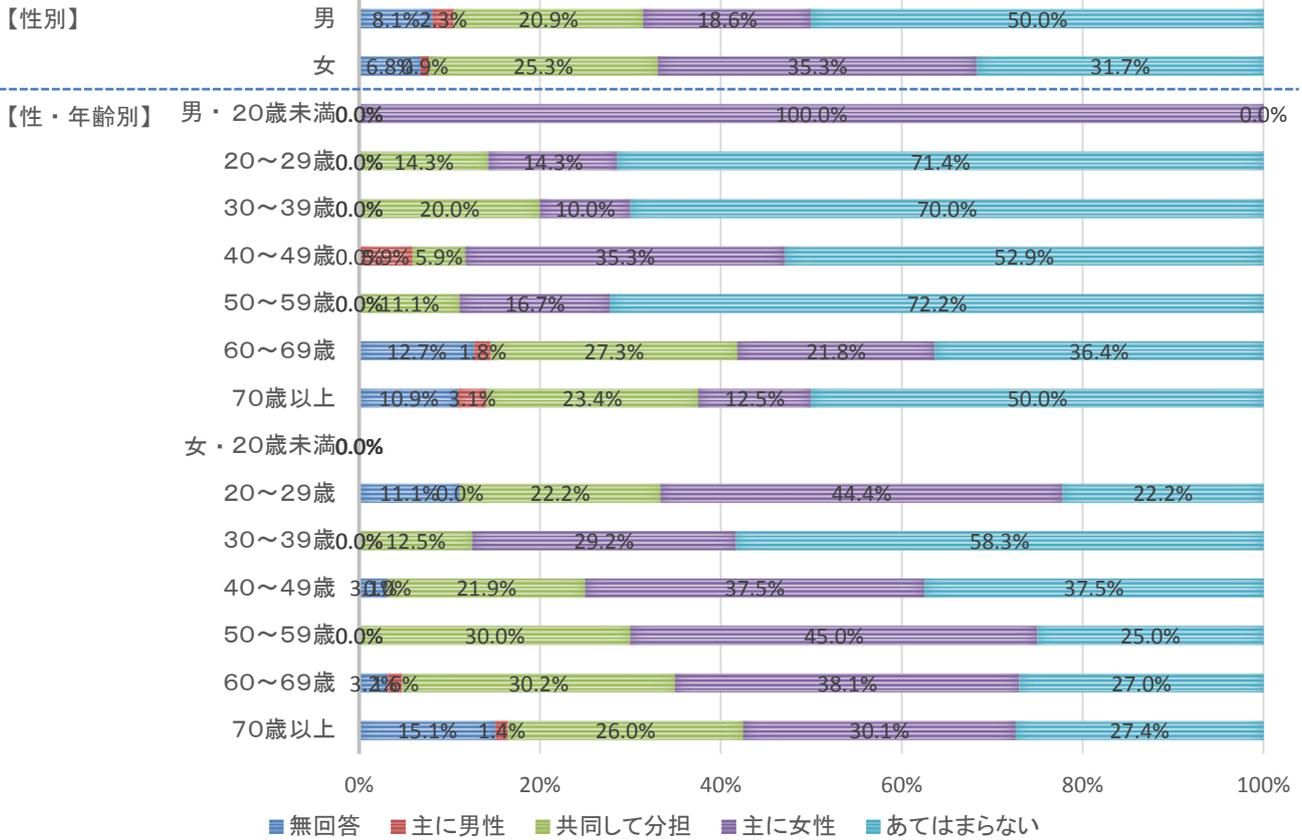
⑤家の補修・日曜大工・力仕事



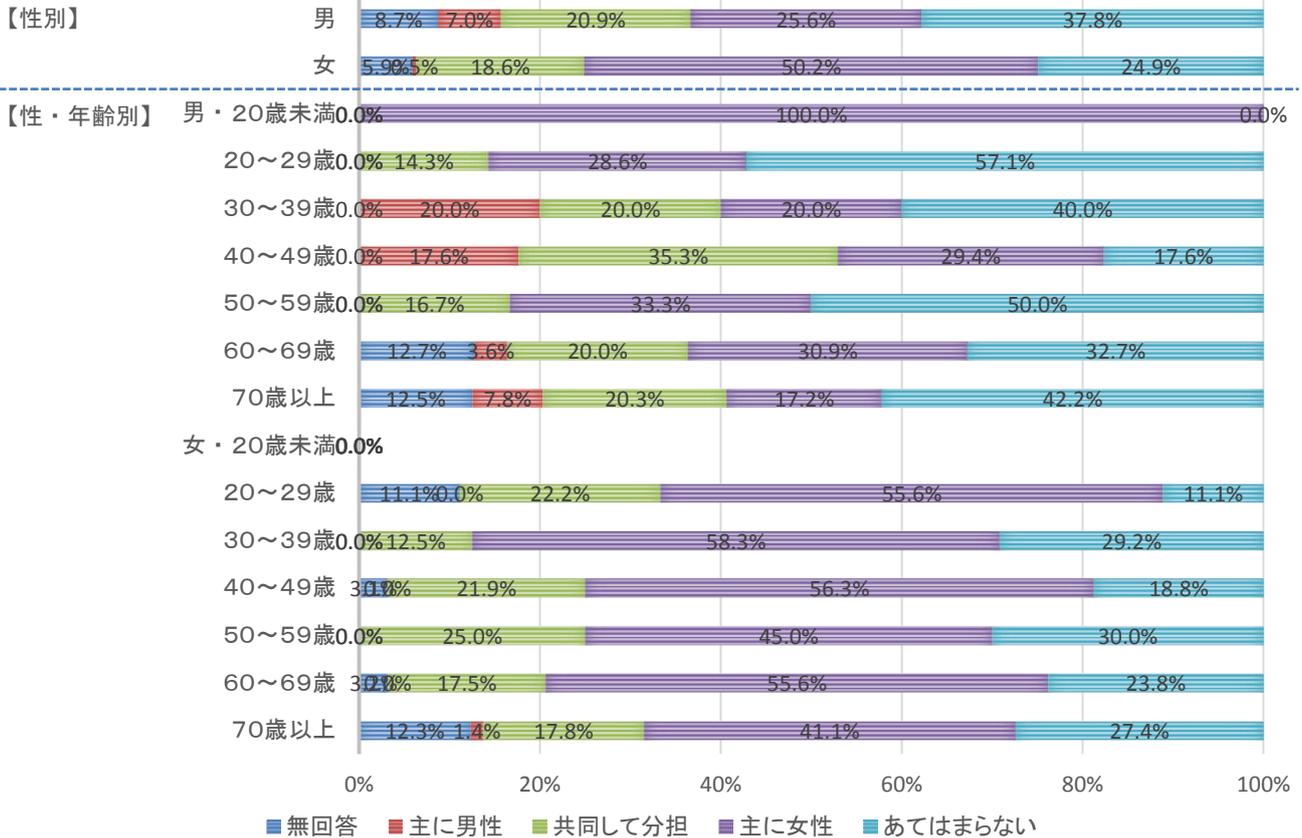
⑥子育て



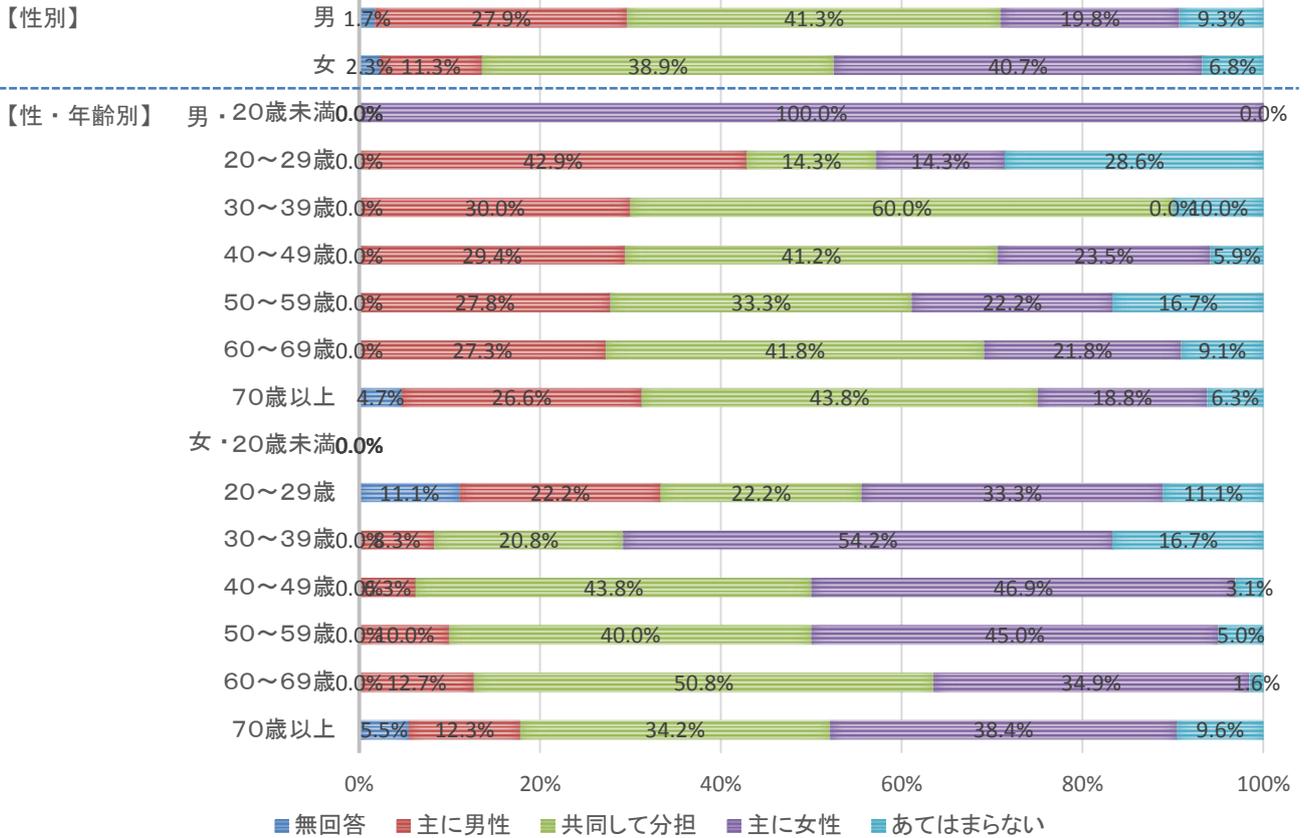
⑦ 家族の看護・介護



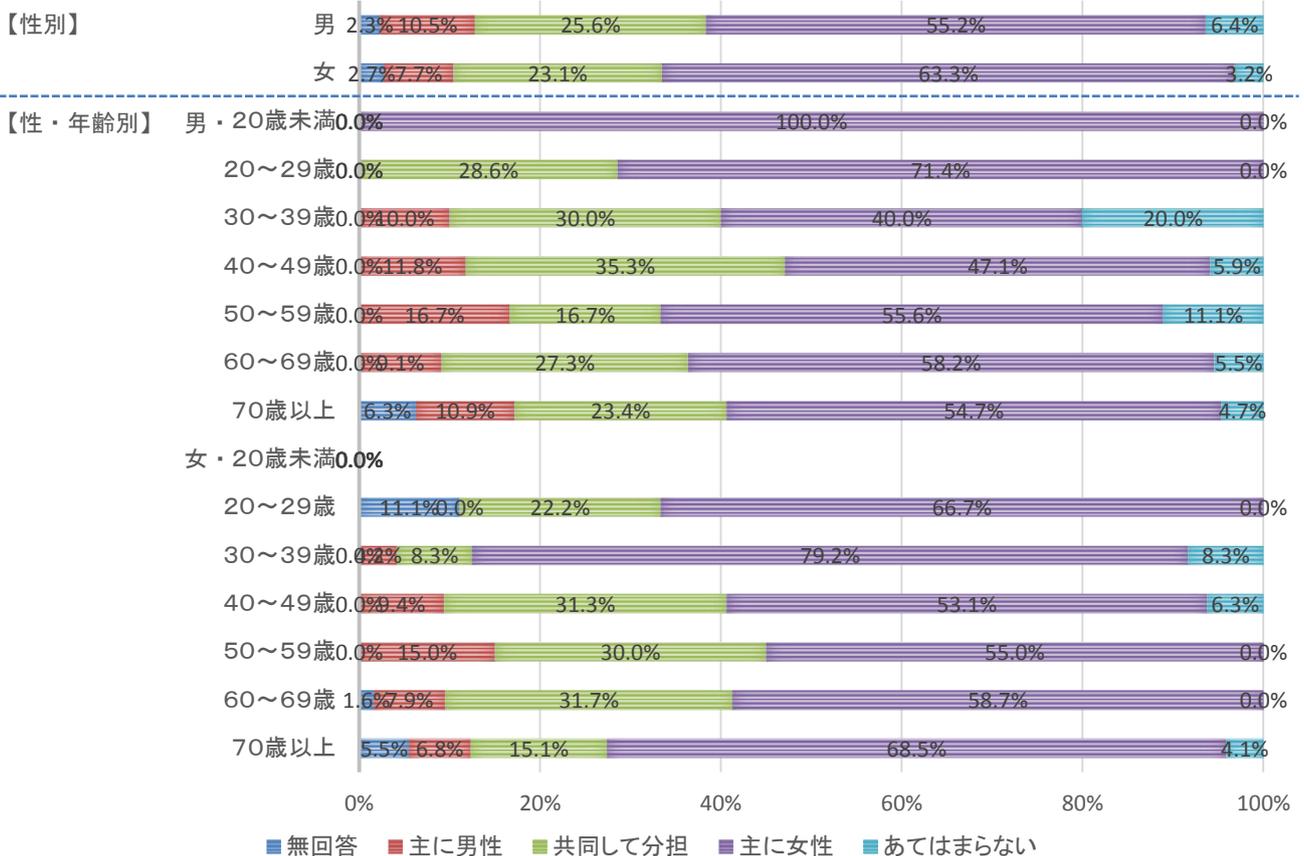
⑧ 学校行事等への参加



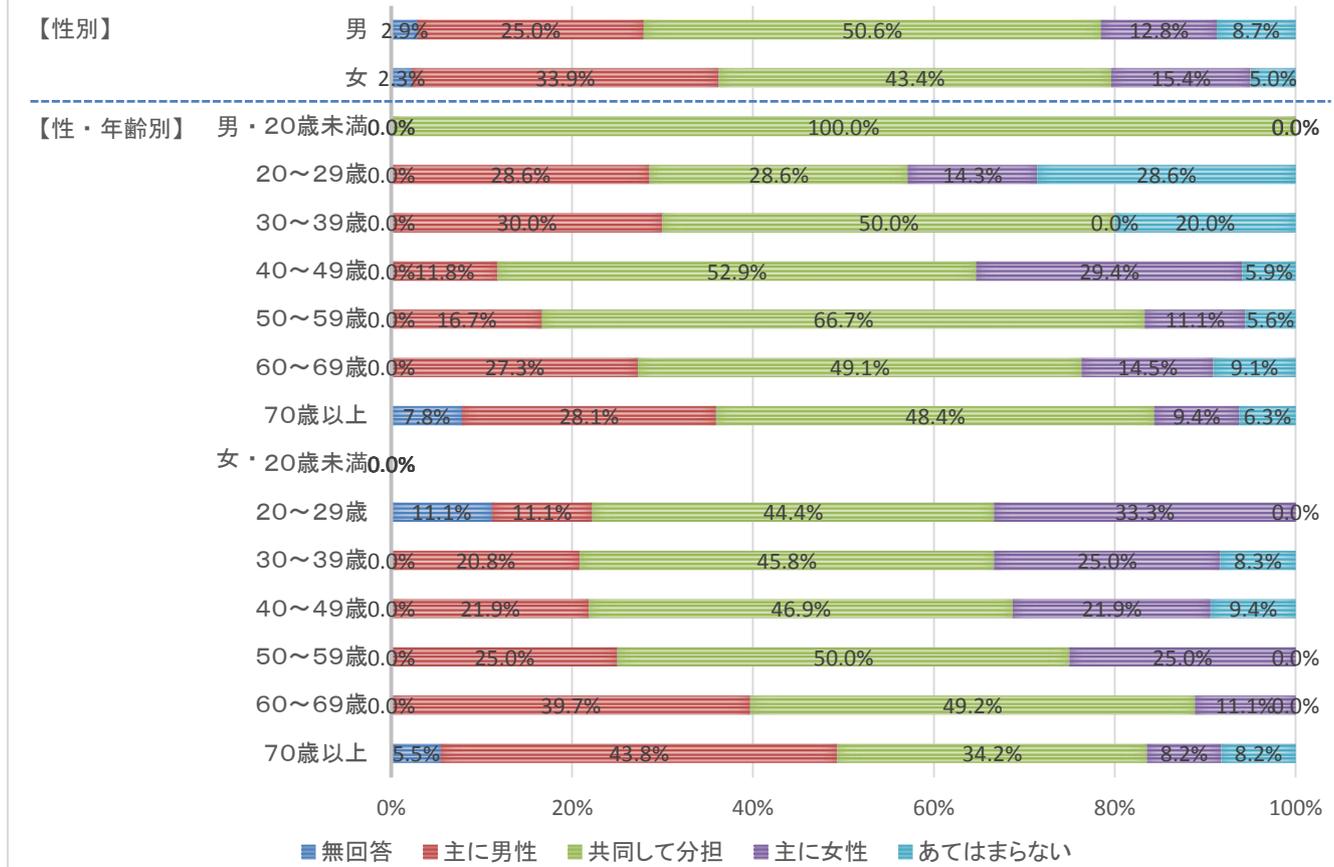
⑨ 地域のつきあい



⑩ 家計の管理



⑪ 家庭における全体的な決定権

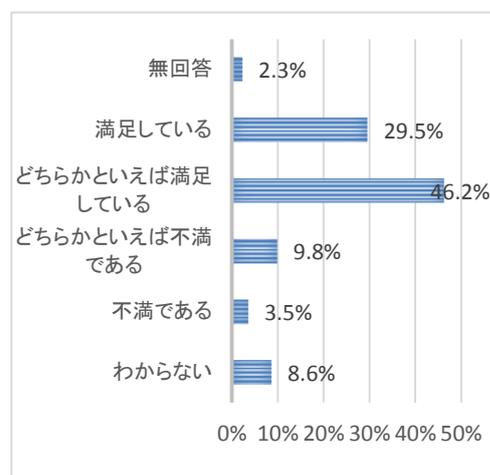


問7 あなたは、家庭での役割分担に満足していますか。(〇は1つ)

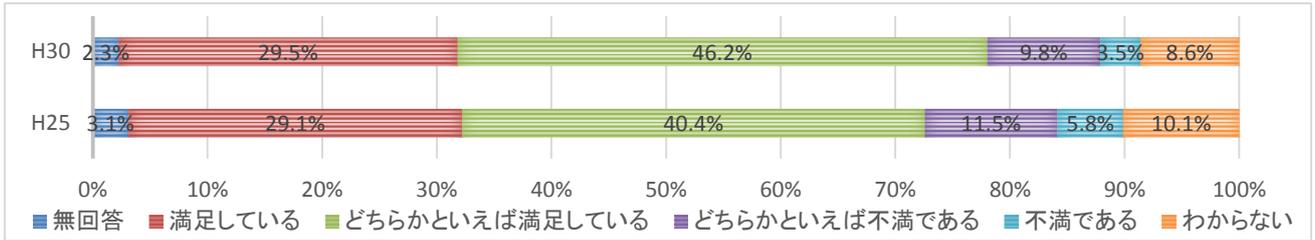
役割分担への満足度については、「どちらかといえば満足している」が46.2%と最も多く、次いで「満足している」が29.5%となっています。

性別で比較すると、「不満である」「どちらかといえば不満である」とした女性は20.8%と男性より16.7%多くなっています。また、仕事の状況、子どもの有無別でみると、50歳未満の「共働き」の方、及び「19歳未満の子どものいる女性」の方が「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した人が多くなっています。

問7	あなたは、家庭での役割分担に満足していますか。	回答者数	構成比
0	無回答	9	2.3%
1	満足している	117	29.5%
2	どちらかといえば満足している	183	46.2%
3	どちらかといえば不満である	39	9.8%
4	不満である	14	3.5%
5	わからない	34	8.6%
	計	396	100.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)

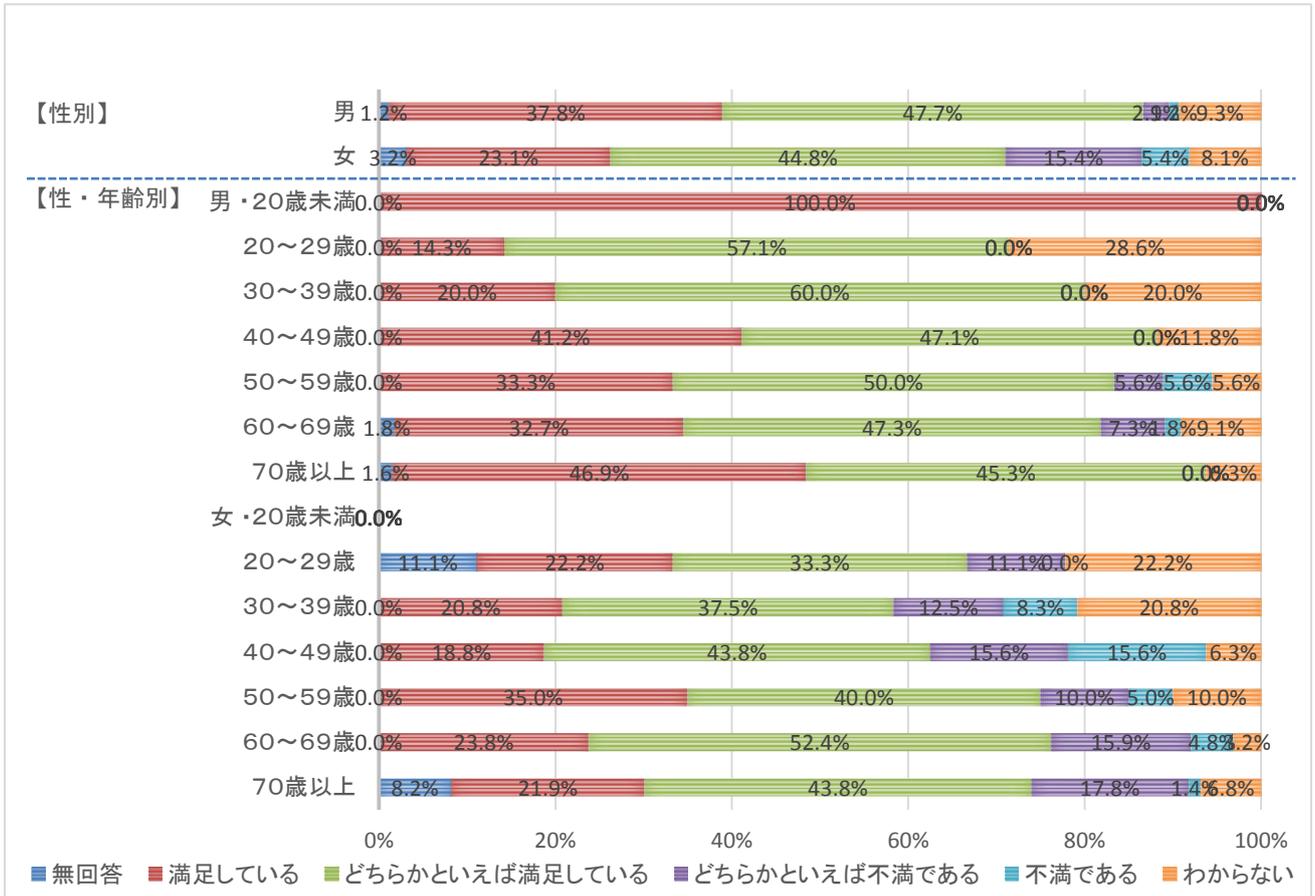


【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

男：20歳未満 (n=1), 20～29歳 (n=7), 30～39歳 (n=10), 40～49歳 (n=17)
50～59歳 (n=18), 60～69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女：20歳未満 (n=0), 20～29歳 (n=9), 30～39歳 (n=24), 40～49歳 (n=32)
50～59歳 (n=20), 60～69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



【仕事の状況別】

共働き (n=85), どちらかが働いている (n=94), 2人とも無職 (n=120)

男: 共働き (n=35), どちらかが働いている (n=50), 2人とも無職 (n=47)

女: 共働き (n=50), どちらかが働いている (n=43), 2人とも無職 (n=72)

20歳未満: 共働き (n=0), どちらかが働いている (n=0), 2人とも無職 (n=0)

20~29歳: 共働き (n=0), どちらかが働いている (n=1), 2人とも無職 (n=0)

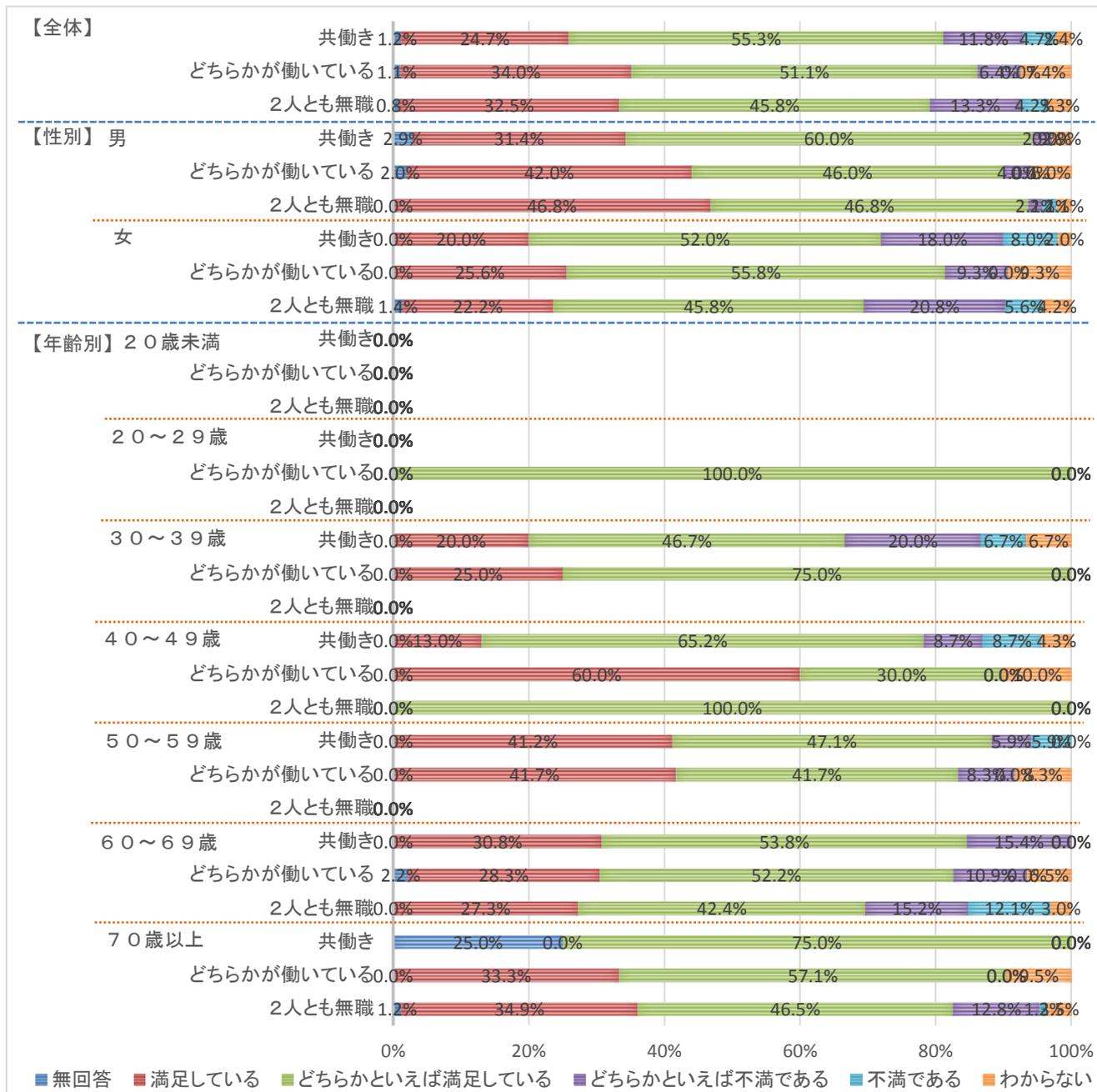
30~39歳: 共働き (n=15), どちらかが働いている (n=4), 2人とも無職 (n=0)

40~49歳: 共働き (n=23), どちらかが働いている (n=10), 2人とも無職 (n=1)

50~59歳: 共働き (n=17), どちらかが働いている (n=12), 2人とも無職 (n=0)

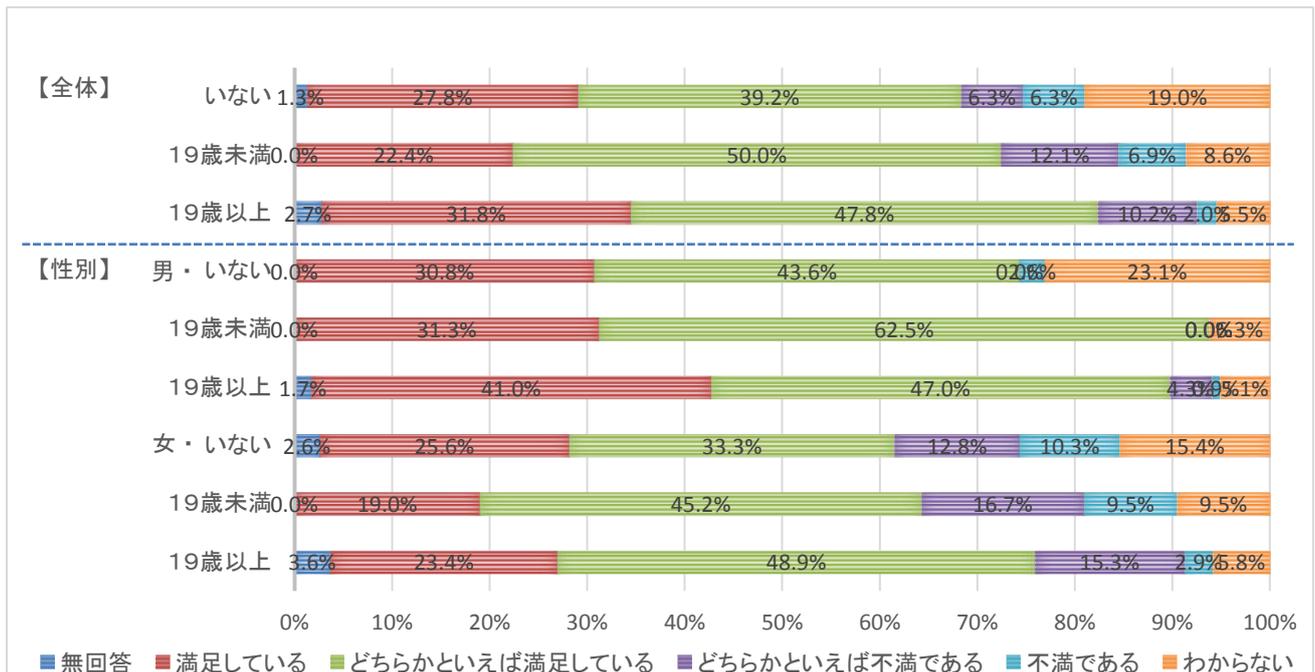
60~69歳: 共働き (n=26), どちらかが働いている (n=46), 2人とも無職 (n=33)

70歳以上: 共働き (n=4), どちらかが働いている (n=21), 2人とも無職 (n=86)



【子どもの有無別】

いない(n=79), 19歳未満(n=58), 19歳以上(n=255)
 男: いない(n=39), 19歳未満(n=16), 19歳以上(n=117)
 女: いない(n=39), 19歳未満(n=42), 19歳以上(n=137)



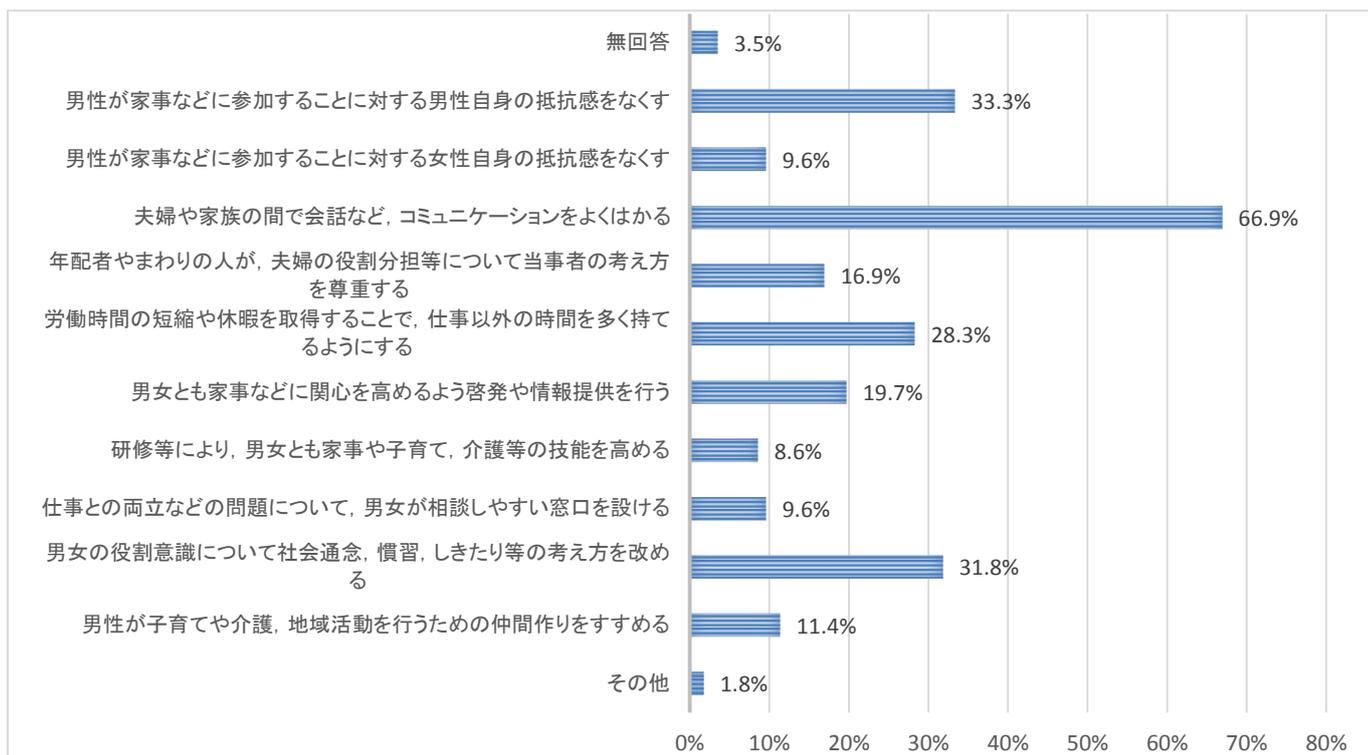
問8 今後、家庭で男女がともに役割を分担しながら生活していくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

家庭で男女がともに役割を分担しながら生活していくために必要なことは、「夫婦や家族の間で会話など、コミュニケーションをよくはかる」が66.9%と最も多く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」が33.3%となっています。

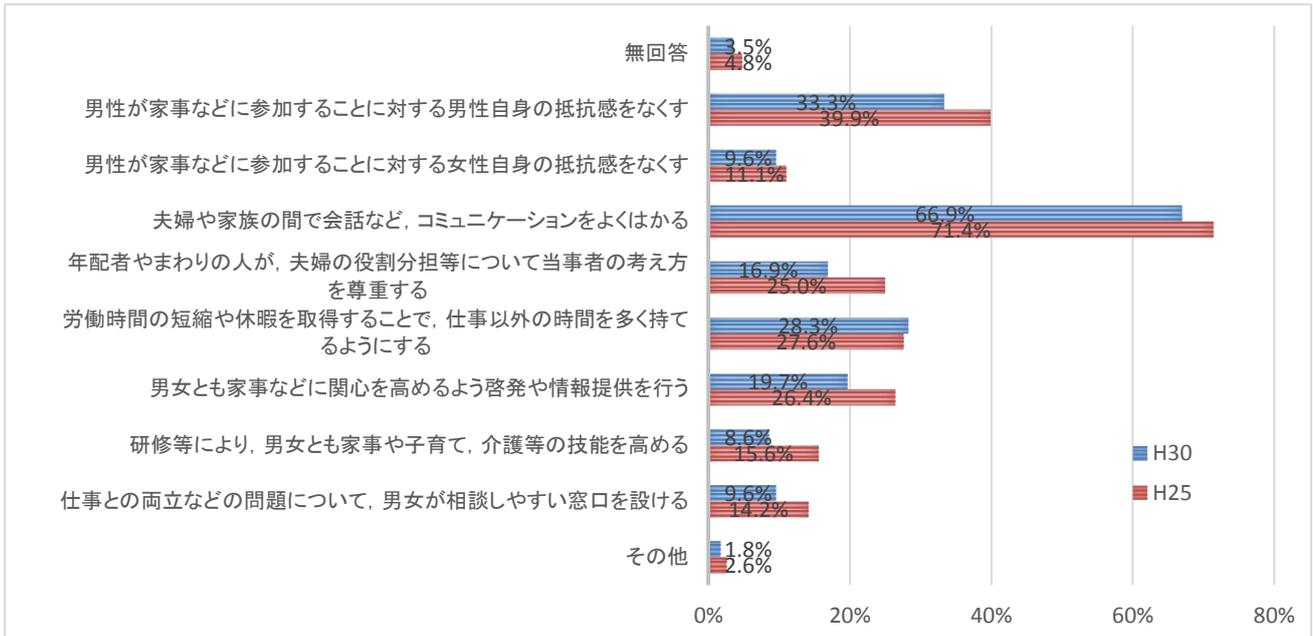
仕事の状況や子どもの有無別で見ると、共働きの方及び19歳未満のお子さんのいる方では、「労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間を多く持てるようにする」が全体と比べ多くなっています。また、19歳未満のお子さんのいる方では、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重する」も多くなっています。

また、その他で、「子どもの時からの教育が必要」との意見がありました。

問 8	今後、家庭で男女がともに役割を分担しながら生活していくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		14	3.5%
1	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす		132	33.3%
2	男性が家事などに参加することに対する女性自身の抵抗感をなくす		38	9.6%
3	夫婦や家族の間に会話など、コミュニケーションをよくはかる		265	66.9%
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重する		67	16.9%
5	労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間を多く持てるようにする		112	28.3%
6	男女とも家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う		78	19.7%
7	研修等により、男女とも家事や子育て、介護等の技能を高める		34	8.6%
8	仕事との両立などの問題について、男女が相談しやすい窓口を設ける		38	9.6%
9	男女の役割意識について社会通念、慣習、しきたり等の考え方を改める		126	31.8%
10	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間作りをすすめる		45	11.4%
11	その他		7	1.8%
計		396	956	241.4%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



【性別，性・年齢別】

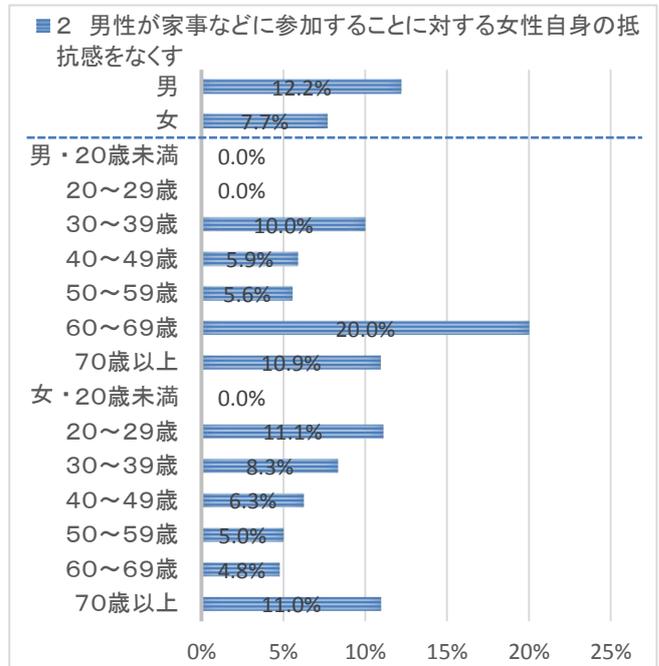
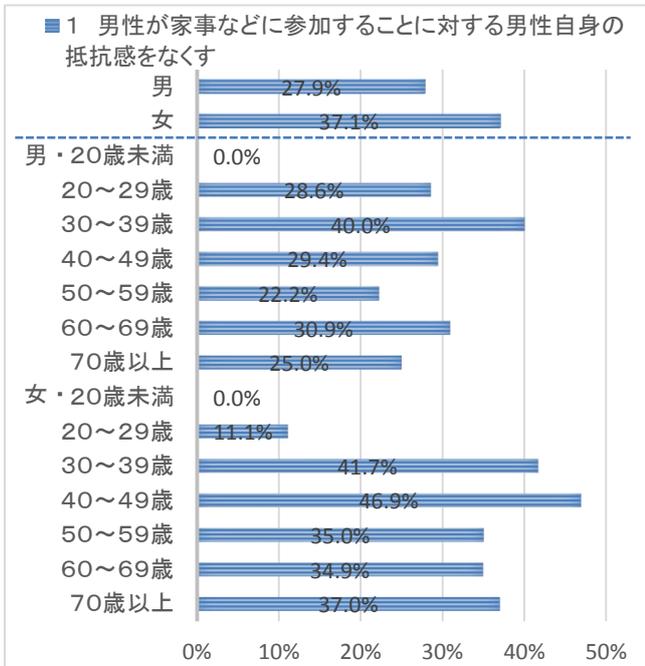
男 (n=172), 女 (n=221)

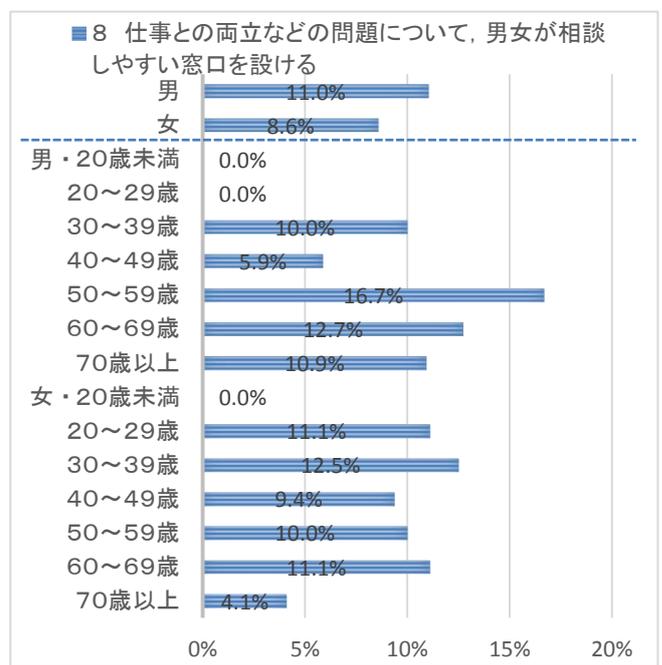
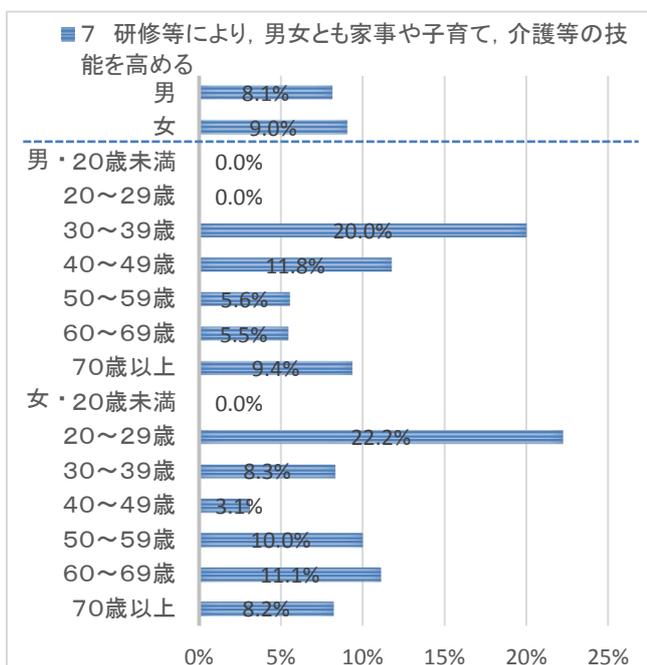
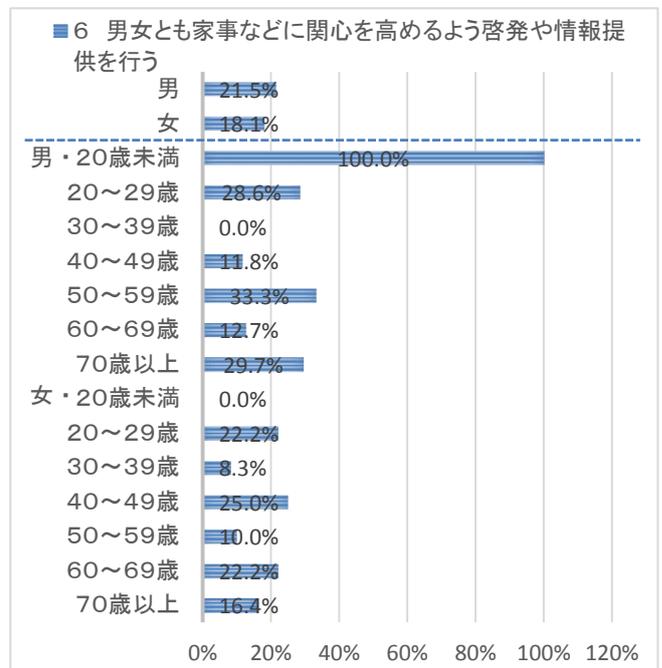
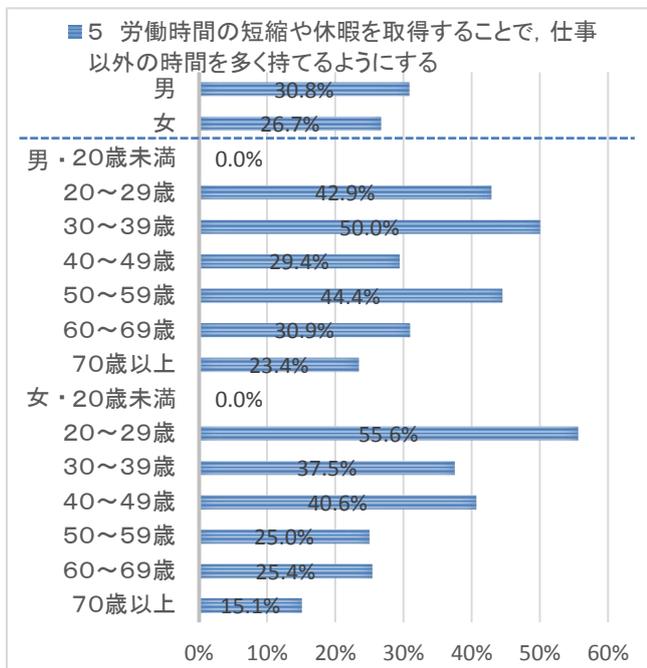
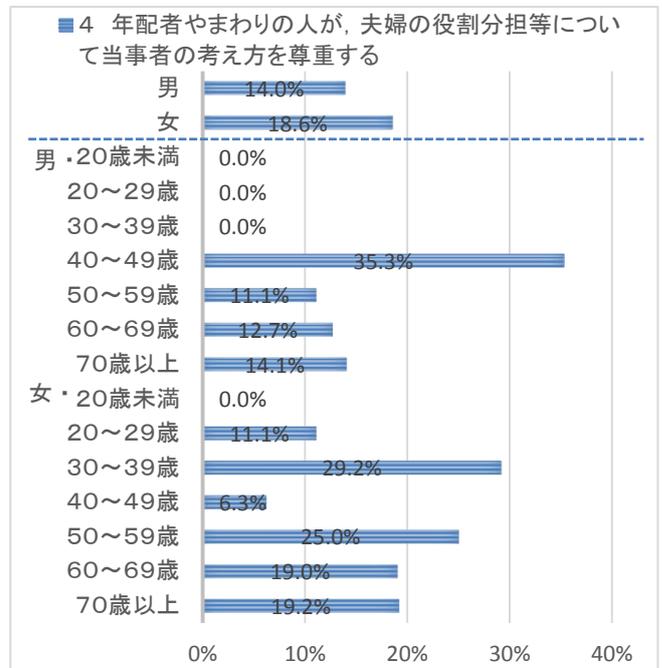
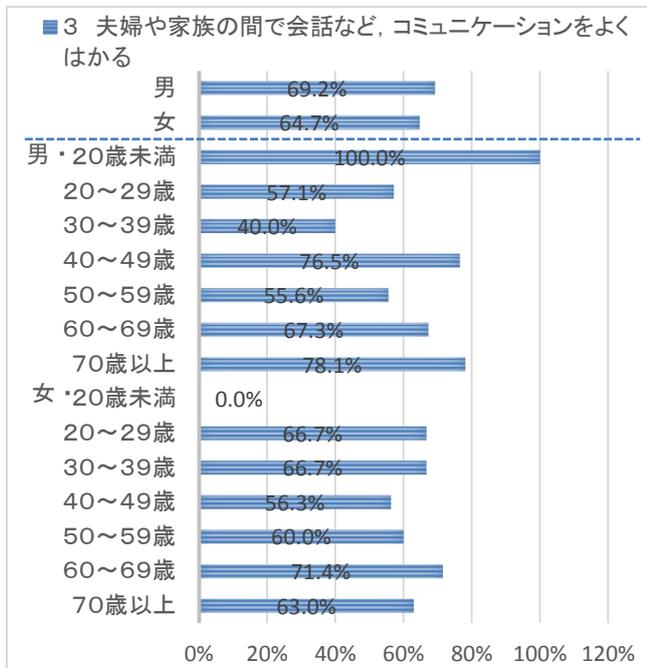
男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)

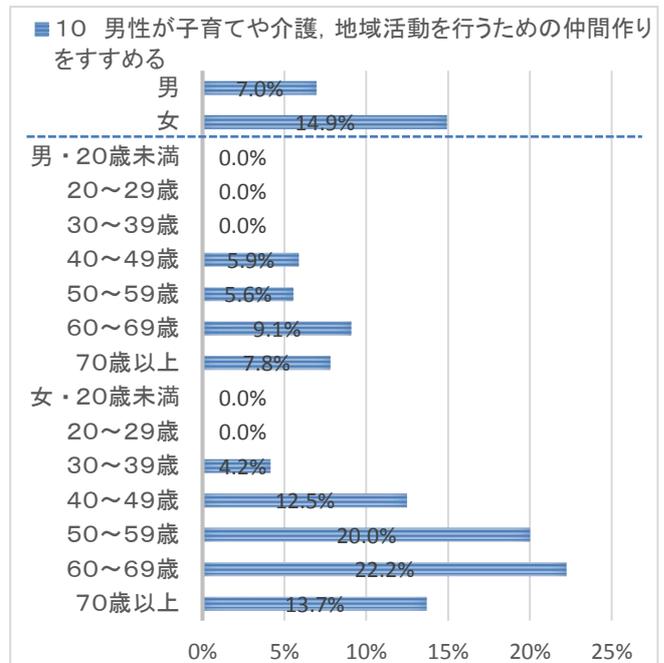
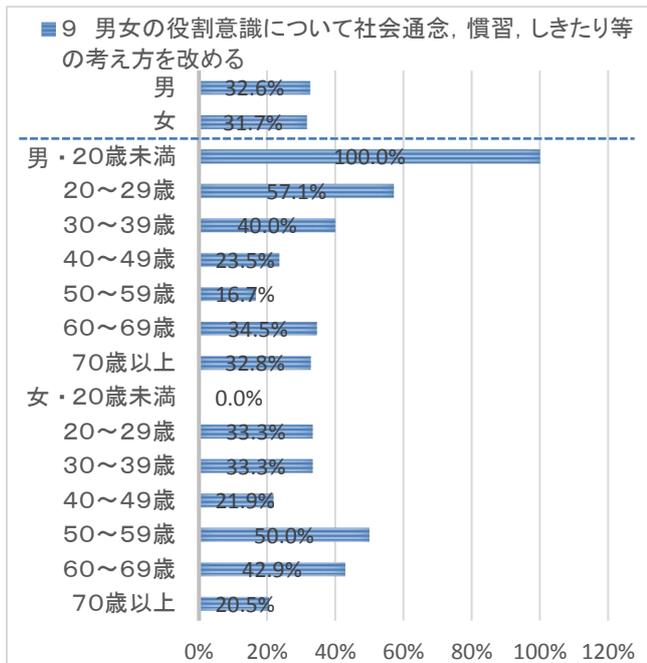
50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)

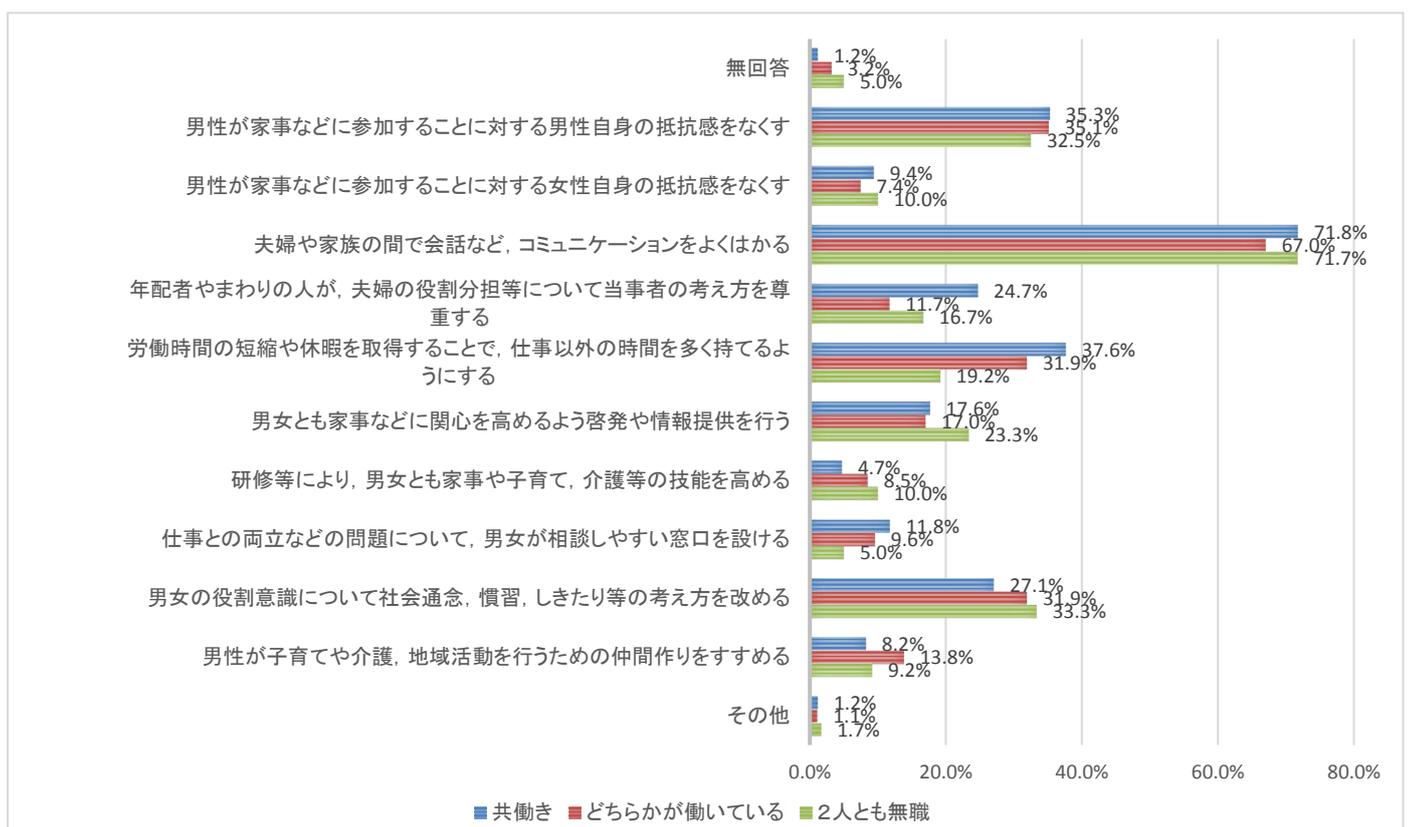
50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



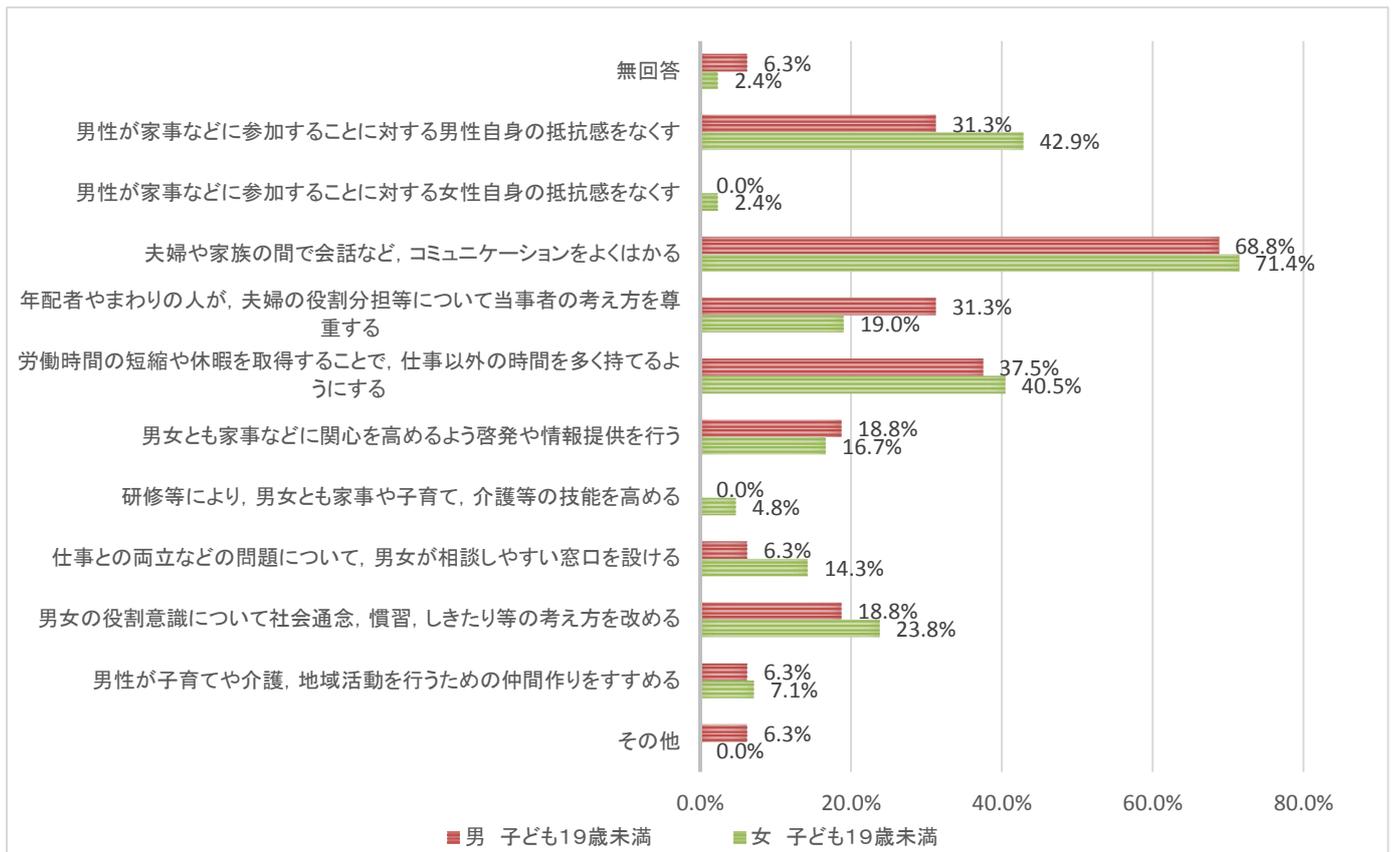




【仕事の状況別】 共働き (n=85), どちらかが働いている (n=94), 2人とも無職 (n=120)



【19歳未満の子どもがいる方】男：子ども19歳未満(n=16)，女：子ども19歳未満(n=42)



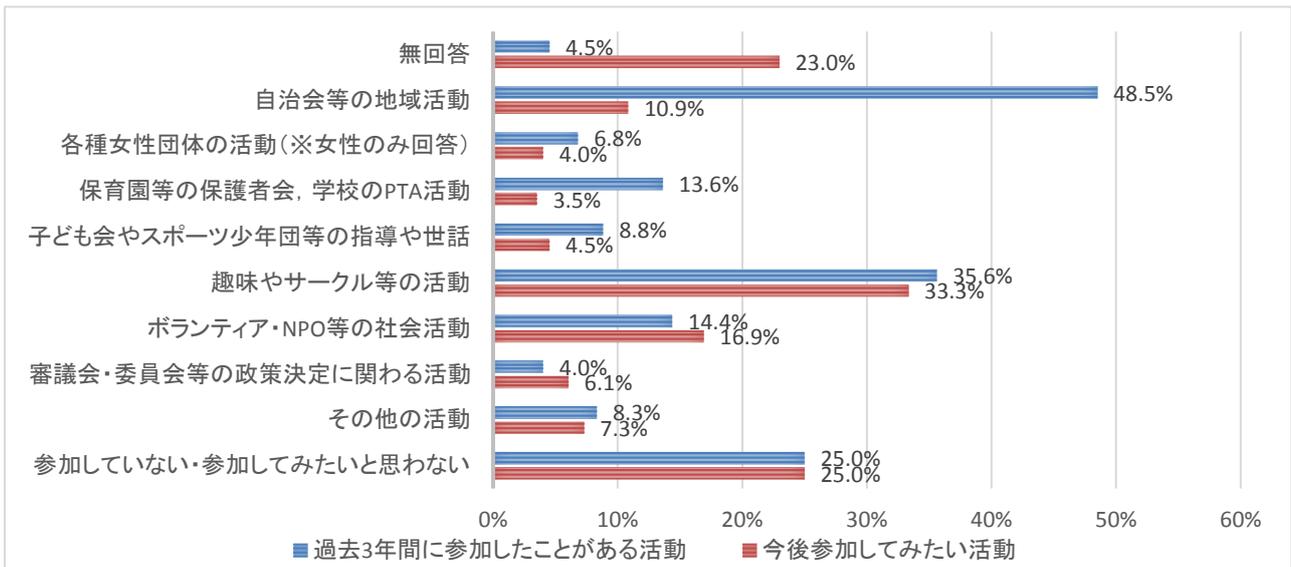
3. 地域社会について

問9 あなたは、過去3年間に次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

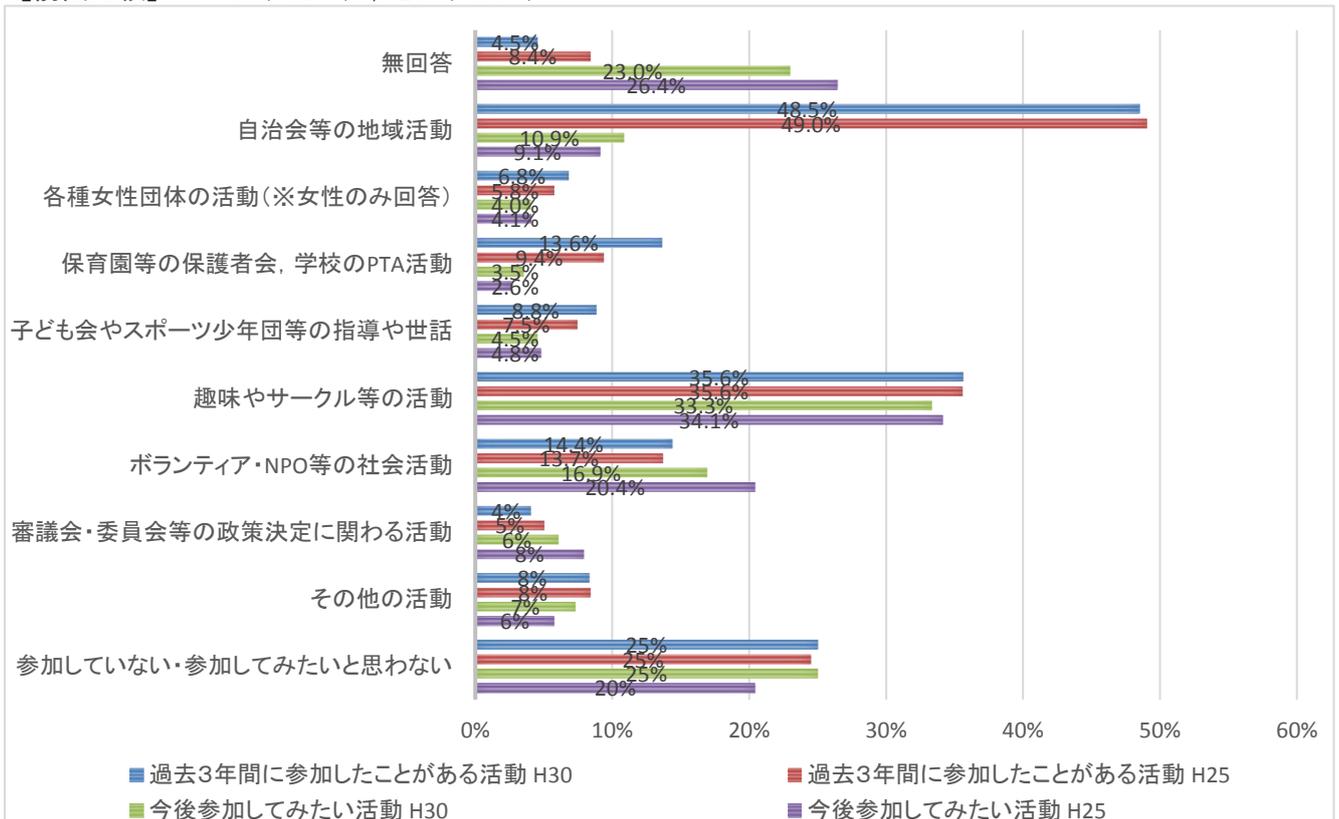
過去3年間に参加したことがある活動は、「自治会等の地域活動」が48.5%と最も多く、次いで「趣味やサークル等の活動」が35.6%となっています。今後参加してみたい活動は、「趣味やサークル等の活動」が33.3%と最も多く、次いで「参加していない・参加してみたいと思わない」が25%となっています。

<回答数>	無回答	自治会等の地域活動	各種女性団体の活動(※女性のみの回答)	保育園等の保護者会、学校のPTA活動	子ども会やスポーツ少年団等の指導や世話	趣味やサークル等の活動	ボランティア・NPO等の社会活動	審議会・委員会等の政策決定に関わる活動	その他の活動	参加していない・参加してみたいと思わない	計	回答者数
過去3年間に参加したことがある活動	18	192	27	54	35	141	57	16	33	99	672	396
今後参加してみたい活動	91	43	16	14	18	132	67	24	29	99	533	396

<構成比>	無回答	自治会等の地域活動	各種女性団体の活動（※女性のみ回答）	保育園等の保護者会、学校のPTA活動	子ども会やスポーツ少年団等の指導や世話	趣味やサークル等の活動	ボランティア・NPO等の社会活動	審議会・委員会等の政策決定に関わる活動	その他の活動	参加していない・参加してみたいと思わない
過去3年間に参加したことがある活動	4.5%	48.5%	6.8%	13.6%	8.8%	35.6%	14.4%	4.0%	8.3%	25.0%
今後参加してみたい活動	23.0%	10.9%	4.0%	3.5%	4.5%	33.3%	16.9%	6.1%	7.3%	25.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



【性別、性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)

男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

過去3年間に参加したことがある活動

		自治会等の 地域活動	各種女性団 体の活動	保護者会、 PTA活動	子ども会等 の指導や世 話	趣味やサー クル等の活 動	ボランティ ア等の社会 活動	政策決定に 関わる活動	その他の活 動	参加してい ない
男		48.8%	0.0%	6.4%	7.6%	30.2%	15.7%	3.5%	8.7%	30.8%
女		48.0%	12.2%	19.5%	10.0%	39.8%	13.6%	4.5%	8.1%	20.8%
男	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20~29歳	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
	30~39歳	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.0%
	40~49歳	52.9%	0.0%	41.2%	23.5%	23.5%	17.6%	0.0%	5.9%	11.8%
	50~59歳	61.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%	11.1%	27.8%
	60~69歳	45.5%	0.0%	5.5%	3.6%	23.6%	10.9%	3.6%	5.5%	29.1%
	70歳以上	56.3%	0.0%	1.6%	7.8%	46.9%	26.6%	4.7%	14.1%	25.0%
女	20~29歳	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	44.4%
	30~39歳	50.0%	8.3%	62.5%	37.5%	29.2%	8.3%	8.3%	4.2%	16.7%
	40~49歳	37.5%	3.1%	62.5%	28.1%	25.0%	18.8%	3.1%	12.5%	12.5%
	50~59歳	40.0%	10.0%	10.0%	5.0%	30.0%	5.0%	5.0%	10.0%	40.0%
	60~69歳	61.9%	14.3%	6.3%	3.2%	50.8%	11.1%	0.0%	9.5%	14.3%
	70歳以上	45.2%	16.4%	2.7%	1.4%	45.2%	16.4%	8.2%	5.5%	23.3%

今後参加してみたい活動

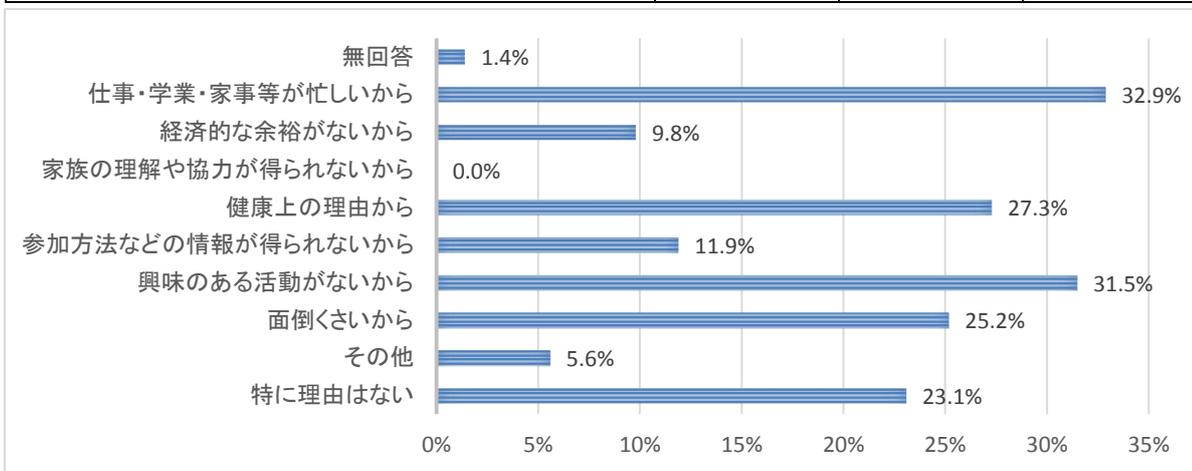
		自治会等の 地域活動	各種女性団 体の活動	保護者会、 PTA活動	子ども会等 の指導や世 話	趣味やサー クル等の活 動	ボランティ ア等の社会 活動	政策決定に 関わる活動	その他の活 動	参加してみ たいと思わ ない
男		14.5%	0.6%	1.2%	4.1%	34.9%	19.2%	9.3%	8.7%	25.0%
女		8.1%	6.8%	5.4%	5.0%	32.1%	15.4%	3.6%	6.3%	24.9%
男	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20~29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	71.4%
	30~39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	60.0%
	40~49歳	23.5%	5.9%	5.9%	11.8%	52.9%	23.5%	17.6%	5.9%	5.9%
	50~59歳	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	44.4%	27.8%	11.1%	11.1%	22.2%
	60~69歳	16.4%	0.0%	0.0%	5.5%	41.8%	23.6%	5.5%	7.3%	21.8%
	70歳以上	15.6%	0.0%	0.0%	3.1%	26.6%	14.1%	10.9%	12.5%	21.9%
女	20~29歳	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%
	30~39歳	12.5%	4.2%	12.5%	20.8%	20.8%	20.8%	4.2%	4.2%	33.3%
	40~49歳	3.1%	0.0%	12.5%	3.1%	21.9%	25.0%	3.1%	9.4%	15.6%
	50~59歳	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	5.0%	20.0%	30.0%
	60~69歳	15.9%	15.9%	3.2%	3.2%	47.6%	17.5%	4.8%	7.9%	19.0%
	70歳以上	4.1%	4.1%	1.4%	2.7%	27.4%	6.8%	2.7%	1.4%	27.4%

【 問9のどちらかで「9 参加していない・参加してみたいと思わない」と回答された方に伺います。】

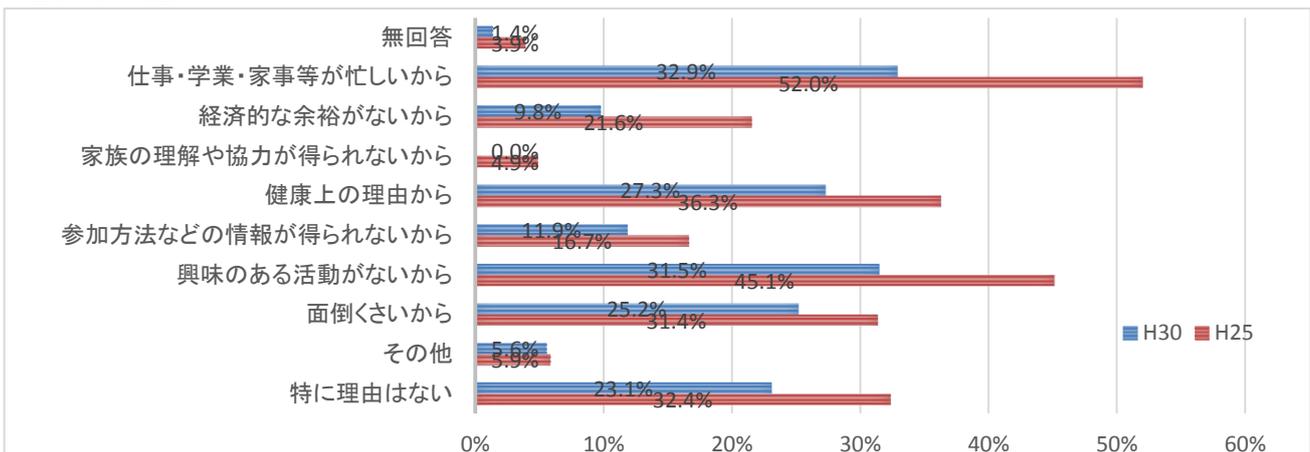
問10 活動に参加していない・参加してみたいと思わない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

活動に参加していない主な理由は、「仕事・学業・家事等が忙しいから」が32.9%と最も多く、次いで「興味のある活動がないから」が31.5%となっています。

問	活動に参加していない・参加してみたいと思わない主な理由は何ですか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		2	1.4%
1	仕事・学業・家事等が忙しいから		47	32.9%
2	経済的な余裕がないから		14	9.8%
3	家族の理解や協力が得られないから		0	0.0%
4	健康上の理由から		39	27.3%
5	参加方法などの情報が得られないから		17	11.9%
6	興味のある活動がないから		45	31.5%
7	面倒くさいから		36	25.2%
8	その他		8	5.6%
9	特に理由はない		33	23.1%
	計	143	241	168.5%



【前回比較】 H30 (n=143) , H25 (n=102)



【性別，性・年齢別】

男(n=66)，女(n=76)

男：20歳未満(n=1)，20～29歳(n=6)，30～39歳(n=8)，40～49歳(n=2)，
50～59歳(n=7)，60～69歳(n=21)，70歳以上(n=21)

女：20歳未満(n=0)，20～29歳(n=5)，30～39歳(n=9)，40～49歳(n=9)，
50～59歳(n=11)，60～69歳(n=18)，70歳以上(n=24)

	仕事・学業・家事等 が忙しいから	経済的な余裕 がないから	家族の理解や 協力が得られないから	健康上の理由 から	参加方法などの情報 が得られないから	興味のある活動がない から	面倒くさいから	その他	特に理由はない
男	33.3%	6.1%	0.0%	25.8%	9.1%	34.8%	27.3%	3.0%	21.2%
女	32.9%	13.2%	0.0%	28.9%	13.2%	28.9%	23.7%	7.9%	25.0%
男	20歳未満	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	83.3%
	30～39歳	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%
	40～49歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	50～59歳	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%
	60～69歳	23.8%	4.8%	0.0%	38.1%	4.8%	33.3%	23.8%	9.5%
	70歳以上	19.0%	4.8%	0.0%	38.1%	14.3%	42.9%	38.1%	14.3%
女	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	60.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	30～39歳	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	44.4%	11.1%
	40～49歳	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%
	50～59歳	36.4%	18.2%	0.0%	9.1%	18.2%	63.6%	18.2%	18.2%
	60～69歳	22.2%	0.0%	0.0%	38.9%	27.8%	27.8%	11.1%	33.3%
	70歳以上	16.7%	8.3%	0.0%	45.8%	4.2%	4.2%	25.0%	41.7%

問 1 1 あなたは、自治会やPTAなどの地域活動において、女性が会長やリーダーまたは役員になることについて、どれが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

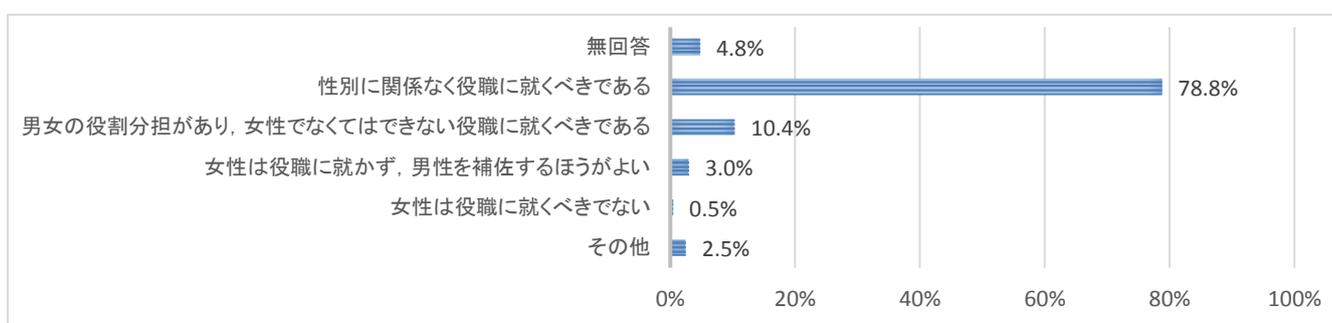
女性が会長やリーダーまたは役員になることについては、「性別に関係なく役職に就くべきである」が78.8%と最も多く、次いで「男女の役割分担があり、女性でなくてはできない役職に就くべきである」が10.4%となっています。

前回調査との比較では、「性別に関係なく役職に就くべきである」が9.8%増加しています。

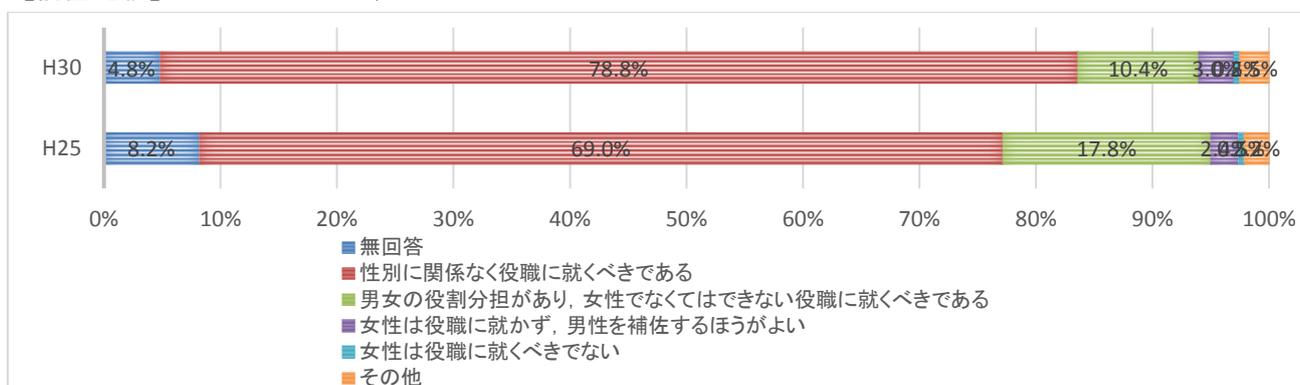
性別で比較すると、「性別に関係なく役職に就くべきである」とする割合は、男性より女性の方が少なくなっています。

また、その他として「性別に関係なく能力・性格等個人の資質による」「やりたい人がやればよい」等の意見がありました。

問 1 1	あなたは、自治会やPTAなどの地域活動において、女性が会長やリーダーまたは役員になることについて、どれが望ましいと思いますか。	回答者数	構成比
0	無回答	19	4.8%
1	性別に関係なく役職に就くべきである	312	78.8%
2	男女の役割分担があり、女性でなくてはできない役職に就くべきである	41	10.4%
3	女性は役職に就かず、男性を補佐するほうがよい	12	3.0%
4	女性は役職に就くべきでない	2	0.5%
5	その他	10	2.5%
計		396	100.0%

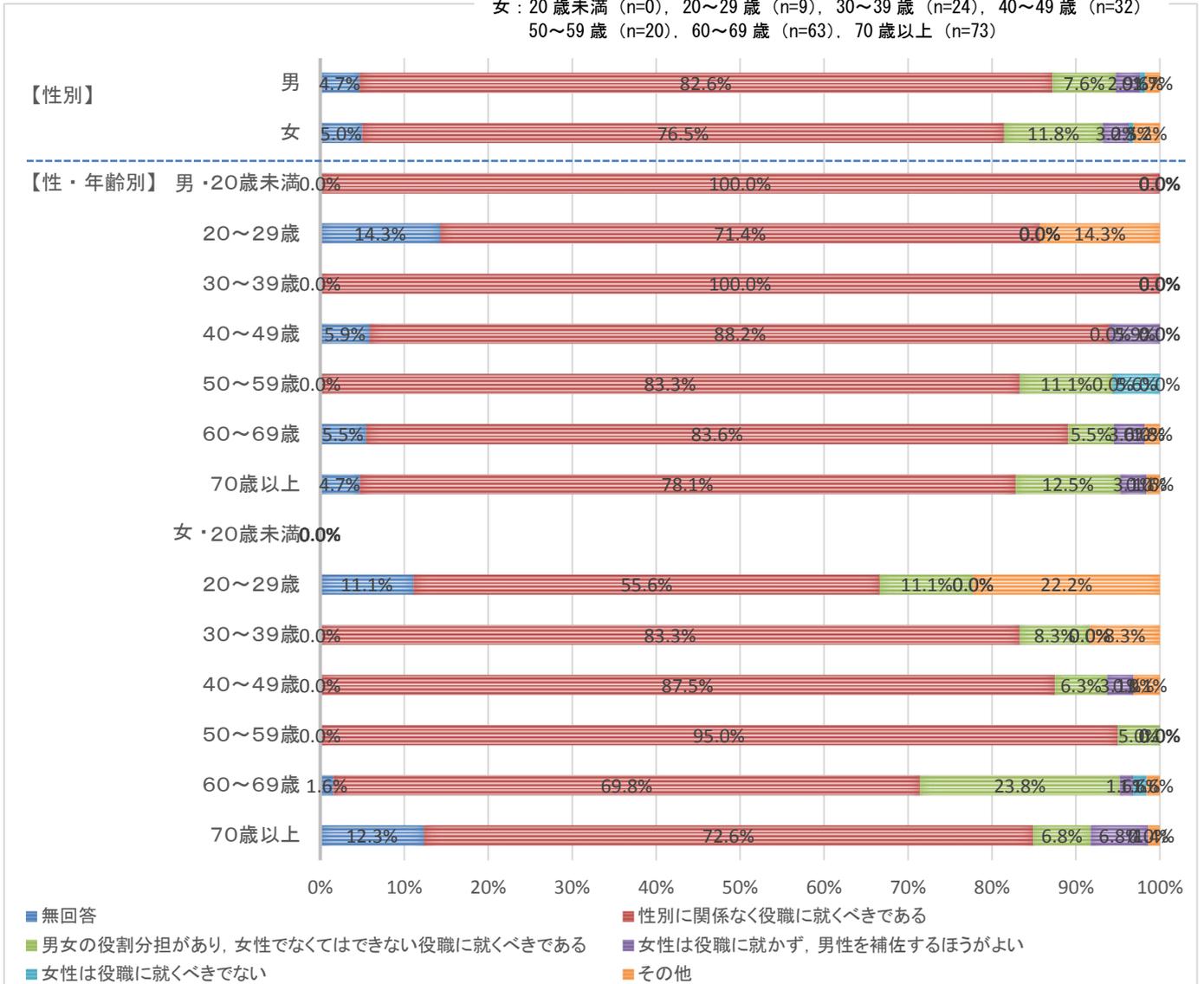


【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)
 男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



4. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問12 あなたの「仕事」、家事・育児・介護などの「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の現在の状況は、次のうちどれにあたりますか。（○は1つ）

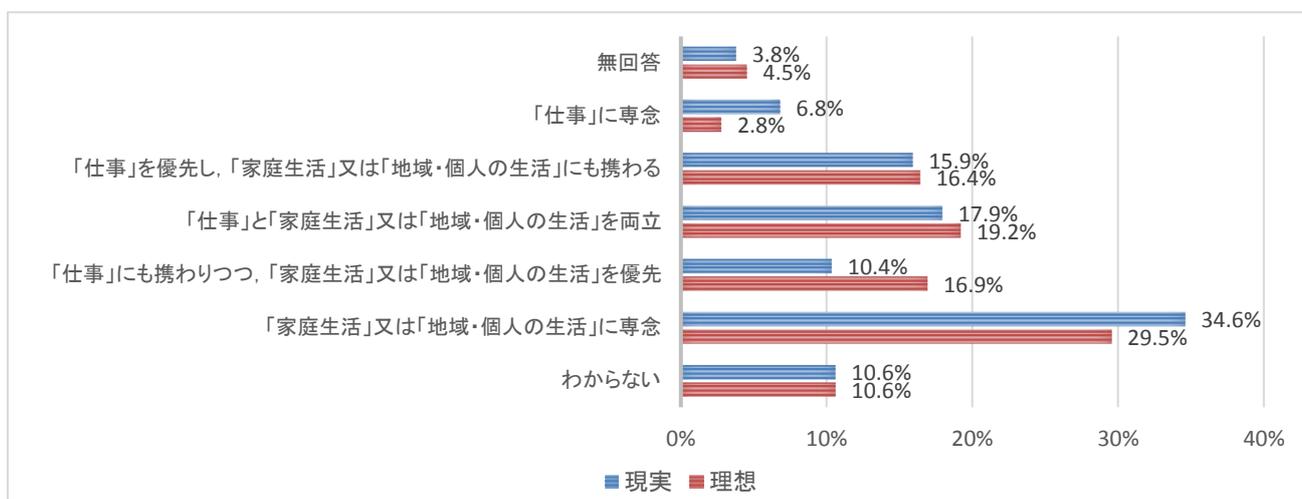
問13 あなたは、「仕事」、家事・育児・介護などの「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」について、本来どうしたいと思っていますか。（○は1つ）

仕事、家庭生活、地域・個人の生活の現在の状況及び本来どうしたいかは、ともに「「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念」がそれぞれ34.6%、29.5%と最も多く、次いで「「仕事」と「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を両立」がそれぞれ17.9%、19.2%となっています。性・年齢別で比較すると、現在の状況は、60歳未満の男性では、仕事に専念又は優先している方が多く、60歳未満の女性では仕事と家庭生活を両立又は家庭生活を優先している方が多くなっています。本来どうしたいかでは、60歳未満の男性では、現在の状況と比較して、仕事と家庭生活を両立したいとする人が多くなっています。60歳未満の女性では、現在の状況と比較して、家庭

生活を優先したいとする人が多くなっています。また、40歳未満の女性で、家庭生活に専念していると回答した人の割合は、現在の状況より本来どうしたいかでは少なくなり、現在家庭生活に専念している人も仕事にも携わりたいと考えていることが分かります。

<回答者数>	無回答	「仕事」に専念	「仕事」を優先し、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わる	「仕事」と「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を両立	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念	わからない	計
現実	15	27	63	71	41	137	42	396
理想	18	11	65	76	67	117	42	396

<構成比>	無回答	「仕事」に専念	「仕事」を優先し、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わる	「仕事」と「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を両立	「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先	「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念	わからない	計
現実	3.8%	6.8%	15.9%	17.9%	10.4%	34.6%	10.6%	100.0%
理想	4.5%	2.8%	16.4%	19.2%	16.9%	29.5%	10.6%	100.0%



【性別，性・年齢別】

男 (n=172)，女 (n=221)

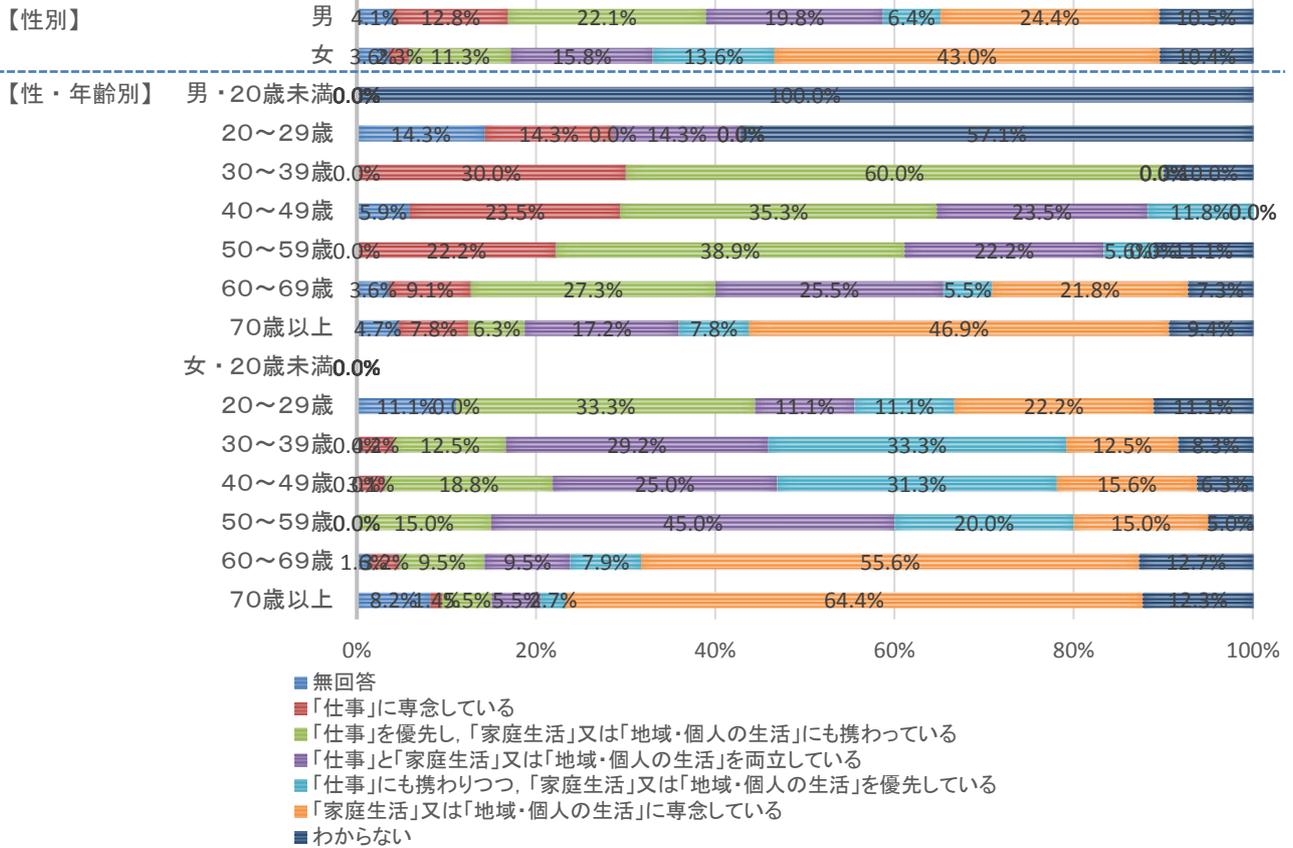
男：20歳未満 (n=1)，20～29歳 (n=7)，30～39歳 (n=10)，40～49歳 (n=17)

50～59歳 (n=18)，60～69歳 (n=55)，70歳以上 (n=64)

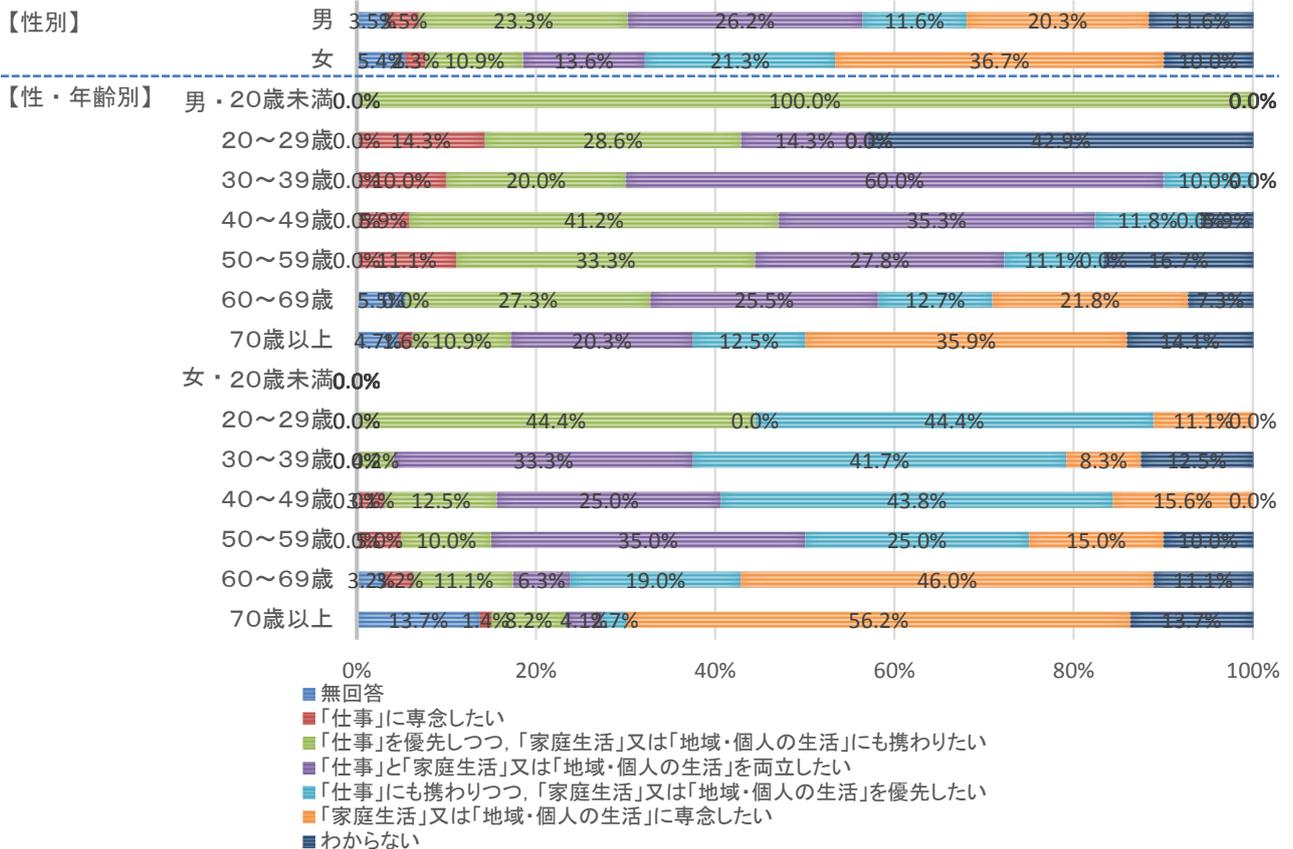
女：20歳未満 (n=0)，20～29歳 (n=9)，30～39歳 (n=24)，40～49歳 (n=32)

50～59歳 (n=20)，60～69歳 (n=63)，70歳以上 (n=73)

ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

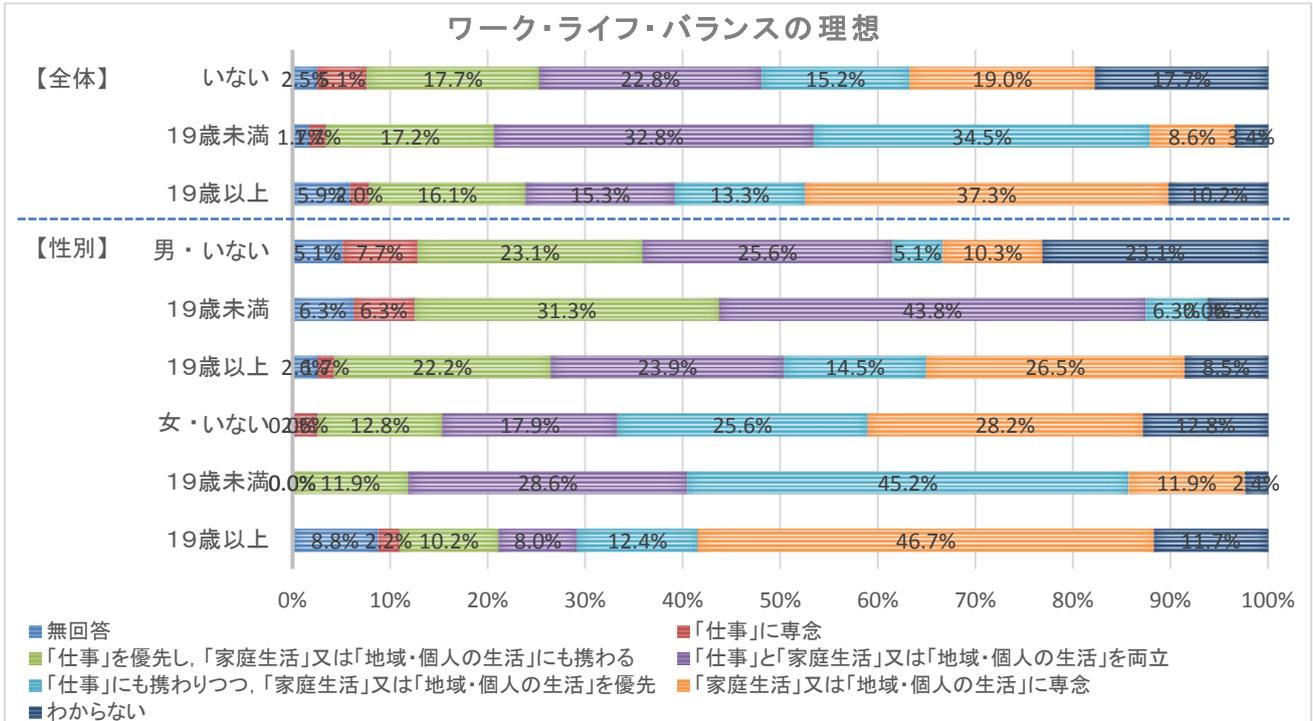
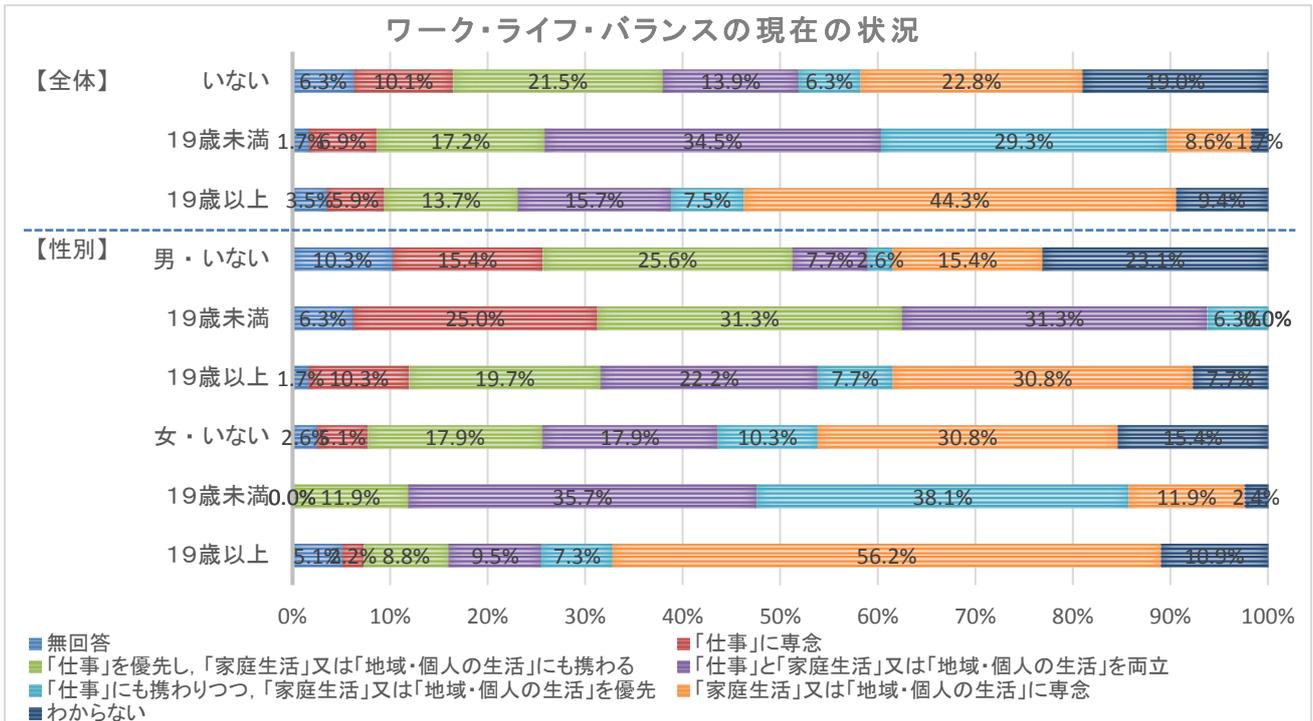


ワーク・ライフ・バランスの理想



【子どもの有無別】

いない(n=79), 19歳未満(n=58), 19歳以上(n=255)
 男: いない(n=39), 19歳未満(n=16), 19歳以上(n=117)
 女: いない(n=39), 19歳未満(n=42), 19歳以上(n=137)



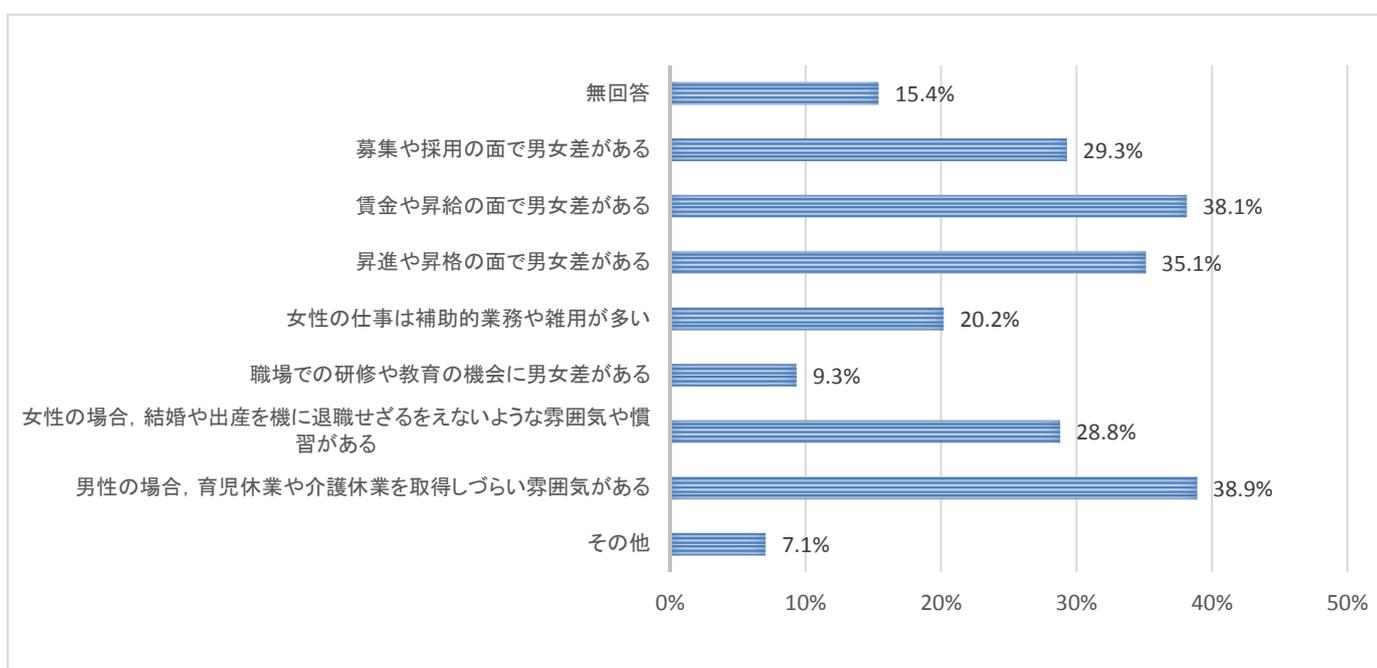
5. 仕事について

問14 あなたは、職場における男女の地位にどのような差があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

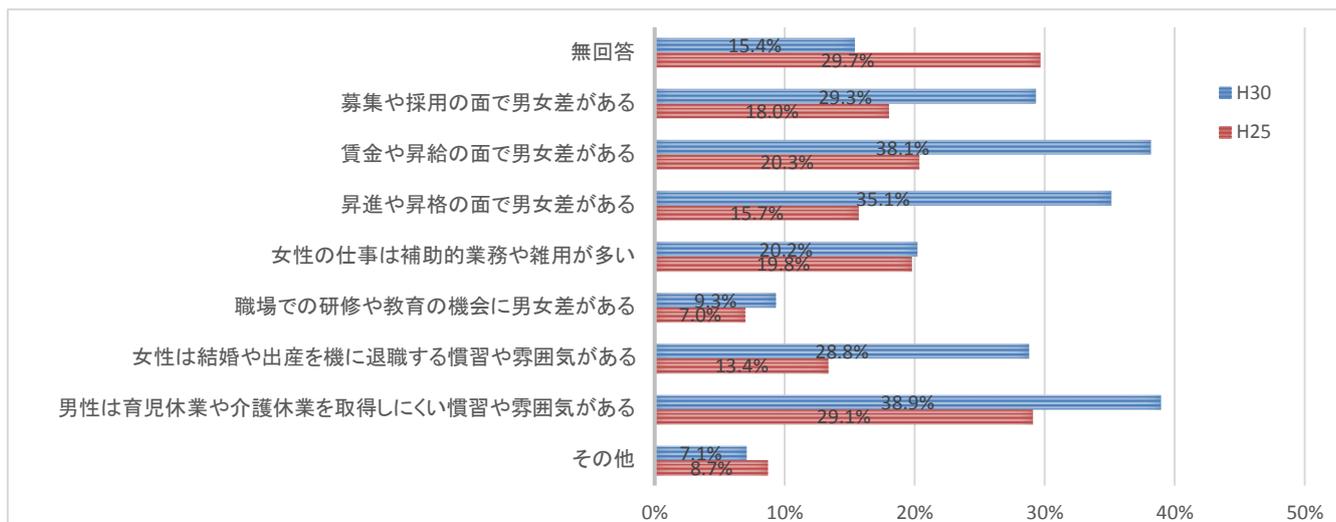
職場における男女の地位の差は、「男性の場合、育児休業や介護休業を取得しづらい雰囲気がある」が38.9%と最も多く、次いで「賃金や昇給の面で男女差がある」が38.1%、「昇進や昇格の面で男女差がある」が35.1%となっています。

性別で比較すると、「女性の場合、結婚や出産を機に退職せざるをえないような雰囲気や慣習がある」の設問は、男性が23.3%に対し、女性が32.6%と女性の方が9.3%多くなっています。

問 14	あなたは、職場における男女の地位にどのような差があると思いますか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		61	15.4%
1	募集や採用の面で男女差がある		116	29.3%
2	賃金や昇給の面で男女差がある		151	38.1%
3	昇進や昇格の面で男女差がある		139	35.1%
4	女性の仕事は補助的業務や雑用が多い		80	20.2%
5	職場での研修や教育の機会に男女差がある		37	9.3%
6	女性の場合、結婚や出産を機に退職せざるをえないような雰囲気や慣習がある		114	28.8%
7	男性の場合、育児休業や介護休業を取得しづらい雰囲気がある		154	38.9%
8	その他		28	7.1%
	計	396	880	222.2%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=172)



【性別、性・年齢別】

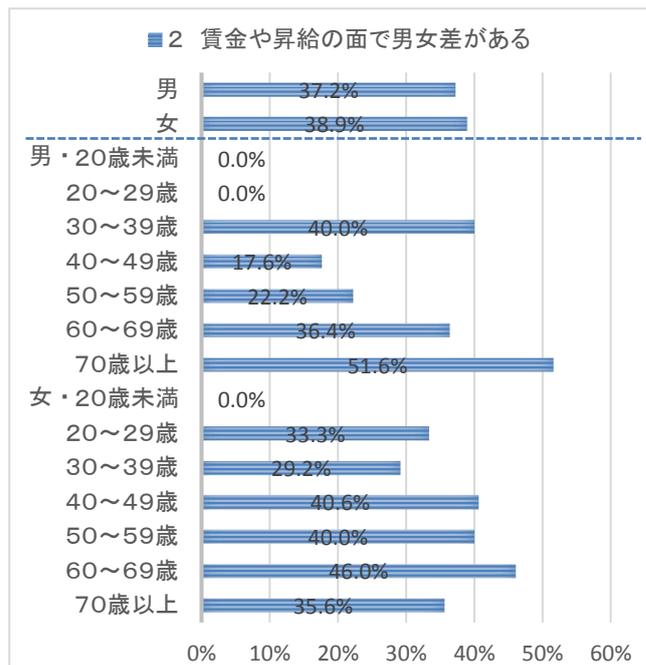
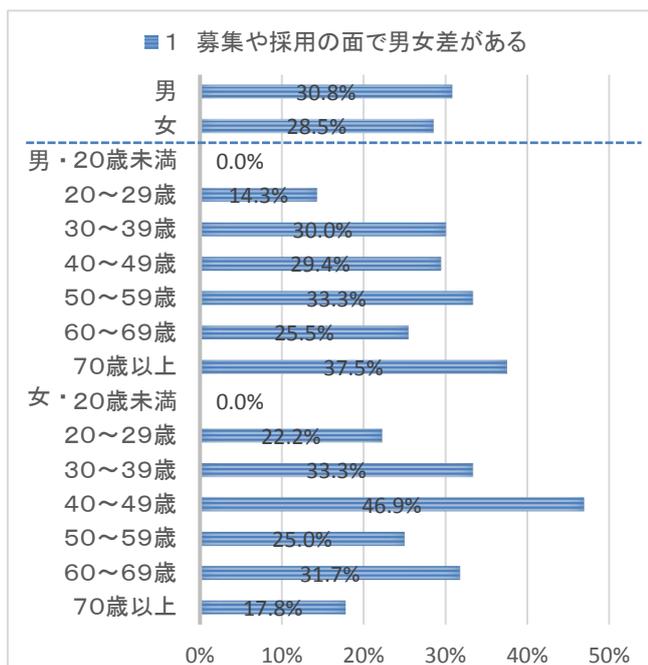
男 (n=172), 女 (n=221)

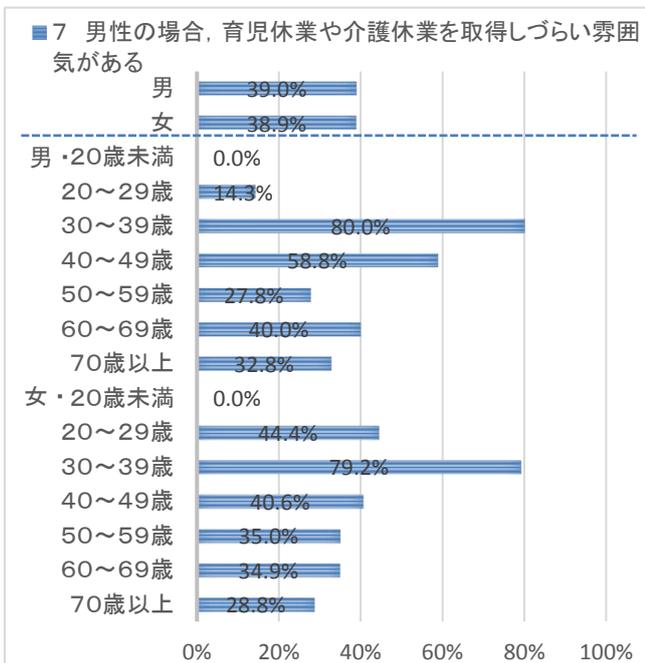
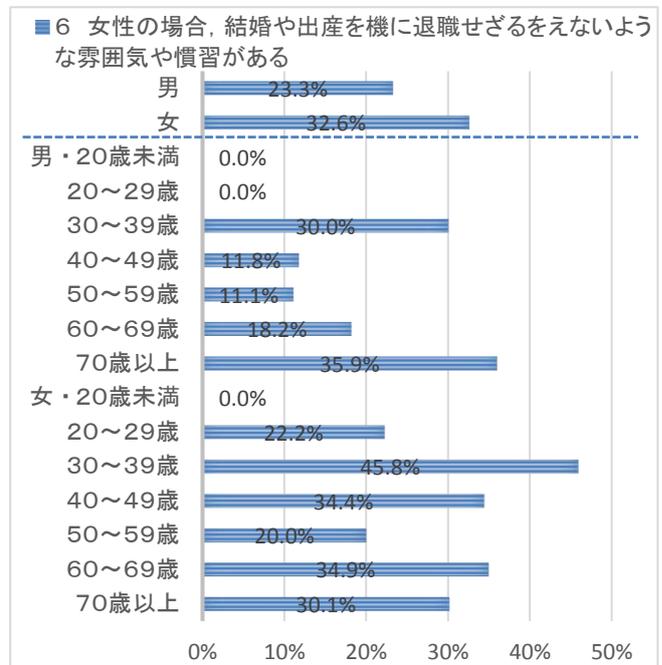
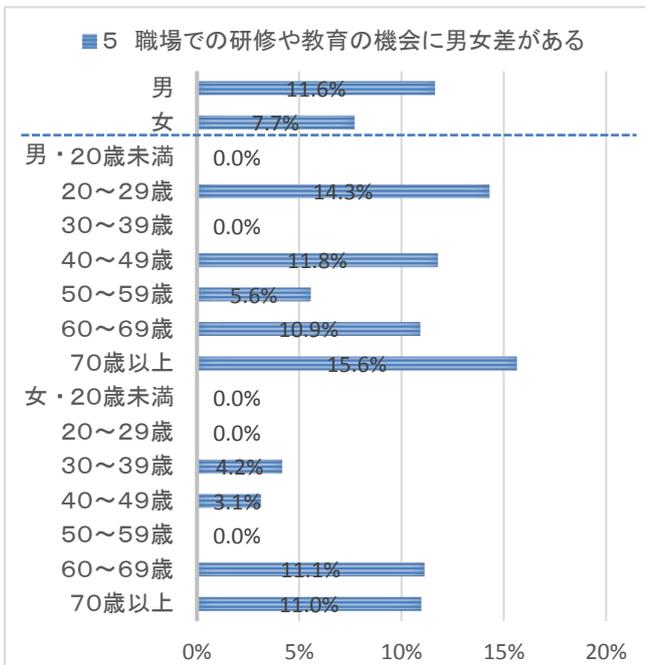
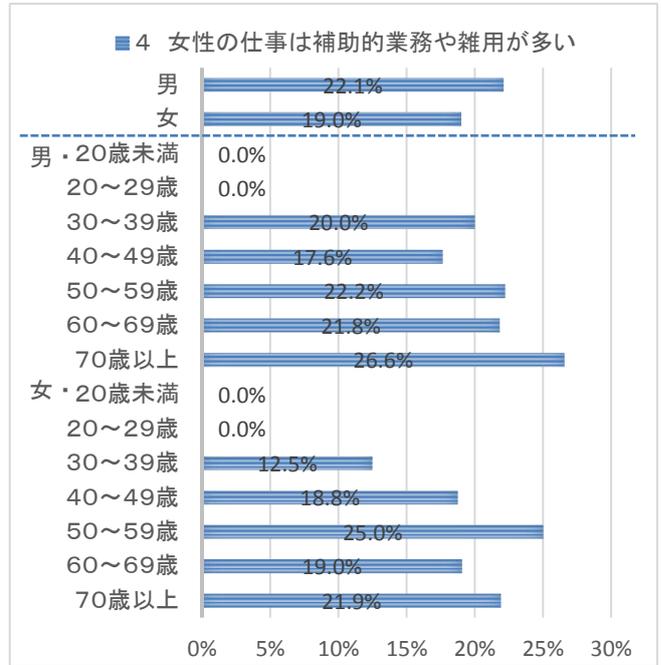
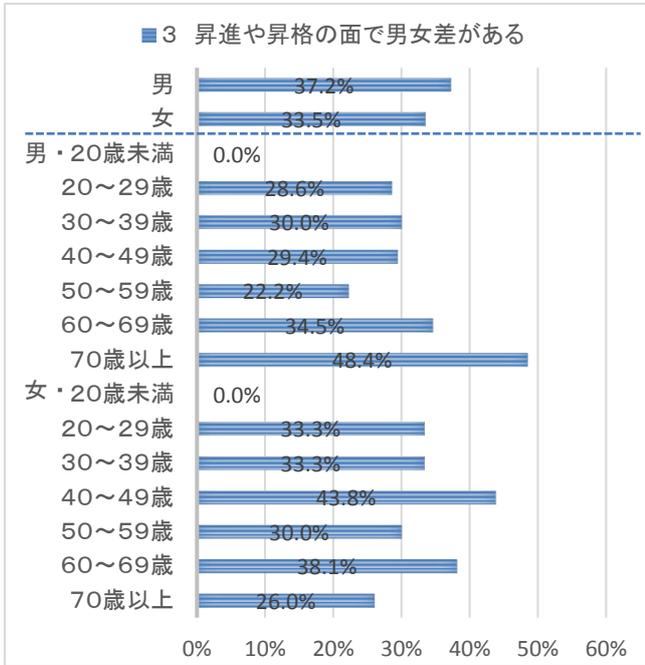
男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)

50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)

50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

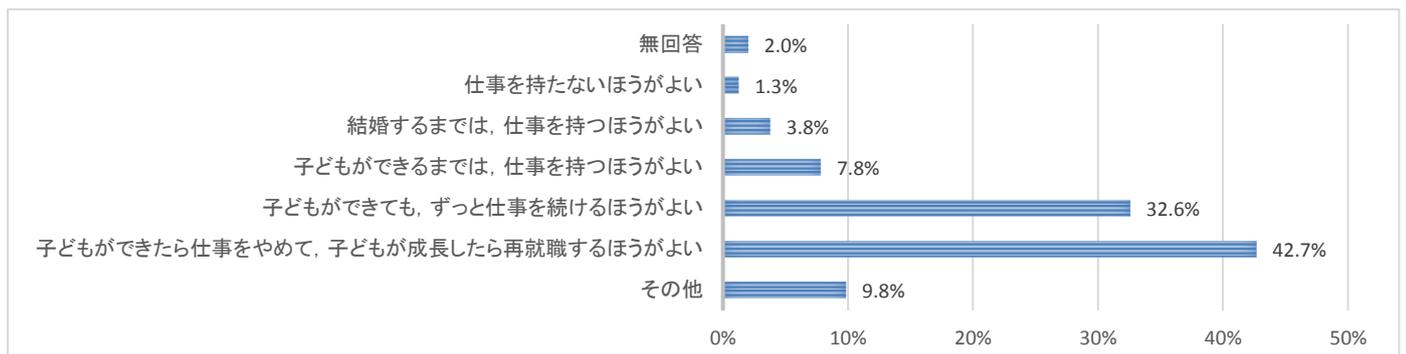




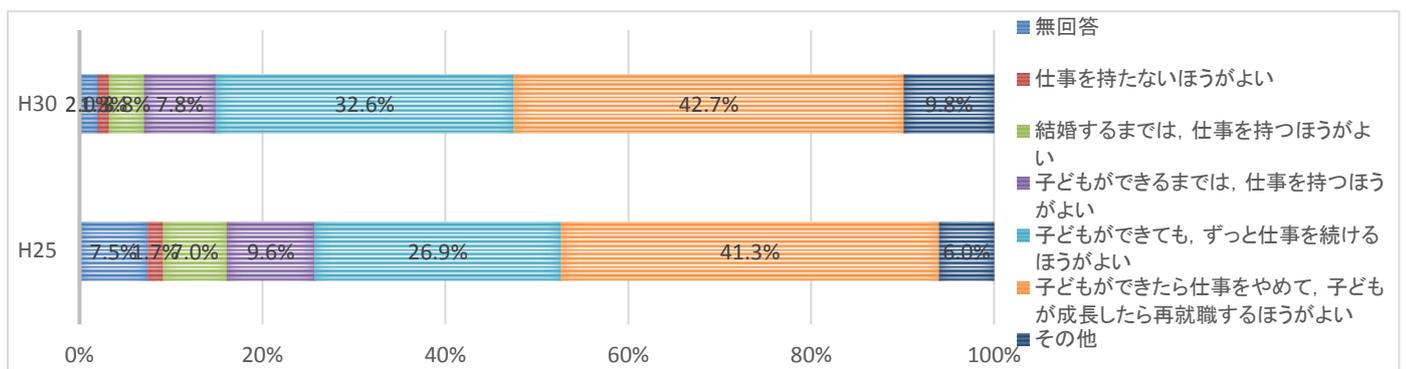
問15 あなたは、一般的に結婚し子供を持つ女性の生き方について、どれが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

結婚し子供を持つ女性の生き方は、「子どもができたら仕事をやめて、子どもが成長したら再就職するほうがよい」が42.7%と最も多く、次いで「子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい」が32.6%となっています。

問15	あなたは、一般的に結婚し子供を持つ女性の生き方について、どれが望ましいと思いますか。	回答者数	構成比
0	無回答	8	2.0%
1	仕事を持たないほうがよい	5	1.3%
2	結婚するまでは、仕事を持つほうがよい	15	3.8%
3	子どもができるまでは、仕事を持つほうがよい	31	7.8%
4	子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい	129	32.6%
5	子どもができたら仕事をやめて、子どもが成長したら再就職するほうがよい	169	42.7%
6	その他	39	9.8%
計		396	100.0%



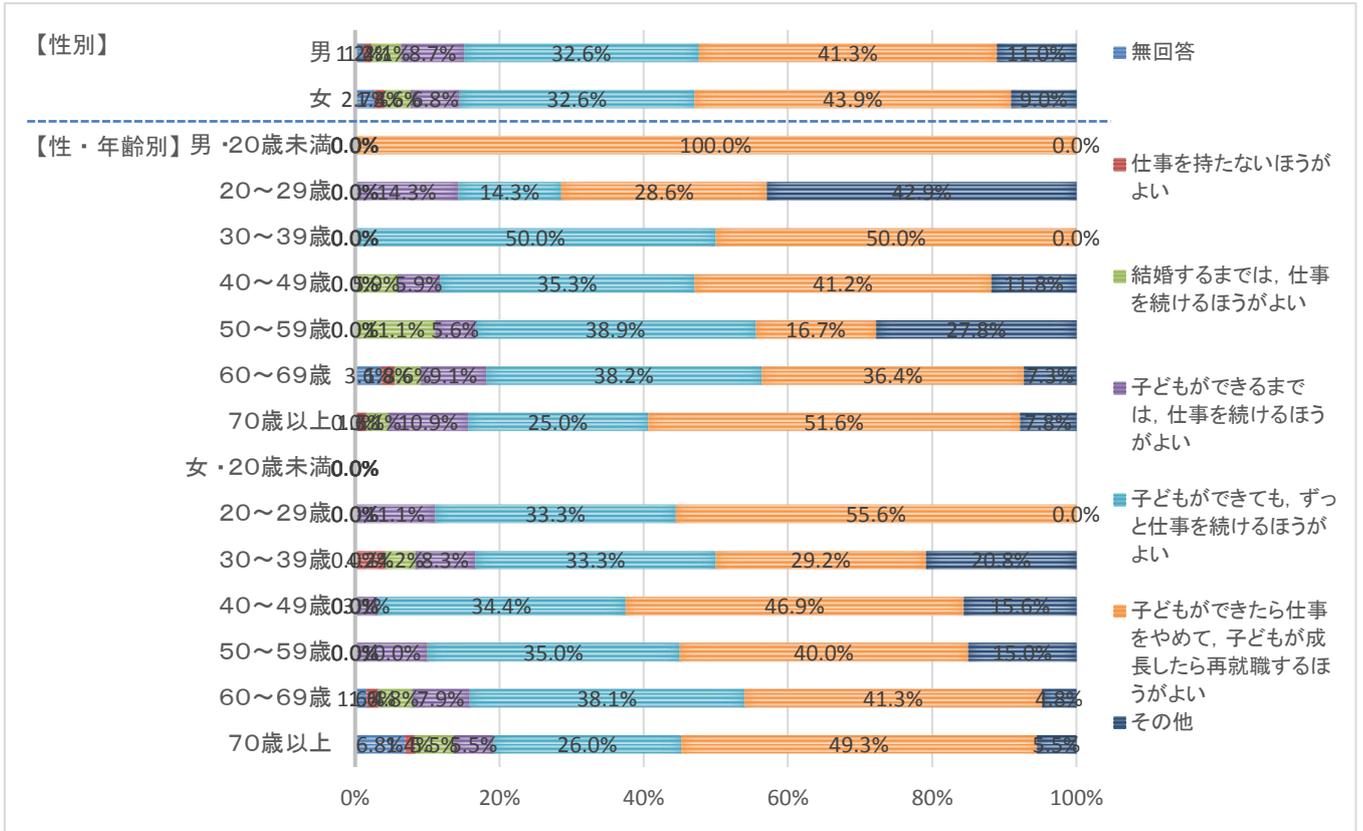
【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



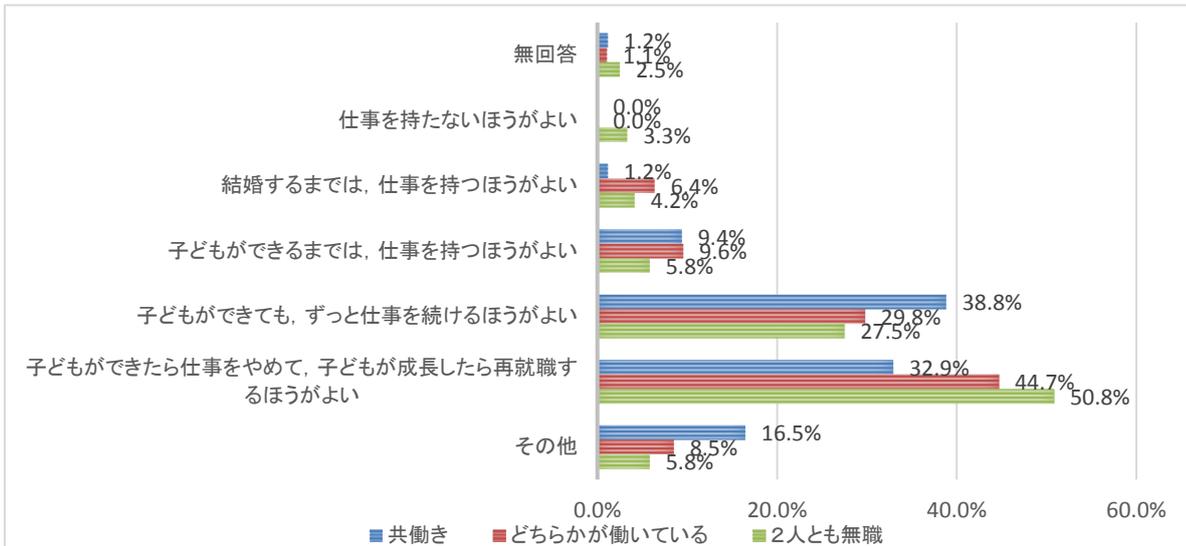
【性別，性・年齢別】

男 (n=172)，女 (n=221)

男：20歳未満 (n=1)，20～29歳 (n=7)，30～39歳 (n=10)，40～49歳 (n=17)
 50～59歳 (n=18)，60～69歳 (n=55)，70歳以上 (n=64)
 女：20歳未満 (n=0)，20～29歳 (n=9)，30～39歳 (n=24)，40～49歳 (n=32)
 50～59歳 (n=20)，60～69歳 (n=63)，70歳以上 (n=73)

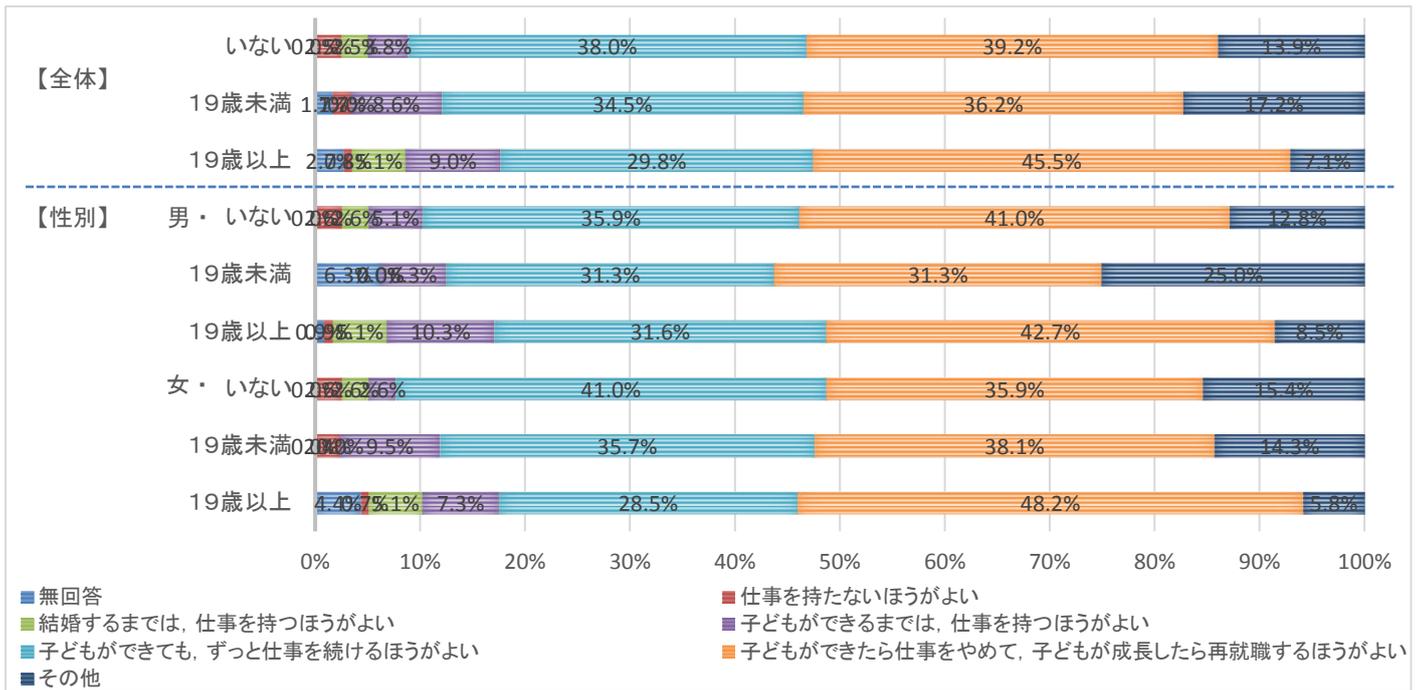


【仕事の状況別】 共働き (n=85)，どちらかが働いている (n=94)，2人とも無職 (n=120)



いない(n=79), 19歳未満(n=58), 19歳以上(n=255)
 男: いない(n=39), 19歳未満(n=16), 19歳以上(n=117)
 女: いない(n=39), 19歳未満(n=42), 19歳以上(n=137)

【子どもの有無別】

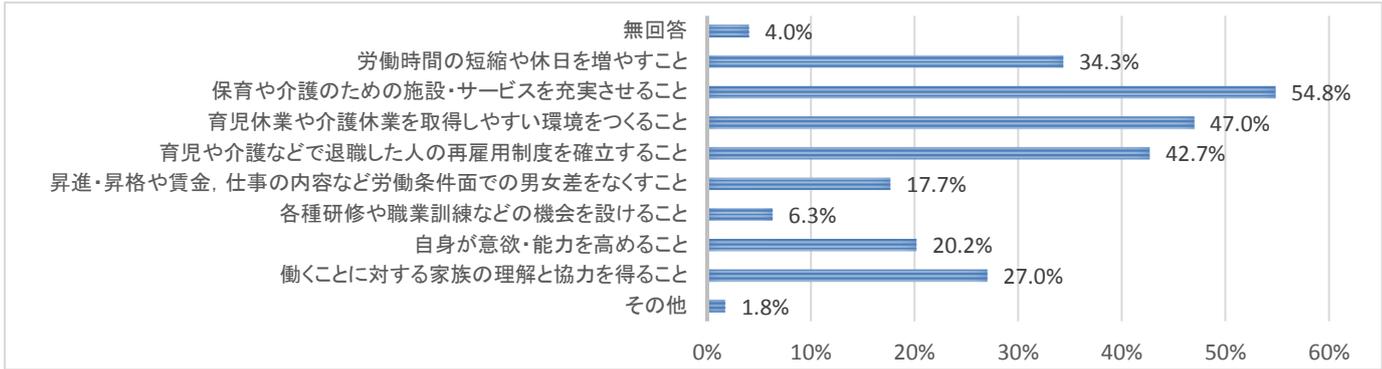


問16 あなたは、男女が働きやすくするためには、特に何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

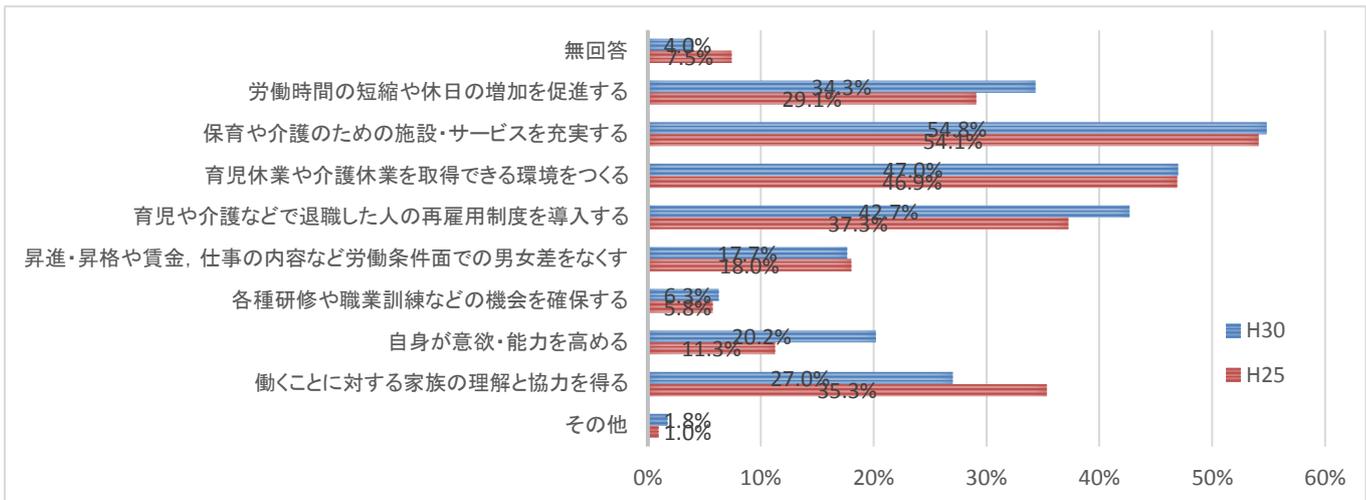
男女が働きやすくするために必要なことは、「保育や介護のための施設・サービスを充実させること」が54.8%と最も多く、次いで「育児休業や介護休業を取得しやすい環境をつくること」が47%となっています。

共働き又は19歳未満の子どもがいる方では、「育児休業や介護休業を取得しやすい環境をつくること」が最も多くなっています。また、共働き又は19歳未満の子どもがいる女性では、「働くことに対する家族の理解と協力を得ること」も多くなっています。

問	あなたは、男女が働きやすくするためには、特に何が重要だと思いますか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		16	4.0%
1	労働時間の短縮や休日を増やすこと		136	34.3%
2	保育や介護のための施設・サービスを充実させること		217	54.8%
3	育児休業や介護休業を取得しやすい環境をつくること		186	47.0%
4	育児や介護などで退職した人の再雇用制度を確立すること		169	42.7%
5	昇進・昇格や賃金、仕事の内容など労働条件面での男女差をなくすこと		70	17.7%
6	各種研修や職業訓練などの機会を設けること		25	6.3%
7	自身が意欲・能力を高めること		80	20.2%
8	働くことに対する家族の理解と協力を得ること		107	27.0%
9	その他		7	1.8%
	計	396	1,013	255.8%

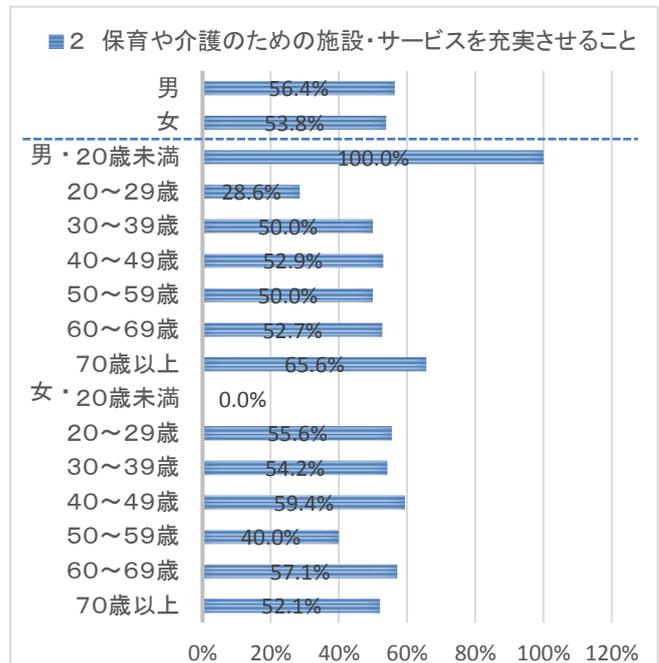
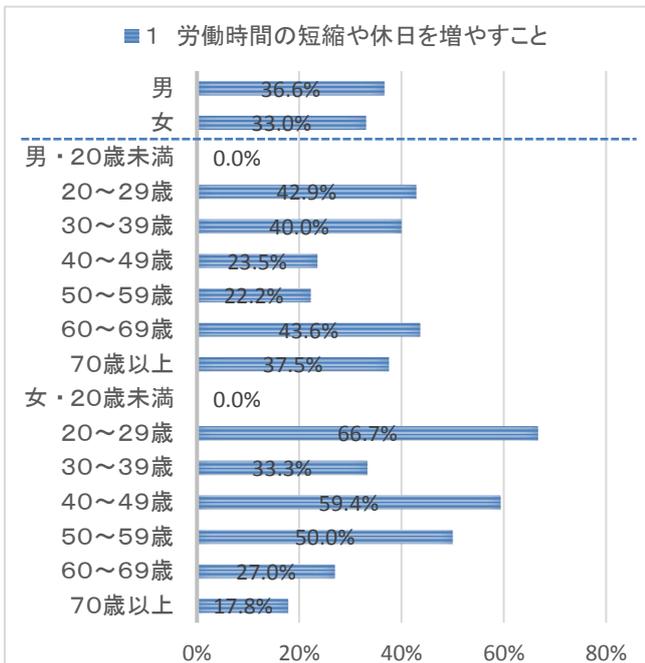


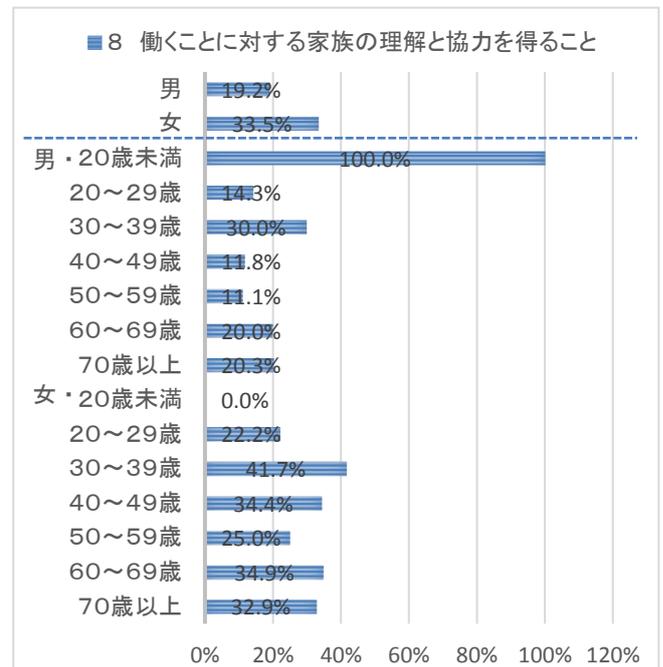
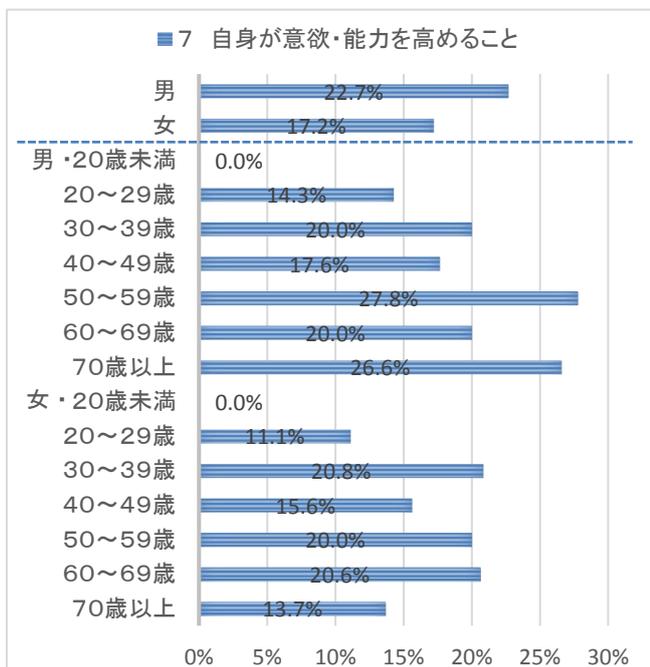
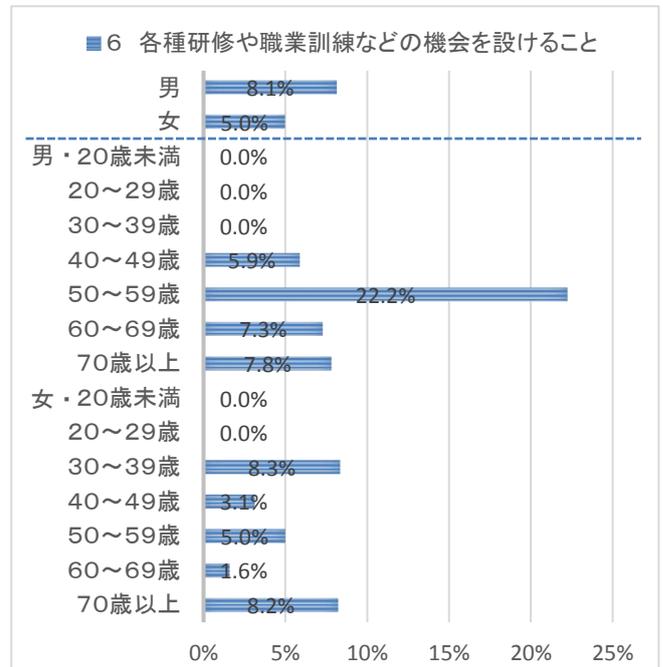
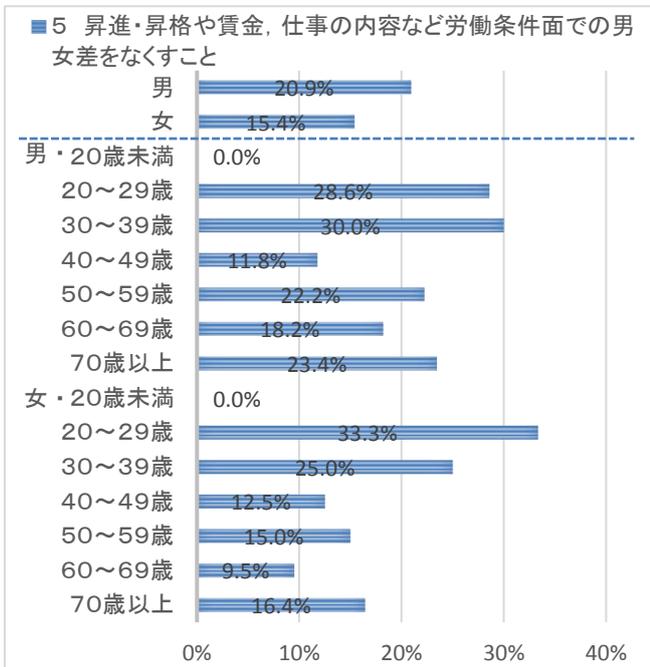
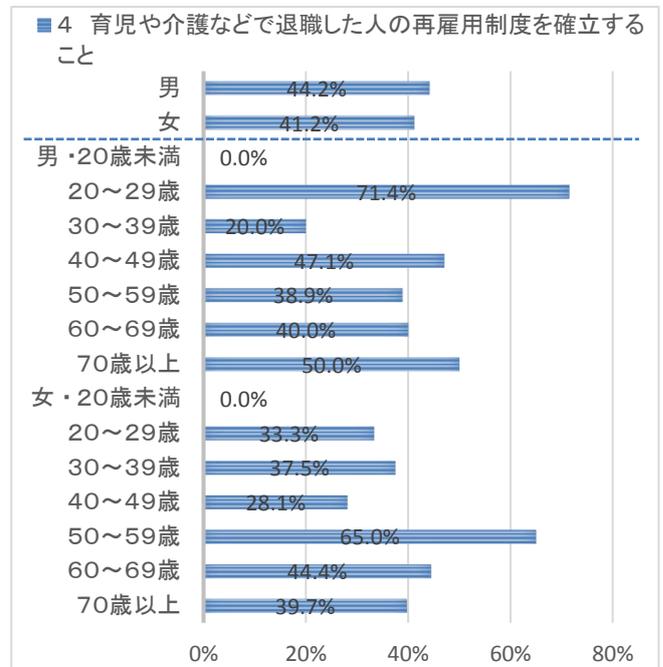
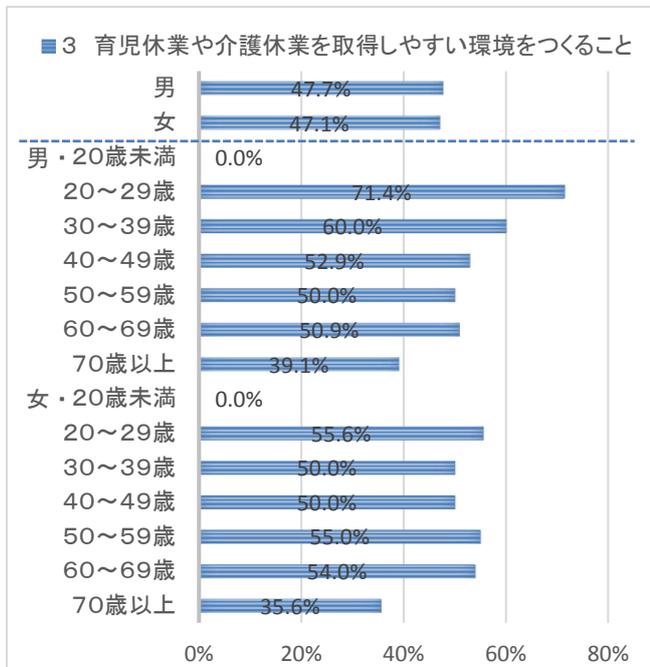
【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



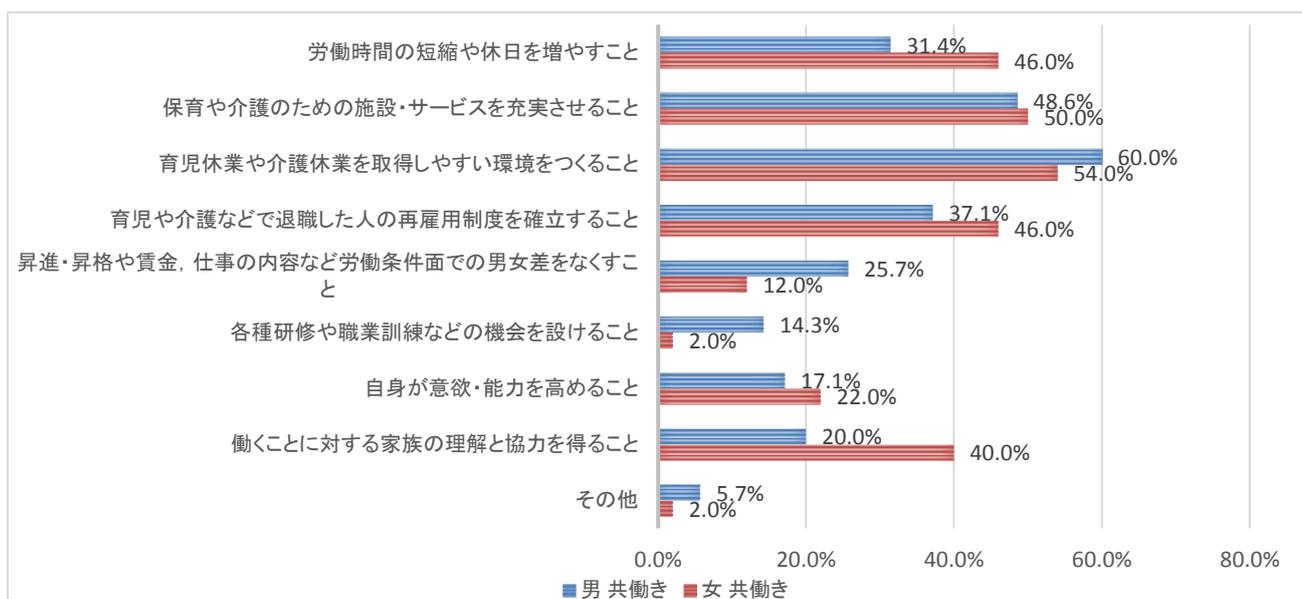
【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)
 男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

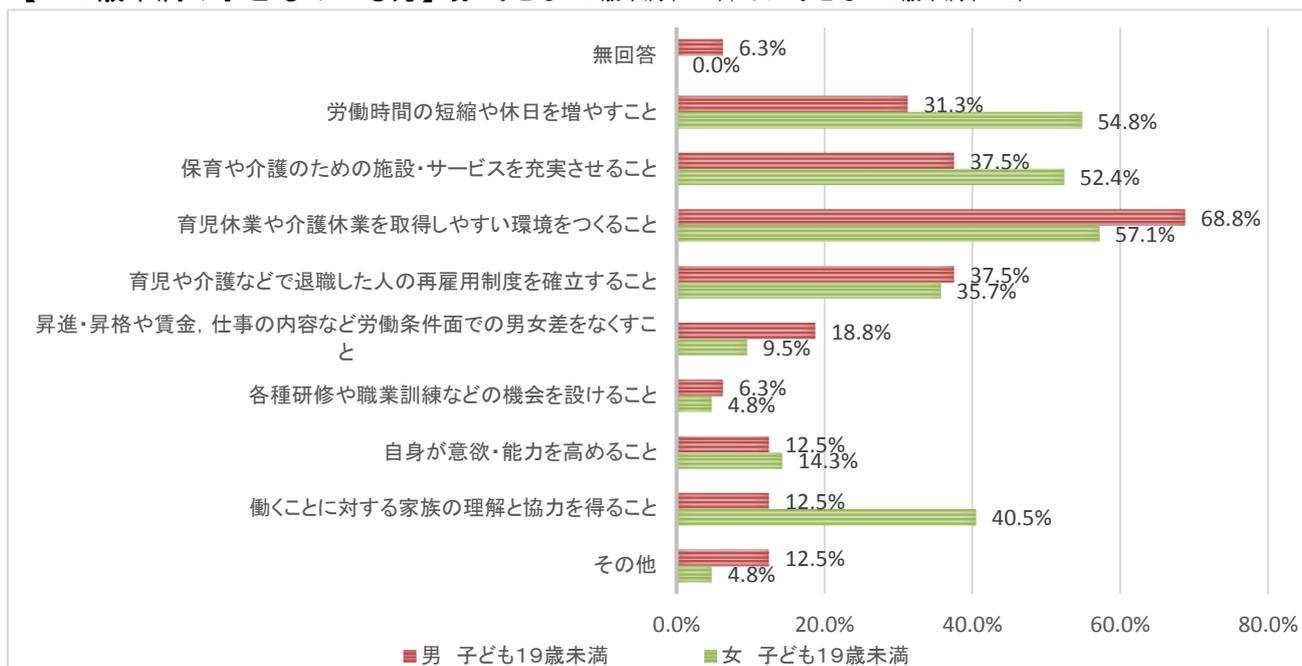




【仕事の状況別】 男：共働き(n=35)， 女：共働き(n=50)



【19歳未満の子どものいる方】 男：子ども19歳未満(n=16)， 女：子ども19歳未満(n=42)

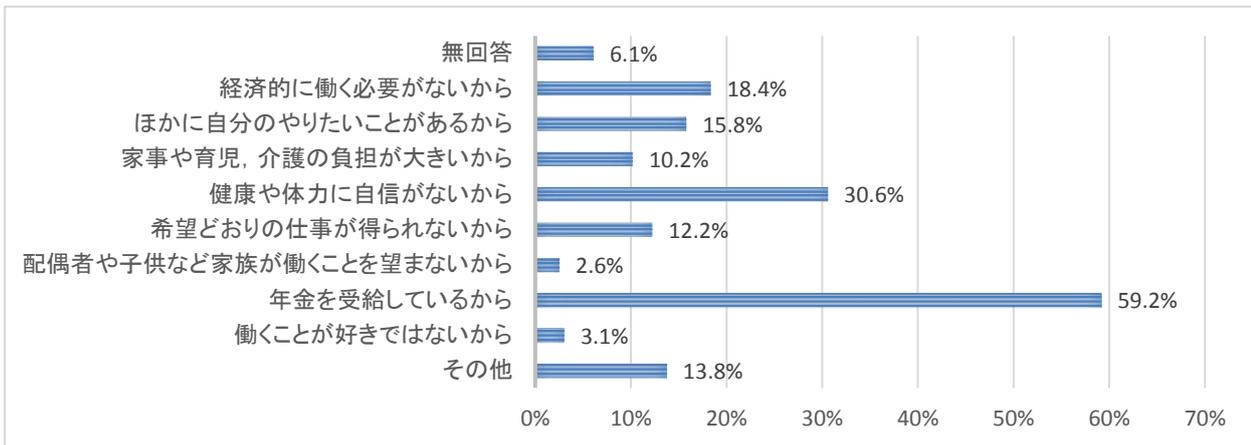


【 F4で職業を「5 家事従事者」「6 無職」と回答された方に伺います。】

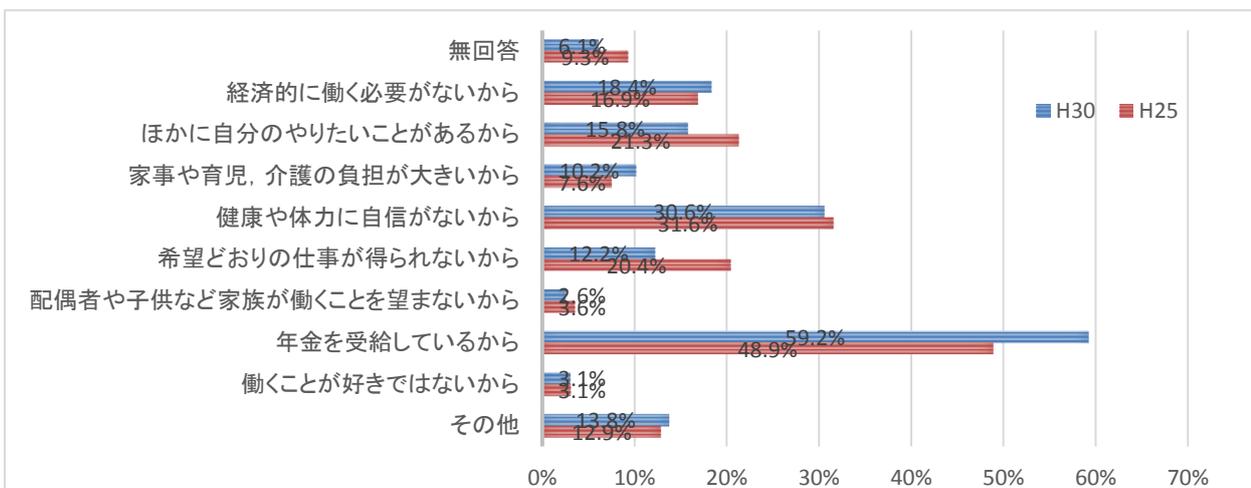
問17 あなたが現在仕事に就いていないのは、特にどのような理由からですか。(〇は3つまで)

現在仕事に就いていない理由は、「年金を受給しているから」が59.2%と最も多く、次いで「健康や体力に自信がないから」が30.6%となっています。なお、家事従事者又は無職と回答された方の89%は60歳以上の方が占めています。

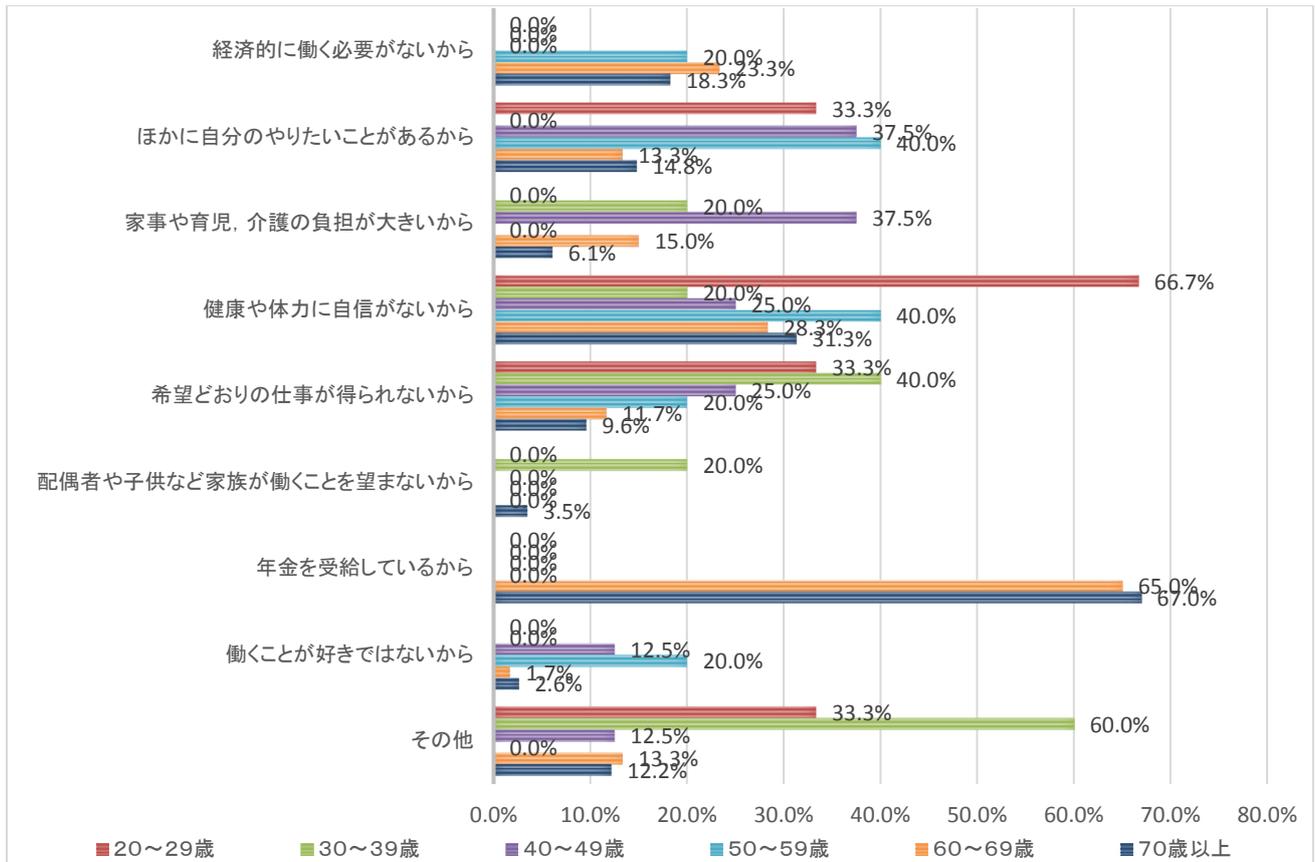
問 17	あなたが現在仕事に就いていないのは、特にどのような理由からですか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		12	6.1%
1	経済的に働く必要がないから		36	18.4%
2	ほかに自分のやりたいことがあるから		31	15.8%
3	家事や育児、介護の負担が大きいから		20	10.2%
4	健康や体力に自信がないから		60	30.6%
5	希望どおりの仕事を得られないから		24	12.2%
6	配偶者や子供など家族が働くことを望まないから		5	2.6%
7	年金を受給しているから		116	59.2%
8	働くことが好きではないから		6	3.1%
9	その他		27	13.8%
	計	196	337	171.9%



【前回比較】 H30 (n=196) , H25 (n=225)



【年齢別】 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=3), 30~39歳 (n=5), 40~49歳 (n=8), 50~59歳 (n=5), 60~69歳 (n=60), 70歳以上 (n=115)

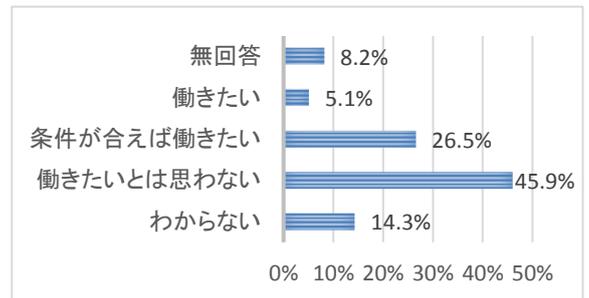


【 F4で職業を「5 家事従事者」「6 無職」と回答された方に伺います。】

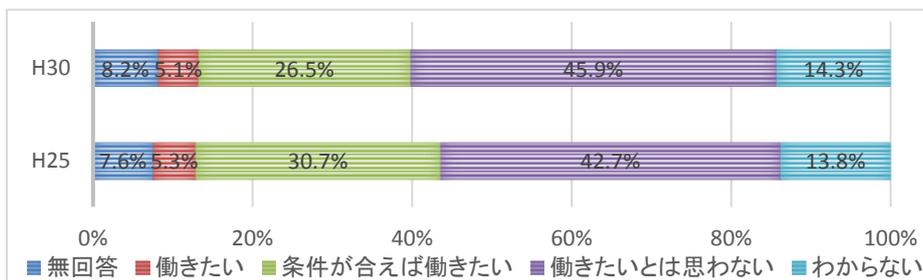
問18 あなたは、今後、働きたいと思いますか。(○は1つ)

今後、働きたいかは、「働きたいとは思わない」が45.9%と最も多く、次いで「条件が合えば働きたい」が26.5%となっています。

問	あなたは、今後、働きたいと思いますか。	回答者数	構成比
0	無回答	16	8.2%
1	働きたい	10	5.1%
2	条件が合えば働きたい	52	26.5%
3	働きたいとは思わない	90	45.9%
4	わからない	28	14.3%
	計	196	100.0%

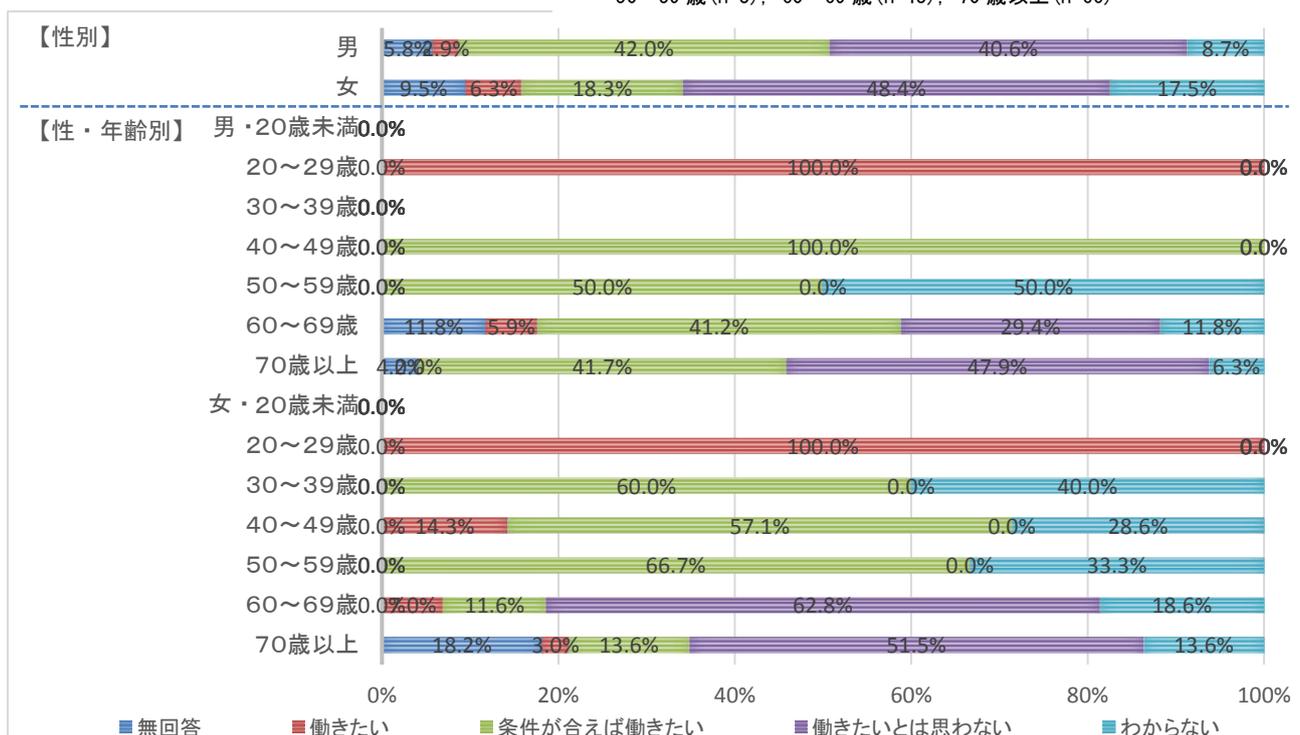


【前回比較】 H30 (n=196), H25 (n=225)



男 (n=69), 女 (n=126)
 男: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=1), 30~39歳 (n=0), 40~49歳 (n=1),
 50~59歳 (n=2), 60~69歳 (n=17), 70歳以上 (n=48)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=2), 30~39歳 (n=5), 40~49歳 (n=7),
 50~59歳 (n=3), 60~69歳 (n=43), 70歳以上 (n=66)

【性別, 性・年齢別】

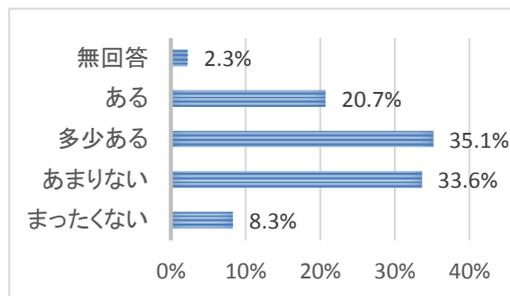


6. 日常生活の悩み等について

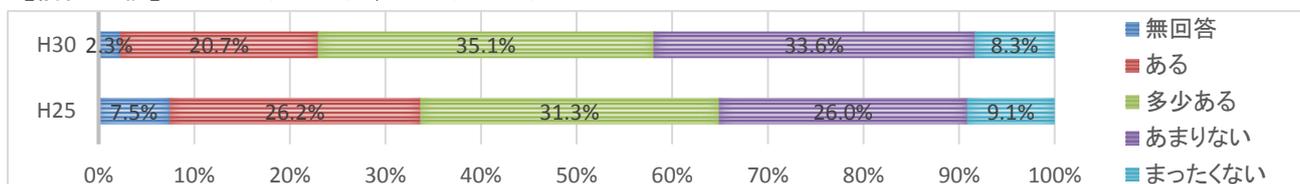
問19 あなたは、この1ヶ月の間に日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどありましたか。
 (〇は1つ)

不満等があるかは、「多少ある」が35.1%と最も多く、次いで「あまりない」が33.6%となっています。前回調査と比較すると、「あまりない」が7.6%減少しています。また、性・年齢別では、60歳未満の方においては、不満等が「ある」又は「多少ある」と回答した人が6割以上と多くなっています。

問19	あなたは、この1ヶ月間に日常生活で不満、悩み、苦勞、ストレスなどありましたか。	回答者数	構成比
0	無回答	9	2.3%
1	ある	82	20.7%
2	多少ある	139	35.1%
3	あまりない	133	33.6%
4	まったくない	33	8.3%
	計	396	100.0%

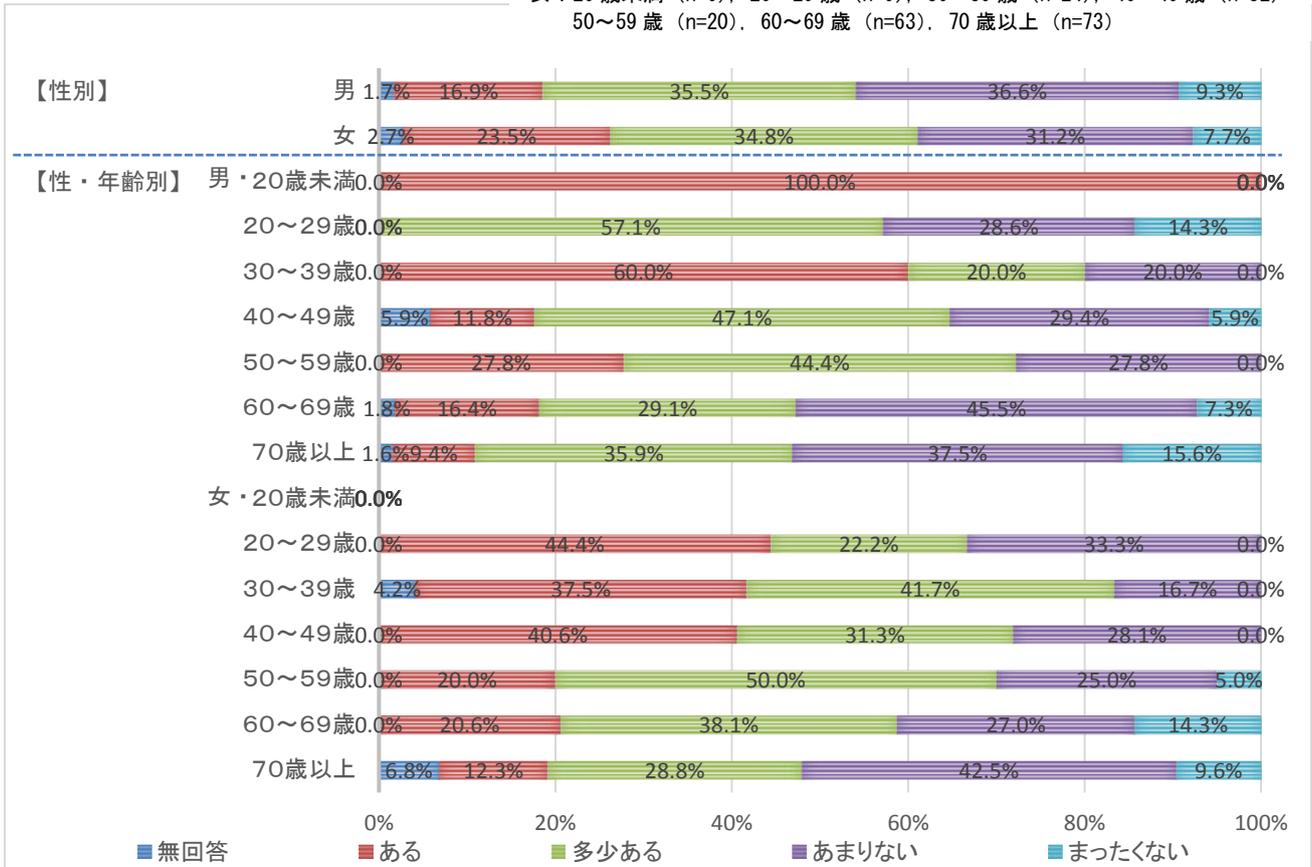


【前回比較】 H30 (n=396), H25 (n=416)



【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)
 男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

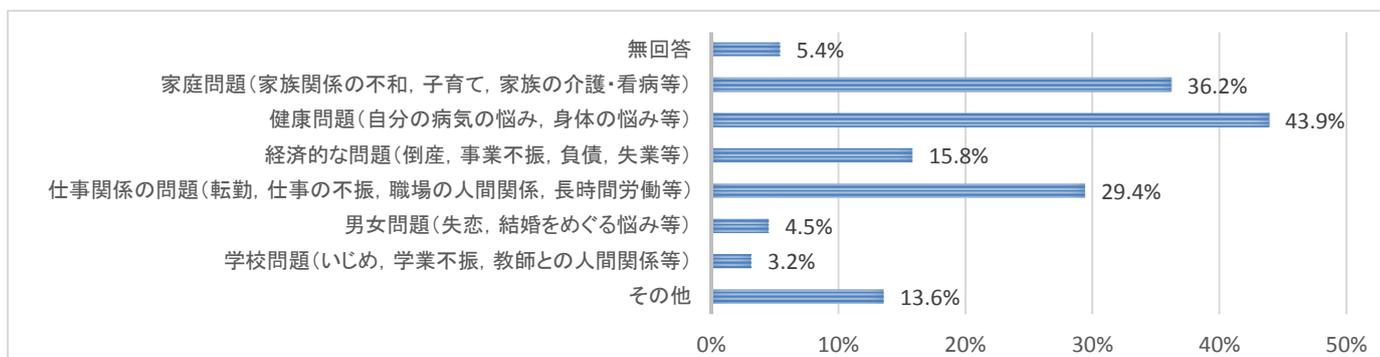


【問19で「1 ある」「2 多少ある」と回答された方に伺います。】

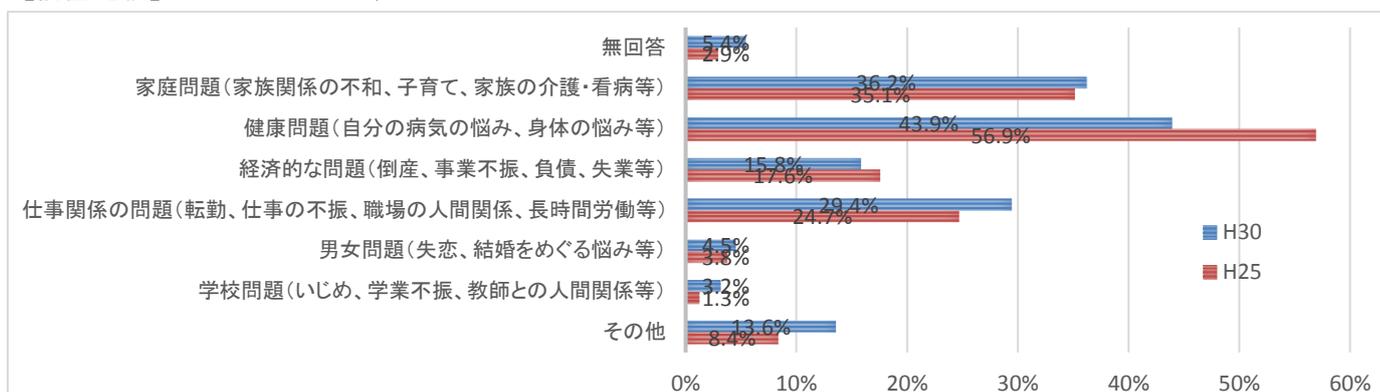
問20 それはどのような事柄が原因ですか。(あてはまるものすべてに○)

不満等の原因は、「健康問題」が43.9%と最も多く、次いで「家庭問題」が36.2%となっています。性・年齢別で比較すると、60歳以上では「健康問題」が多く、60歳未満の男性では「仕事関係の問題」、60歳未満の女性では「家庭問題」が多くなっています。

問20	それはどのような事柄が原因ですか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		12	5.4%
1	家庭問題 (家族関係の不和, 子育て, 家族の介護・看病等)		80	36.2%
2	健康問題 (自分の病気の悩み, 身体の悩み等)		97	43.9%
3	経済的な問題 (倒産, 事業不振, 負債, 失業等)		35	15.8%
4	仕事関係の問題 (転勤, 仕事の不振, 職場の人間関係, 長時間労働等)		65	29.4%
5	男女問題 (失恋, 結婚をめぐる悩み等)		10	4.5%
6	学校問題 (いじめ, 学業不振, 教師との人間関係等)		7	3.2%
7	その他		30	13.6%
	計	221	336	152.0%



【前回比較】 H30 (n=221) , H25 (n=239)



【性別, 性・年齢別】

男 (n=90), 女 (n=129)
 男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=4), 30~39歳 (n=8), 40~49歳 (n=10), 50~59歳 (n=13), 60~69歳 (n=25), 70歳以上 (n=29)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=6), 30~39歳 (n=19), 40~49歳 (n=23), 50~59歳 (n=14), 60~69歳 (n=37), 70歳以上 (n=30)

		無回答	家庭問題	健康問題	経済的な問題	仕事関係の問題	男女問題	学校問題	その他
男		3.3%	18.9%	46.7%	6.7%	40.0%	3.3%	2.2%	8.9%
女		7.0%	48.8%	42.6%	22.5%	21.7%	5.4%	3.9%	17.1%
男	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20~29歳	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	30~39歳	0.0%	25.0%	62.5%	25.0%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	40~49歳	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	50~59歳	7.7%	15.4%	7.7%	23.1%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%
	60~69歳	4.0%	16.0%	52.0%	4.0%	28.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	70歳以上	3.4%	20.7%	75.9%	0.0%	13.8%	0.0%	0.0%	13.8%
女	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20~29歳	0.0%	33.3%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	30~39歳	0.0%	73.7%	42.1%	42.1%	21.1%	21.1%	5.3%	10.5%
	40~49歳	0.0%	56.5%	26.1%	34.8%	52.2%	4.3%	17.4%	17.4%
	50~59歳	57.1%	57.1%	21.4%	28.6%	35.7%	0.0%	0.0%	14.3%
	60~69歳	0.0%	43.2%	51.4%	10.8%	8.1%	2.7%	0.0%	16.2%
	70歳以上	3.3%	33.3%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	26.7%

7. 介護について

問21 あなたの介護に対する考えを伺います。あなたが家族を介護する立場になった場合、あなたが望む考えをお答えください。(〇は1つ)

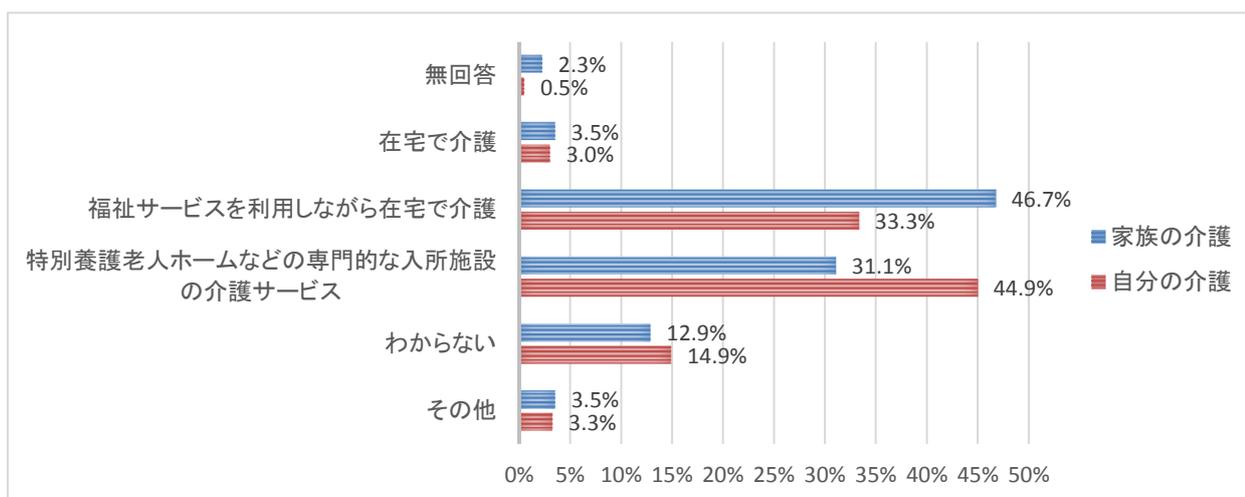
問22 あなたの介護に対する考えを伺います。あなたが介護される立場になった場合、あなたが望む考えをお答えください。(〇は1つ)

家族を介護する立場になった場合は、「福祉サービスを利用しながら在宅で介護を行う」が46.7%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの専門的な入所施設で介護サービスを受ける」が31.1%となっています。

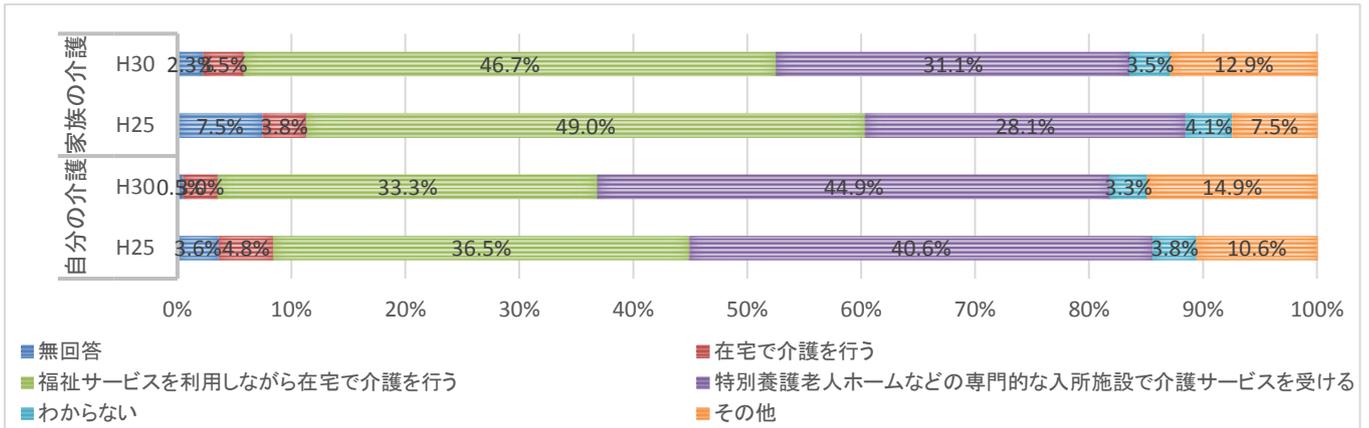
自分が介護される立場になった場合は、「特別養護老人ホームなどの専門的な入所施設で介護サービスを受けたい」が44.9%で最も多く、次いで「福祉サービスを利用しながら家族に在宅で介護してもらいたい」が33.3%となっています。

<回答者数>	無回答	在宅で介護	福祉サービスを利用しながら在宅で介護	特別養護老人ホームなどの専門的な入所施設の介護サービス	わからない	その他	計
家族の介護	9	14	185	123	51	14	396
自分の介護	2	12	132	178	59	13	396

<構成比>	無回答	在宅で介護	福祉サービスを利用しながら在宅で介護	特別養護老人ホームなどの専門的な入所施設の介護サービス	わからない	その他	計
家族の介護	2.3%	3.5%	46.7%	31.1%	12.9%	3.5%	100%
自分の介護	0.5%	3.0%	33.3%	44.9%	14.9%	3.3%	100%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)

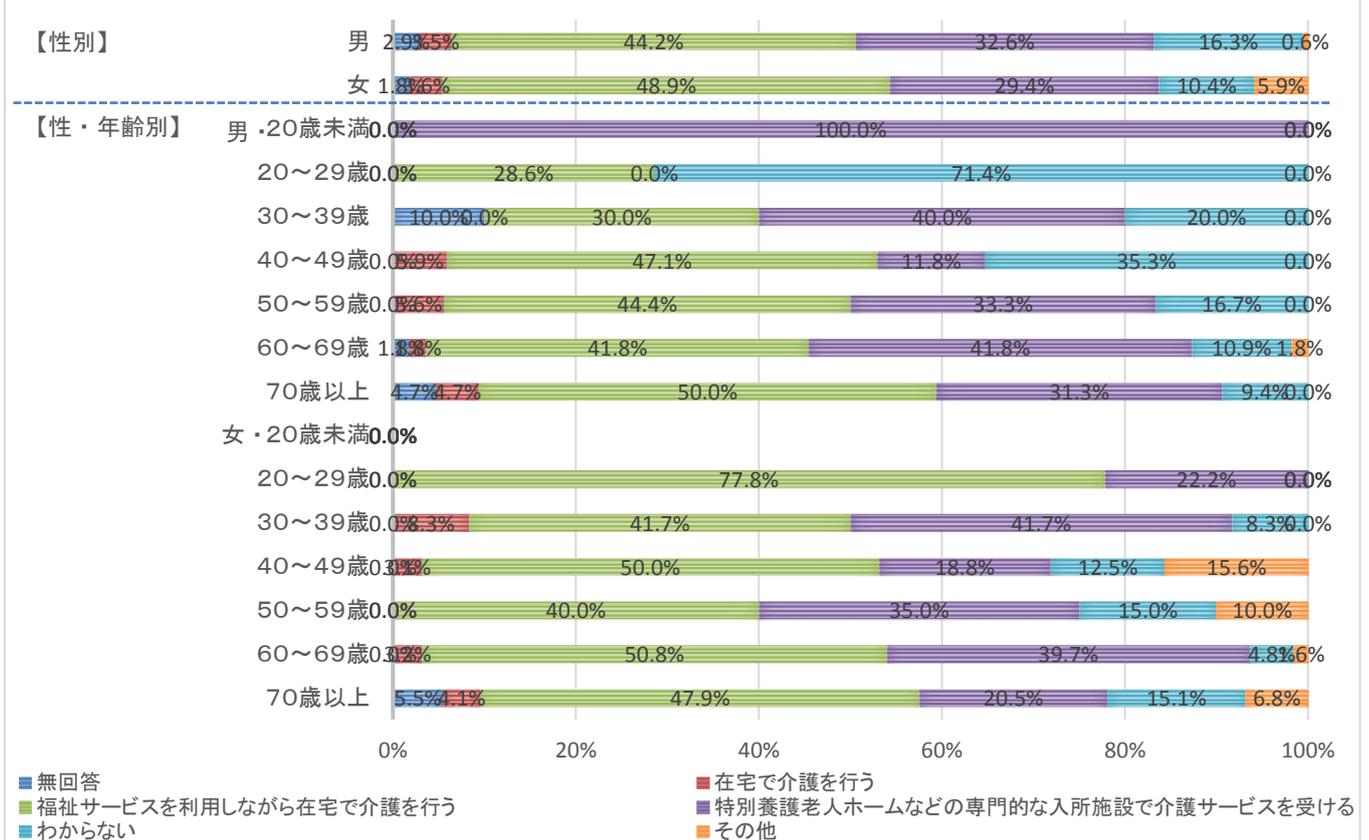


【性別、性・年齢別】

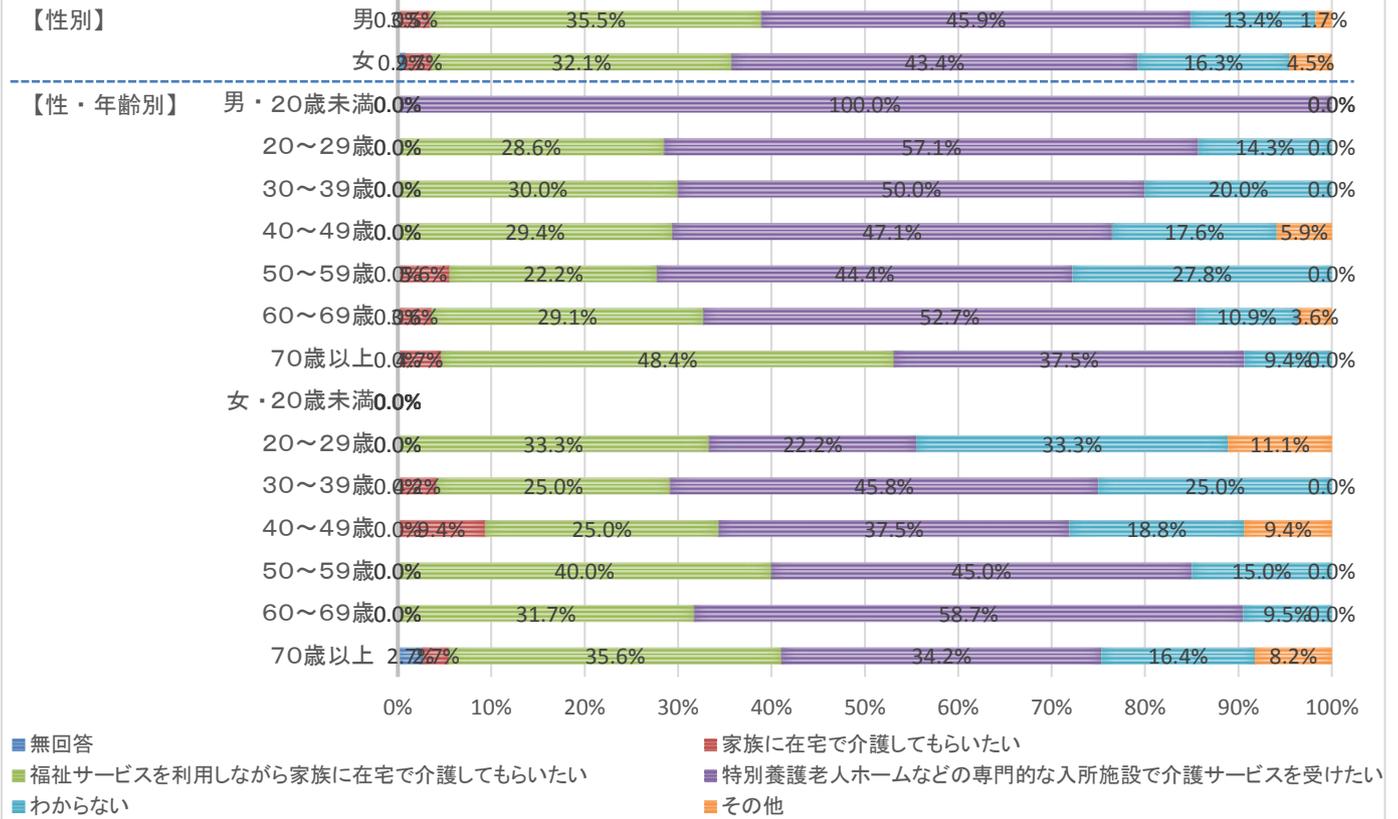
男 (n=172), 女 (n=221)

男：20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)
 女：20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

家族を介護する立場になった場合どうしたいか



あなたが介護される立場になった場合どうしたいか

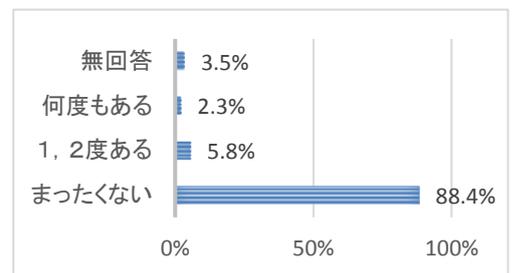


8. 配偶者や恋人からの暴力について

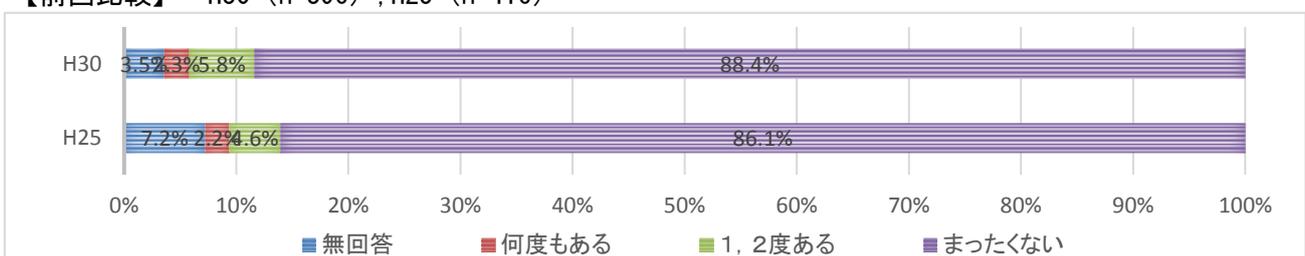
問23 あなたは、過去3年間に、配偶者や恋人等から、身体的な暴力行為や精神的な暴力行為を受けたことがありますか。(〇は1つ)

配偶者等から暴力行為を受けたことがあるかは、「まったくない」が88.4%で、「何度もある」又は「1, 2度ある」が合わせて8.1%となっています。性別で比較すると、「何度もある」又は「1, 2度ある」とした女性は、9.9%で男性より4.7%多くなっています。

問	あなたは、過去3年間に、配偶者や恋人等から、身体的な暴力行為や精神的な暴力行為を受けたことがありますか。	回答者数	構成比
0	無回答	14	3.5%
1	何度もある	9	2.3%
2	1, 2度ある	23	5.8%
3	まったくない	350	88.4%
	計	396	100.0%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)



【性別，性・年齢別】

男 (n=172), 女 (n=221)
 男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
 50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)
 女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
 50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)

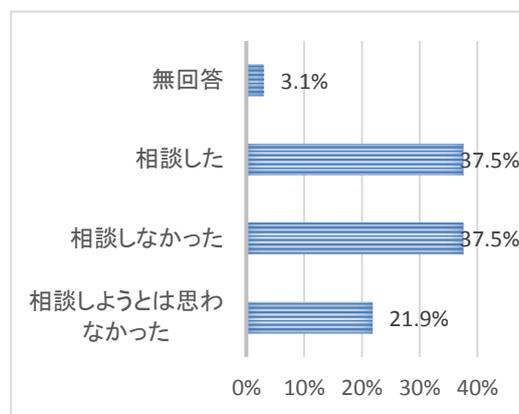
		無回答	何度もある	1, 2度ある	まったくない
男		2.3%	1.7%	3.5%	92.4%
女		4.1%	2.7%	7.2%	86.0%
男	20歳未満	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20~29歳	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	30~39歳	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%
	40~49歳	0.0%	11.8%	5.9%	82.4%
	50~59歳	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	60~69歳	3.6%	0.0%	5.5%	90.9%
	70歳以上	3.1%	0.0%	1.6%	95.3%
女	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20~29歳	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	30~39歳	0.0%	12.5%	4.2%	83.3%
	40~49歳	0.0%	3.1%	9.4%	87.5%
	50~59歳	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%
	60~69歳	4.8%	1.6%	11.1%	82.5%
	70歳以上	8.2%	1.4%	4.1%	86.3%

【問23で「1. 何度もある」「2. 1, 2度ある」と回答された方に伺います。】

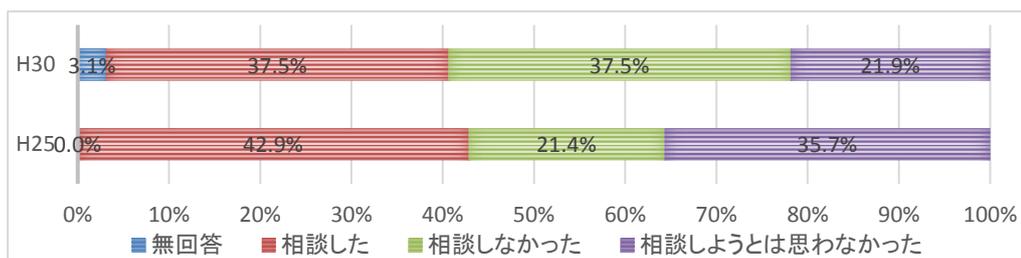
問24 あなたは、配偶者や恋人等から、身体的な暴力行為や精神的な暴力行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

暴力行為を受けたことを相談したかは、「相談した」及び「相談しなかった」がどちらも37.5%となっています。

問24	あなたは、配偶者や恋人から、身体的な暴力行為や精神的な暴力行為を受けたことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。	回答者数	構成比
0	無回答	1	3.1%
1	相談した	12	37.5%
2	相談しなかった	12	37.5%
3	相談しようとは思わなかった	7	21.9%
計		32	100.0%



【前回比較】 H30 (n=32) , H25 (n=28)

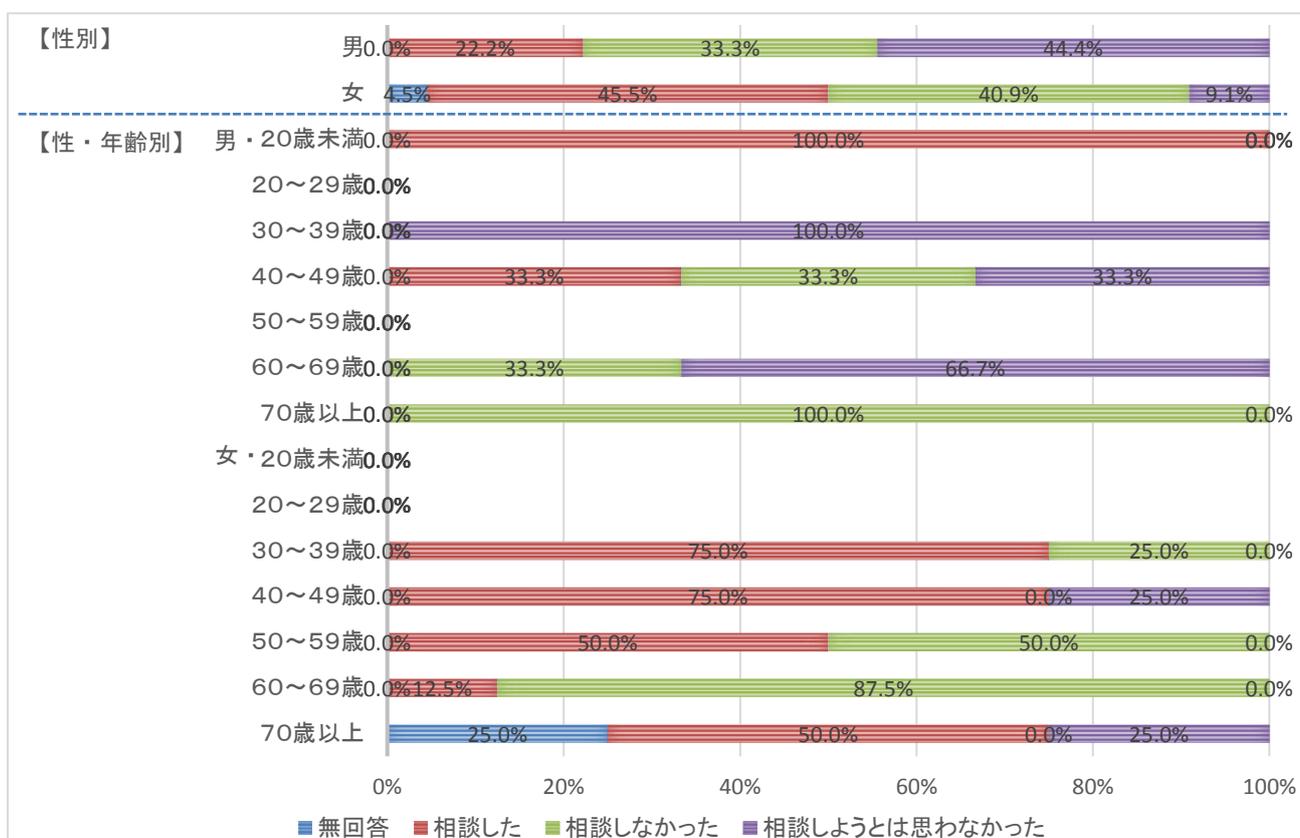


【性別，性・年齢別】

男 (n=9) , 女 (n=22)

男 : 20歳未満 (n=1) , 20~29歳 (n=0) , 30~39歳 (n=1) , 40~49歳 (n=3) , 50~59歳 (n=0) , 60~69歳 (n=3) , 70歳以上 (n=1)

女 : 20歳未満 (n=0) , 20~29歳 (n=0) , 30~39歳 (n=4) , 40~49歳 (n=4) , 50~59歳 (n=2) , 60~69歳 (n=8) , 70歳以上 (n=4)

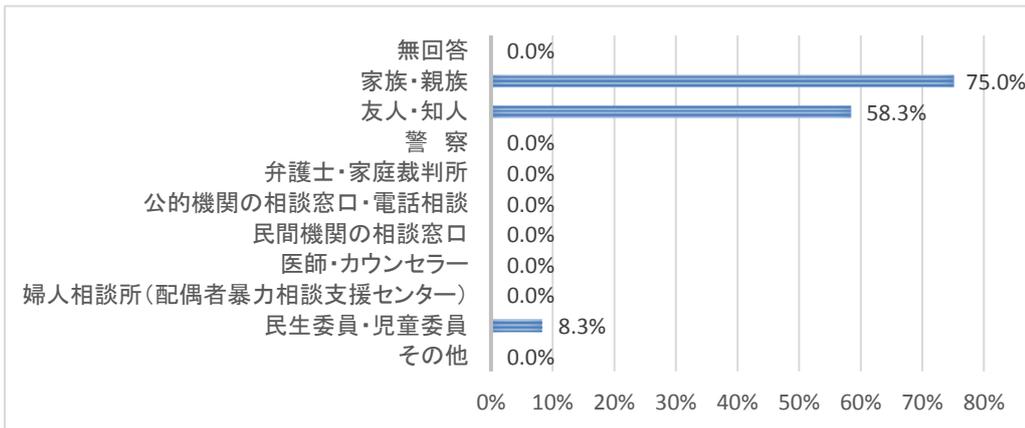


【 問24で「1. 相談した」と回答された方に伺います。】

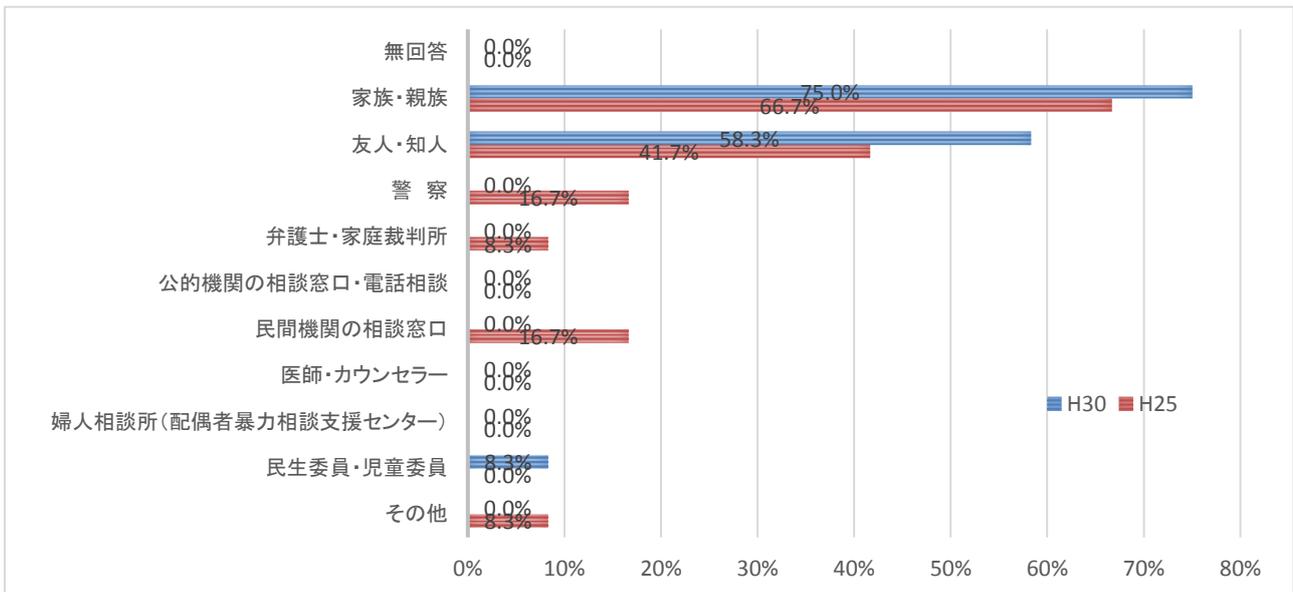
問25 あなたが相談した人（場所）を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

相談した人（場所）は、「家族・親族」が75%と最も多く、次いで「友人・知人」が58.3%となっています。

問25	あなたが相談した人（場所）を教えてください。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		0	0.0%
1	家族・親族		9	75.0%
2	友人・知人		7	58.3%
3	警 察		0	0.0%
4	弁護士・家庭裁判所		0	0.0%
5	公的機関の相談窓口・電話相談		0	0.0%
6	民間機関の相談窓口		0	0.0%
7	医師・カウンセラー		0	0.0%
8	婦人相談所（配偶者暴力相談支援センター）		0	0.0%
9	民生委員・児童委員		1	8.3%
10	その他		0	0.0%
	計	12	17	141.7%



【前回比較】 H30 (n=12) , H25 (n=12)



【性別，性・年齢別】

男 (n=2)，女 (n=10)
 男：20歳未満 (n=1)，20～29歳 (n=0)，30～39歳 (n=0)，40～49歳 (n=1)，
 50～59歳 (n=0)，60～69歳 (n=0)，70歳以上 (n=0)
 女：20歳未満 (n=0)，20～29歳 (n=0)，30～39歳 (n=3)，40～49歳 (n=3)，
 50～59歳 (n=1)，60～69歳 (n=1)，70歳以上 (n=2)

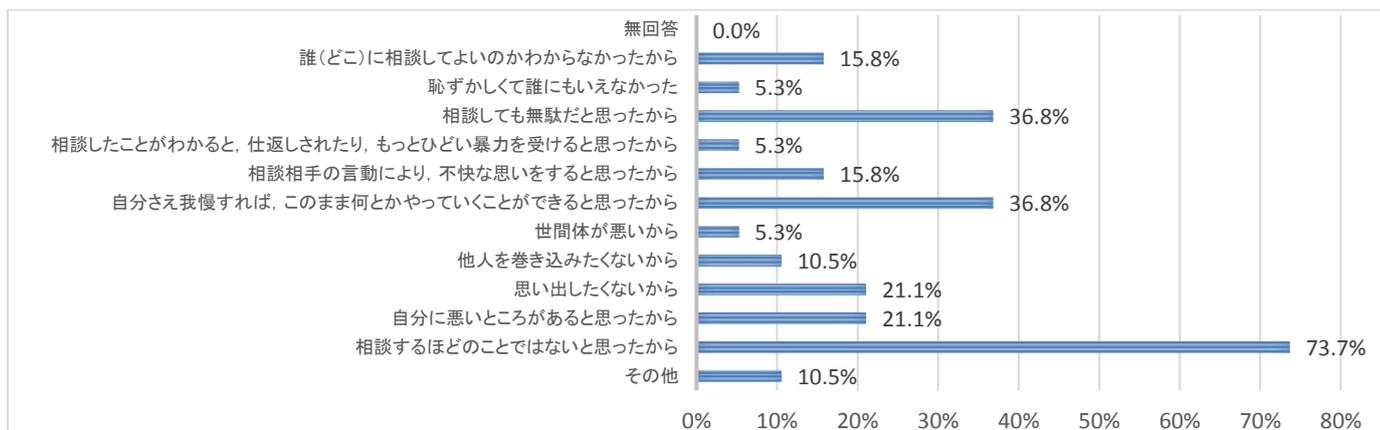
		家族・親 族	友人・知 人	警 察	弁護士・ 家庭裁判 所	公的機関 の相談窓 口・電話 相談	民間機関 の相談窓 口	医師・カ ウンセラ ー	婦人相談 所(配偶 者暴力相 談支援セ ンター)	民生委 員・児童 委員	その他
男		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
女		80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男	20歳未満	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	50～59歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女	20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【問24で「2. 相談しなかった」「3. 相談しようとは思わなかった」と回答された方に伺います。】

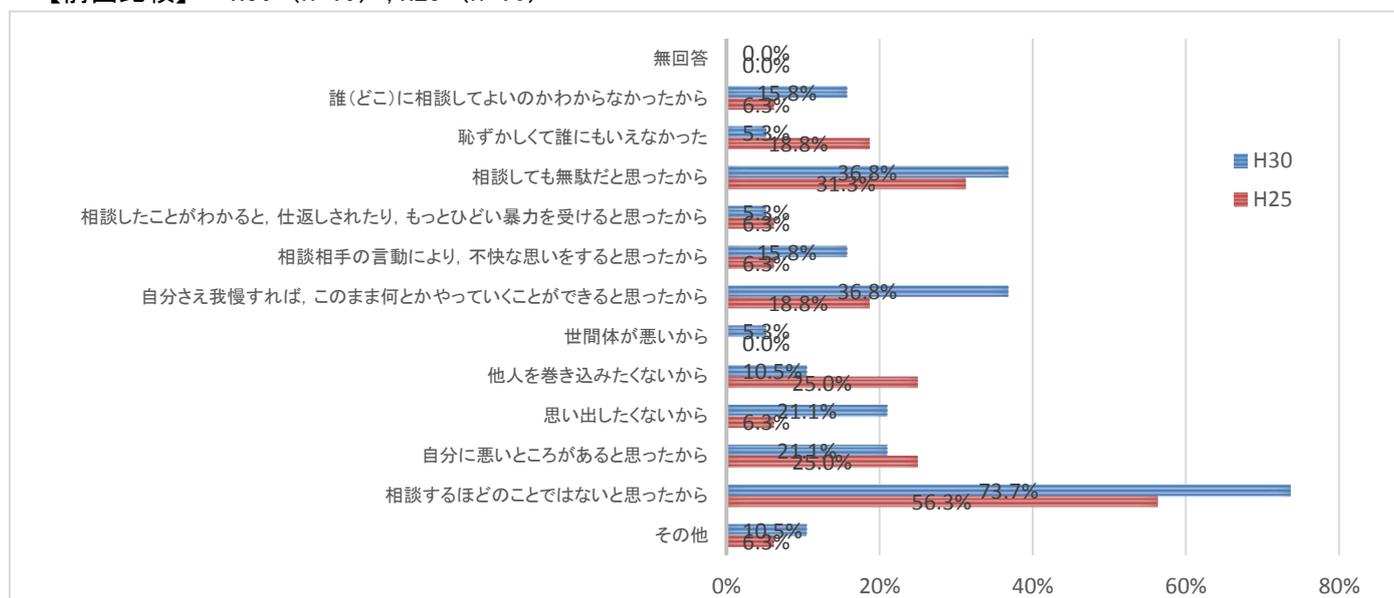
問26 誰（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」が73.7%と最も多く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」と「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから」がどちらも36.8%となっています。

問26	誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		0	0.0%
1	誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから		3	15.8%
2	恥ずかしくて誰にもいえなかった		1	5.3%
3	相談しても無駄だと思ったから		7	36.8%
4	相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから		1	5.3%
5	相談相手の言動により、不快な思いをすと思ったから		3	15.8%
6	自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから		7	36.8%
7	世間体が悪いから		1	5.3%
8	他人を巻き込みたくないから		2	10.5%
9	思い出したくないから		4	21.1%
10	自分に悪いところがあると思ったから		4	21.1%
11	相談するほどのことではないと思ったから		14	73.7%
12	その他		2	10.5%
	計	19	49	257.9%



【前回比較】 H30 (n=19) , H25 (n=16)

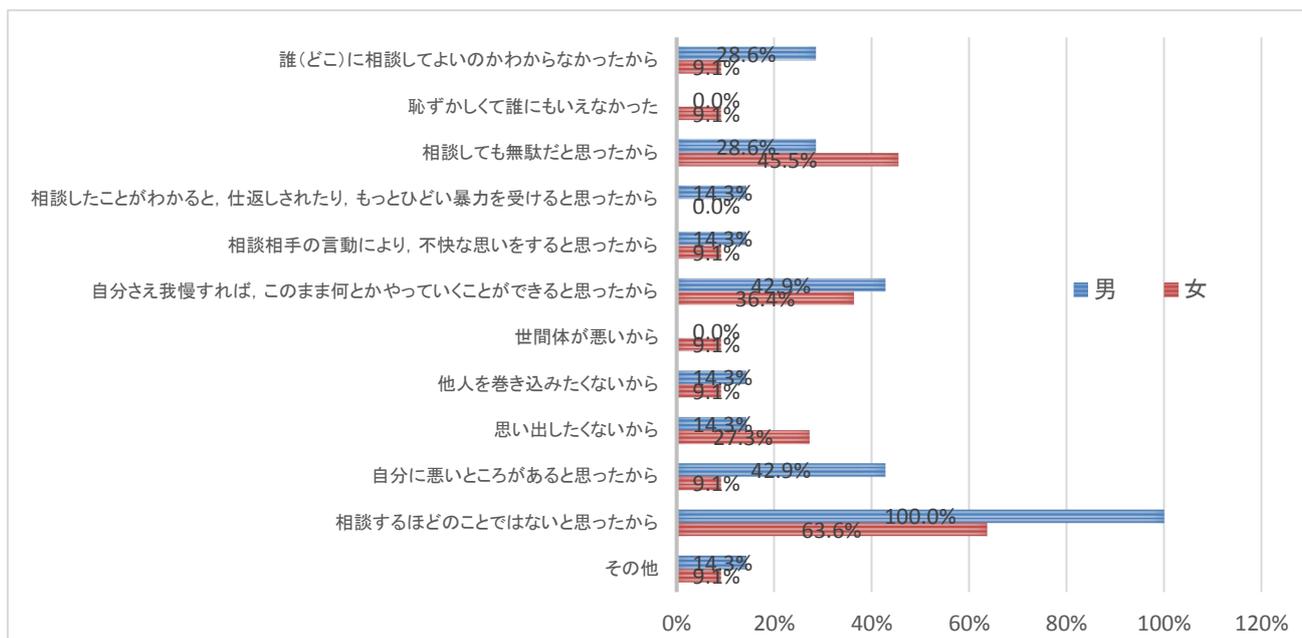


【性別】

男 (n=7), 女 (n=11)

男: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=0), 30~39歳 (n=1), 40~49歳 (n=2), 50~59歳 (n=0), 60~69歳 (n=3), 70歳以上 (n=1)

女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=0), 30~39歳 (n=1), 40~49歳 (n=1), 50~59歳 (n=1), 60~69歳 (n=7), 70歳以上 (n=1)



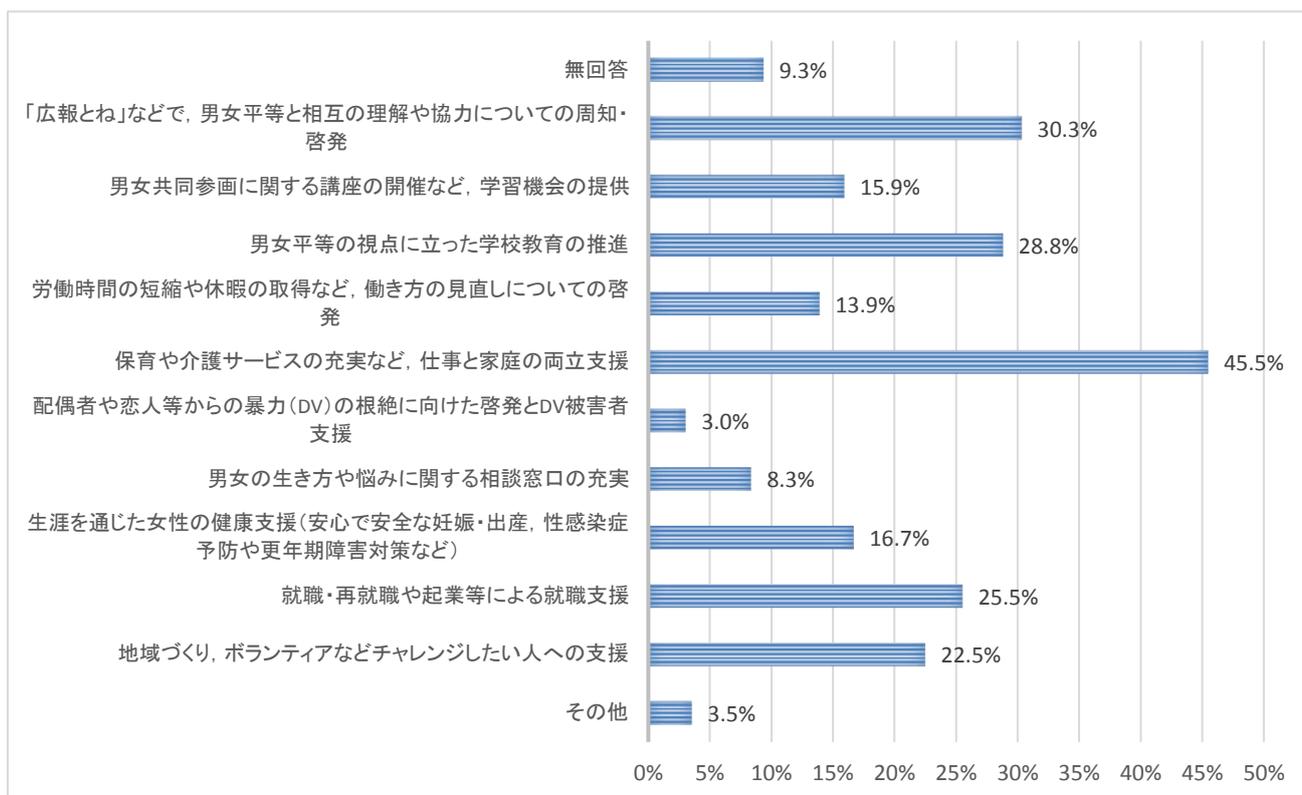
9. 今後の男女共同参画の取り組みについて

問27 男女共同参画社会の実現に向けて、今後、利根町では特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

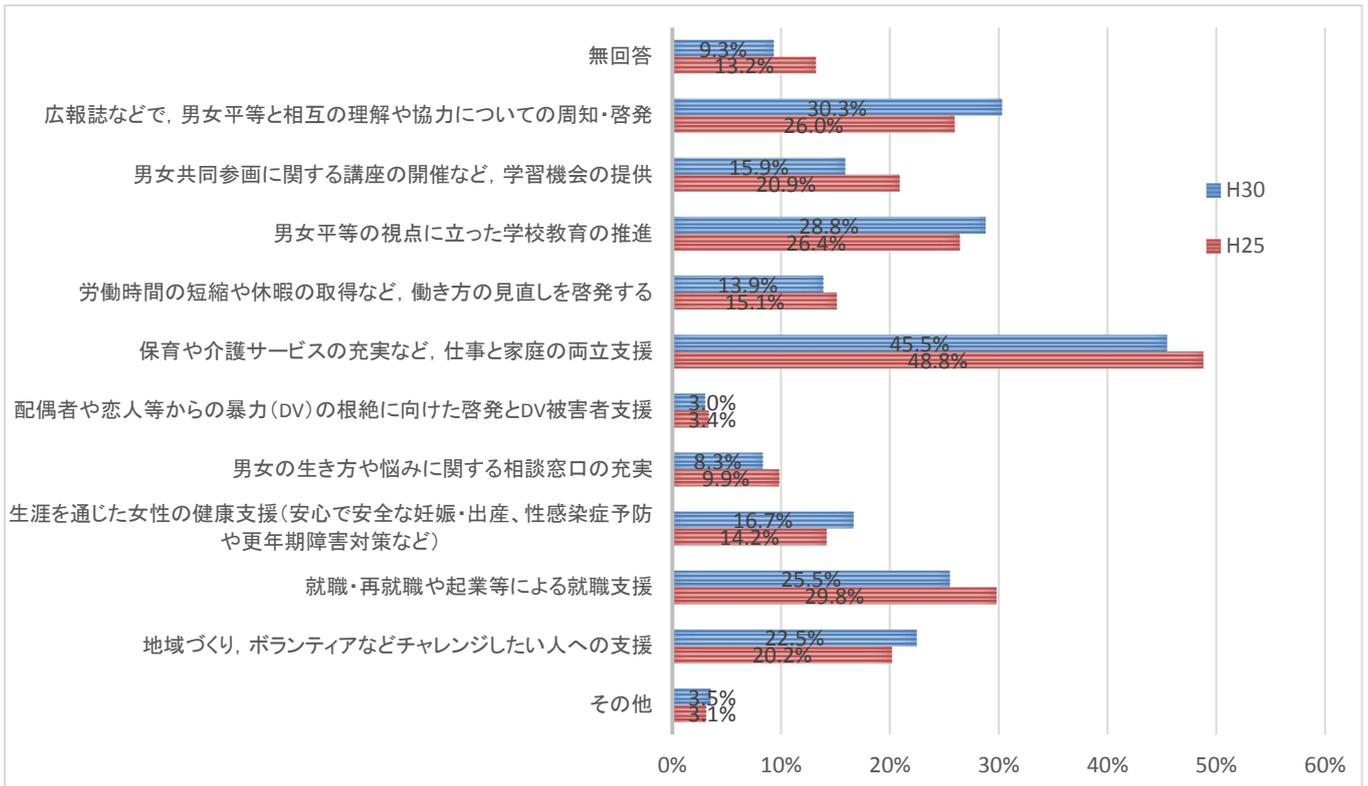
男女共同参画社会の実現に向けて町が力を入れるべきことは、「保育や介護サービスの充実など、仕事と家庭の両立支援」が45.5%と最も多く、次いで「広報とね」などで、男女平等と相互の理解や協力についての周知・啓発」が30.3%となっています。

また、仕事の状況別及び子どもの有無別で比較すると、共働きの方又は19歳未満の子どものいる方では、「保育や介護サービスの充実など、仕事と家庭の両立支援」が最も多く、次いで「就職・再就職や起業等による就職支援」、「男女平等の視点に立った学校教育の推進」となっています。

問 27	男女共同参画社会の実現に向けて、今後、利根町では特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。	回答者数	回答数	構成比
0	無回答		37	9.3%
1	「広報とね」などで、男女平等と相互の理解や協力についての周知・啓発		120	30.3%
2	男女共同参画に関する講座の開催など、学習機会の提供		63	15.9%
3	男女平等の視点に立った学校教育の推進		114	28.8%
4	労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しについての啓発		55	13.9%
5	保育や介護サービスの充実など、仕事と家庭の両立支援		180	45.5%
6	配偶者や恋人等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発とDV被害者支援		12	3.0%
7	男女の生き方や悩みに関する相談窓口の充実		33	8.3%
8	生涯を通じた女性の健康支援（安心で安全な妊娠・出産、性感染症予防や更年期障害対策など）		66	16.7%
9	就職・再就職や起業等による就職支援		101	25.5%
10	地域づくり、ボランティアなどチャレンジしたい人への支援		89	22.5%
11	その他		14	3.5%
計		396	884	223.2%



【前回比較】 H30 (n=396) , H25 (n=416)

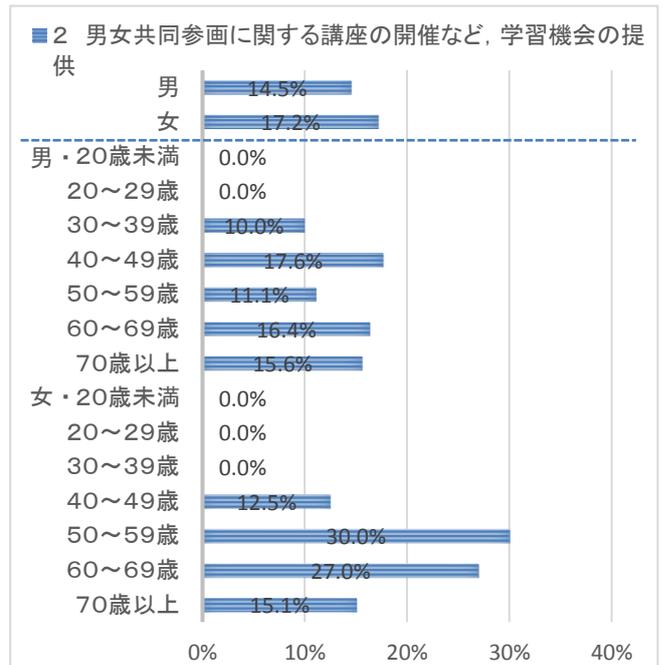
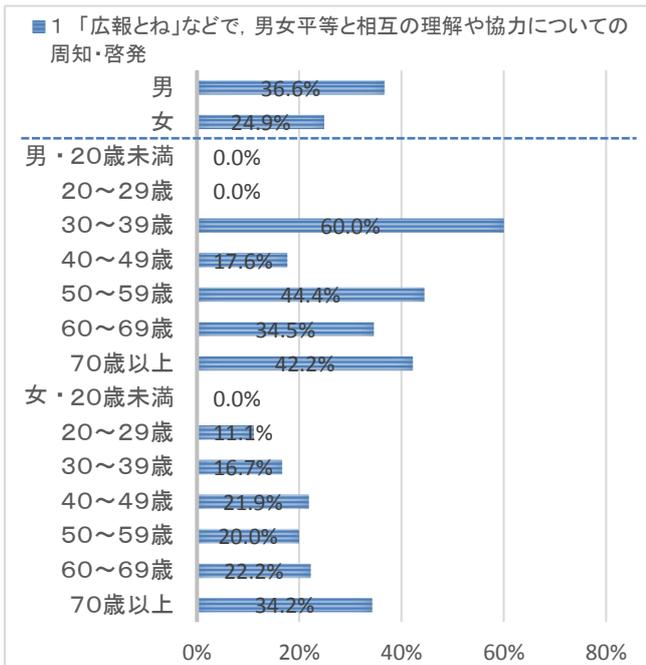


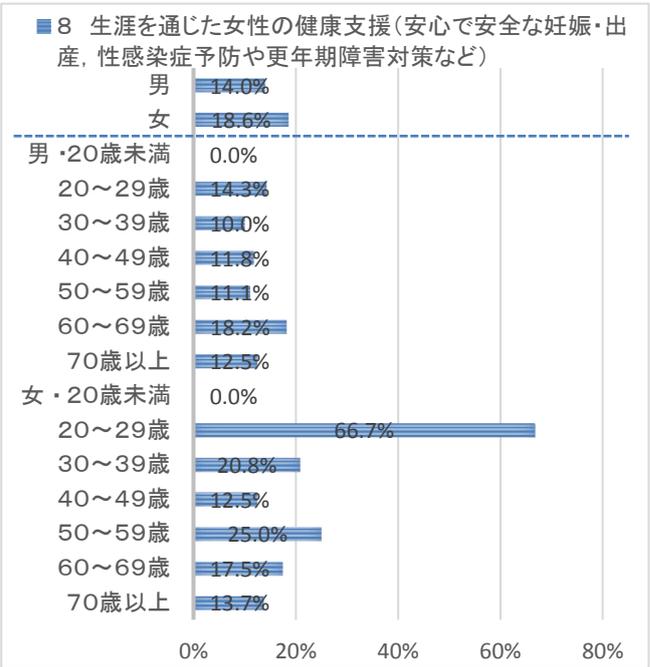
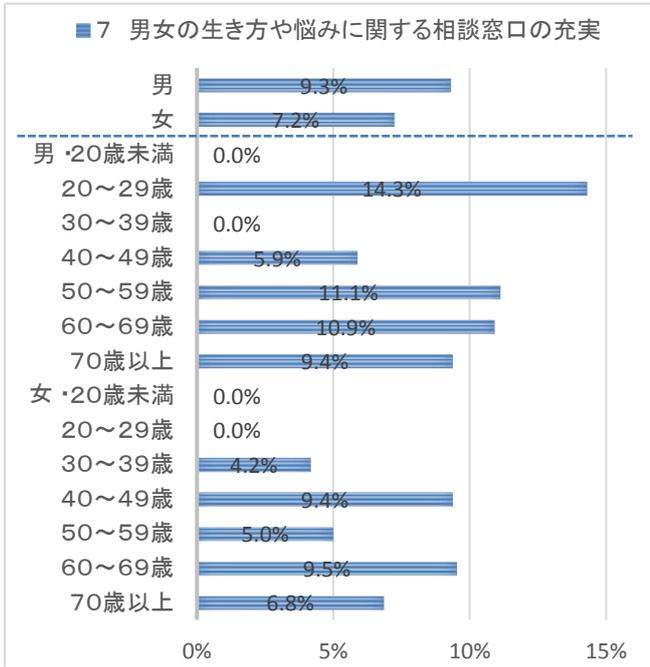
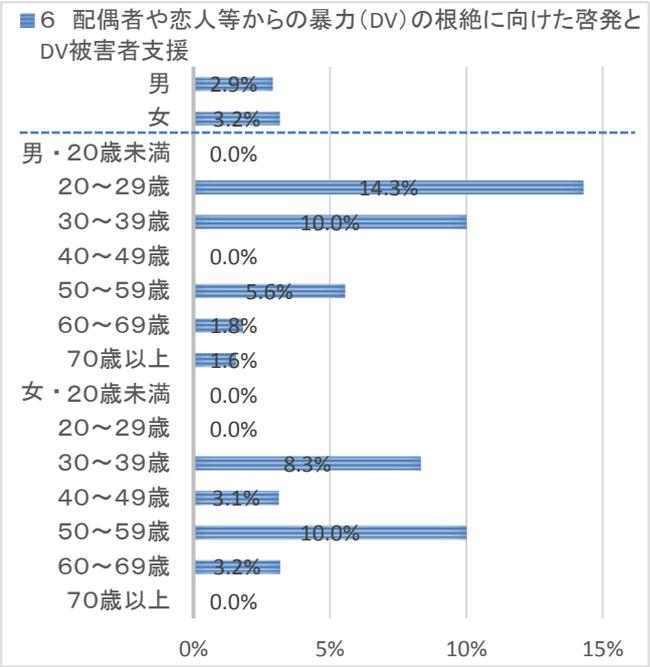
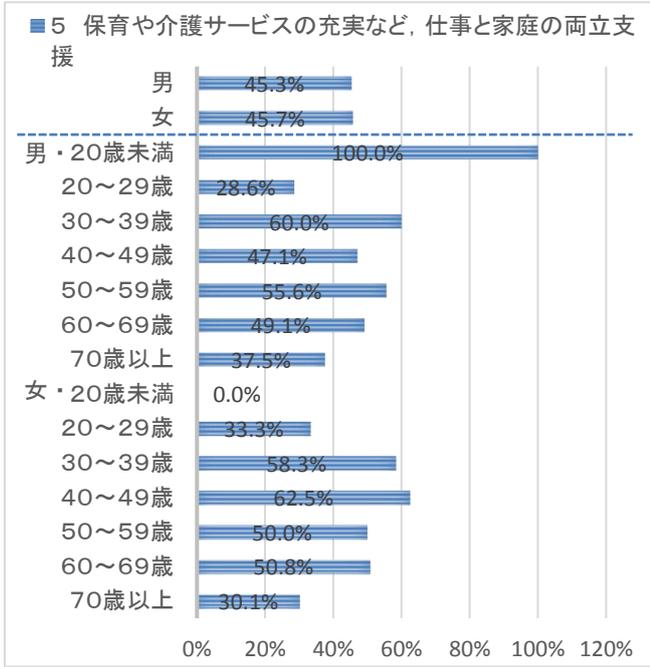
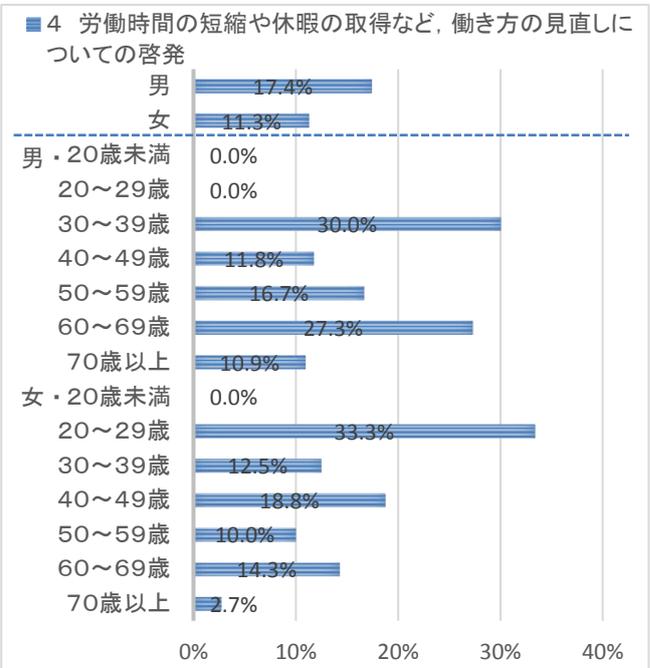
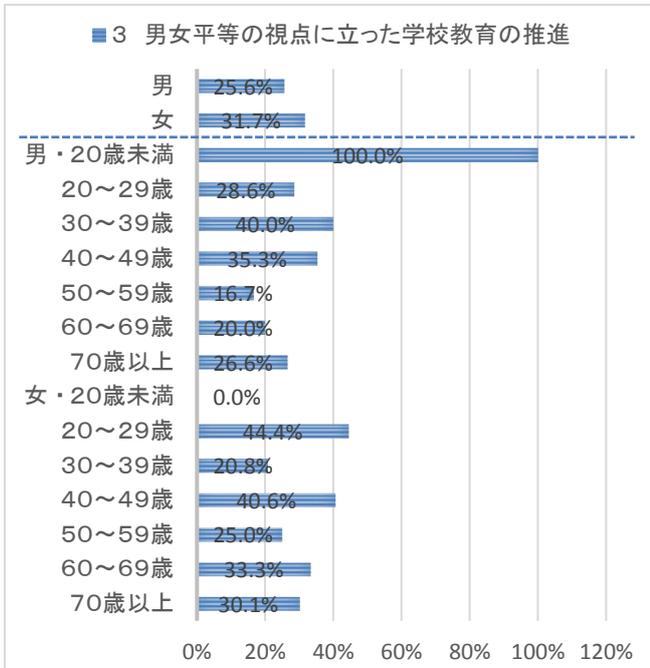
【性別、性・年齢別】

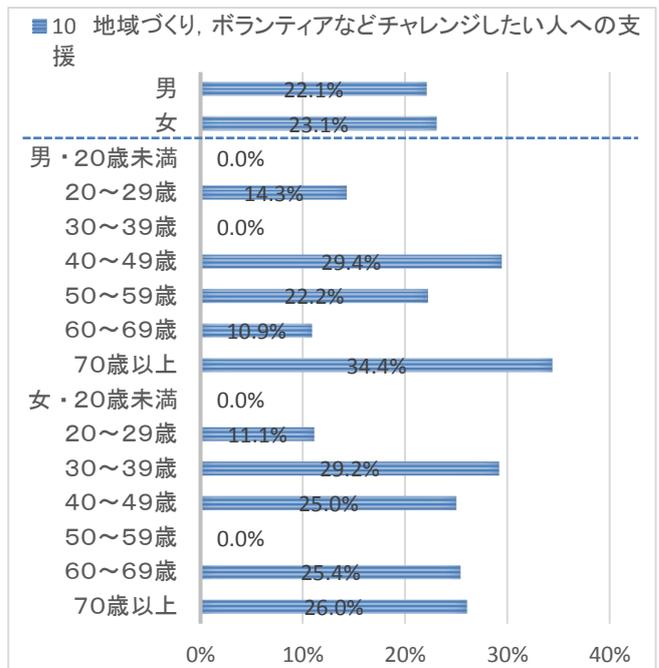
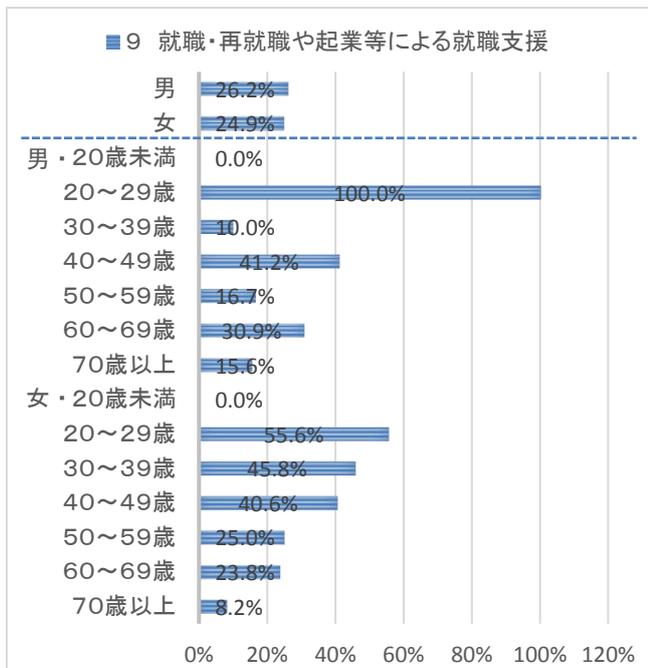
男 (n=172), 女 (n=221)

男: 20歳未満 (n=1), 20~29歳 (n=7), 30~39歳 (n=10), 40~49歳 (n=17)
50~59歳 (n=18), 60~69歳 (n=55), 70歳以上 (n=64)

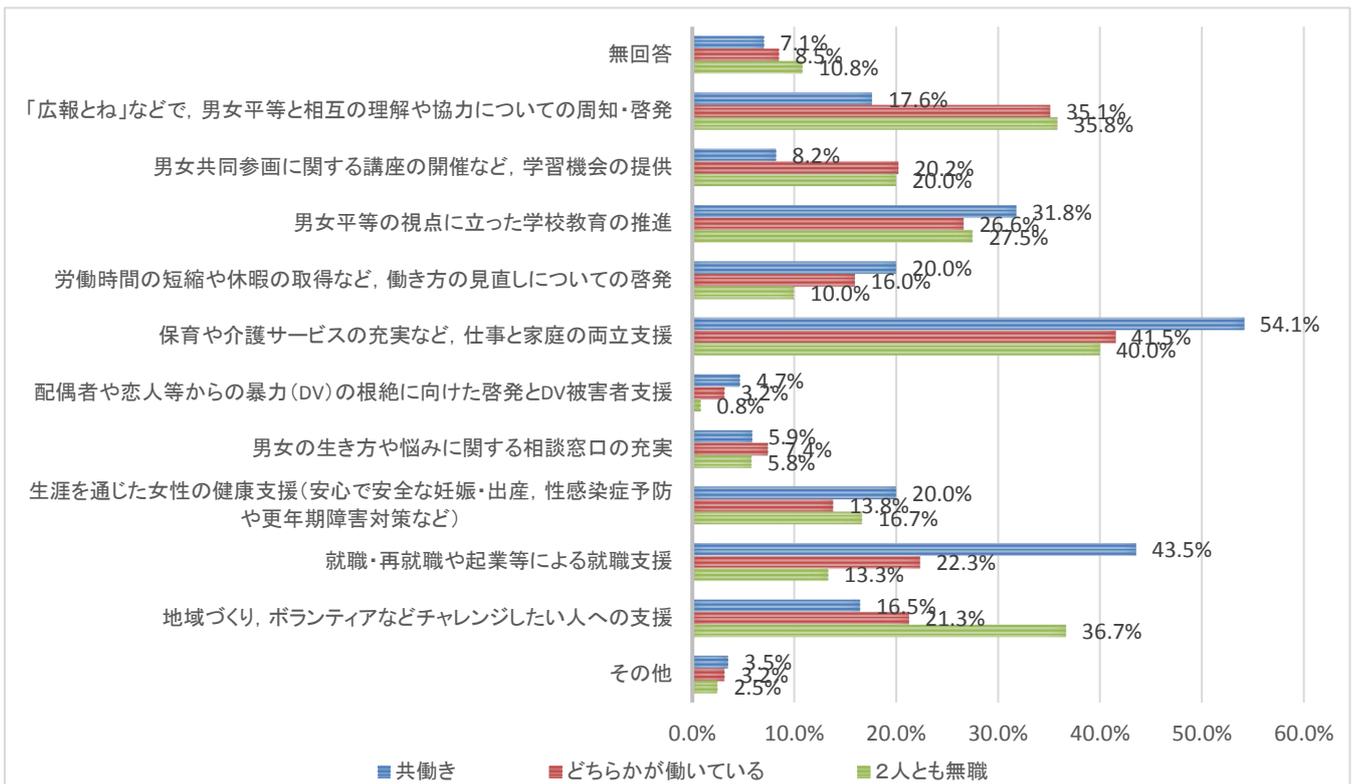
女: 20歳未満 (n=0), 20~29歳 (n=9), 30~39歳 (n=24), 40~49歳 (n=32)
50~59歳 (n=20), 60~69歳 (n=63), 70歳以上 (n=73)



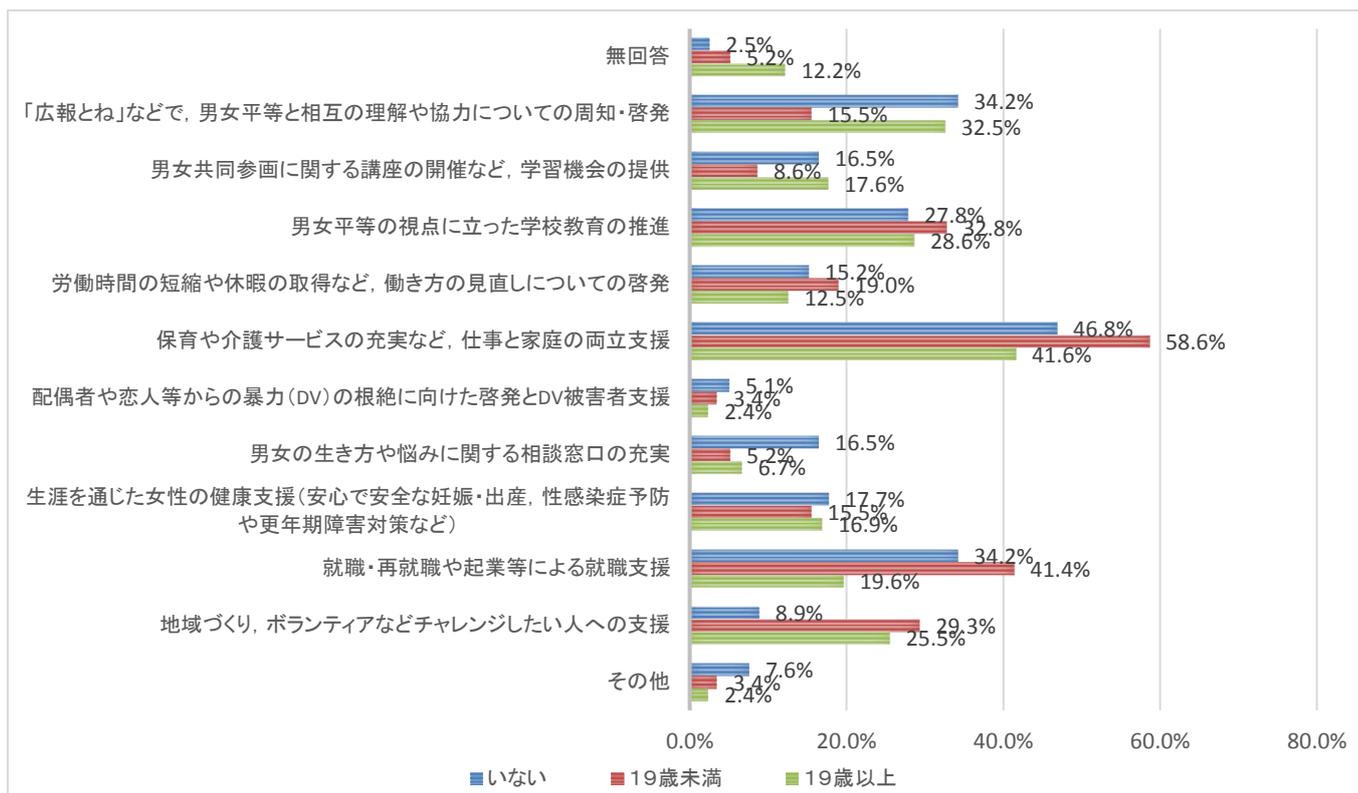




【仕事の状況別】 共働き (n=85), どちらかが働いている (n=94), 2人とも無職 (n=120)



【子どもの有無別】 子どもいない(n=79), 子ども19歳未満(n=58), 子ども19歳以上(n=255)



問28 地域活動やイベント等で男女の差別なく平等に参加できたと思う経験がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

平等に参加できた活動等	件数
自治会活動	10
地域のイベント	1
学校行事	3
清掃活動	2
ボランティア	4
老人会	1
サークル活動	2
祭り	5
町のイベント	1
その他	4
特になし	7
計	40

問29 男女平等や男女共同参画等について、町へのご意見やご要望等がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

内容	件数
制度・施策について	9
仕事について	4
意識改革について	12
子育てについて	8
行政について	10
議会について	3
教育について	4
メッセージ	4
その他	8
計	62